○ 土地改良事業等請負工事標準歩掛(昭和 58 年 2 月 28 日 58 構改D第 148 号農林水産省構造改善局長通知)一部改正新旧対照表

(下線部は改正部分)

1. 土 工

後

改正

① [略]

② 機械施工の共通事項

1. 機種の選定

1-1 [略]

1-2 標準作業量による適用機種の標準 「略]

1-2-1 機種選定表(<u>抜根・排根</u>作業)

表 1. 2 機種選定表 (<mark>抜根・排根</mark>作業)

	衣 I. Z 惯性选正衣(<u>协恨"排恨</u> 作耒	:)
機 種	規格	摘 要 区 分
NE 144 1	<u>13t 級</u>	対象面積が 2ha 未満の場合
<u>湿地</u> レーキドーザ (農用地造成工事)	<u>16t 級</u>	# <u>2ha 以上の場合</u>
3-3.1. <u></u> ,	[削る。]	[削る。]

(注) 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。

1-2-2 [略]

③~⑥ [略]

2. 共 通 工

①~③ [略]

[削る。]

1. 土 工

行

① [略]

② 機械施工の共通事項

1. 機種の選定

1-1 [略]

1-2 標準作業量による適用機種の標準「略」

1-2-1 機種選定表(<mark>掘削・運土</mark>作業)

表 1. 2 機種選定表(掘削・運土作業)

機種	規 格	摘 要 区 分
	<u>11t 級</u>	対象面積が 2ha 未満の場合
レーキドーザ (農用地造成工事)	<u>15t 級</u>	″ 2∼10ha 未満の場合
	<u>21t 級</u>	<u>"</u> 10ha 以上の場合

(注) 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。

1-2-2 [略]

③~⑥ [略]

2. 共 通 工

①~③ [略]

④ 裏込工(ブロック張)

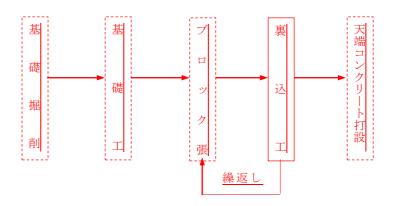
1 適田節田

本歩掛は、コンクリートブロック張工(張ブロックの質量 150kg/個未満)の裏込工に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。

- <u>④</u> [略]
- 5 機械(不整地運搬車)小運搬
- 1. ~2. [略]



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

3-1 裏込工歩掛 裏込工歩掛は、次表を標準とする。

			表	3. 1	裏込工歩掛 しんしん アンフェン しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しん	<u>(10 m ³ 当 り</u>
<u>名</u>		称			<u>単位</u>	張ブロック
世	話	役			<u>人</u>	<u>0.4</u>
普	通	作	業	員	<u>"</u>	0.8
諸	雑		費	率	<u>%</u>	<u>16</u>

(注) 諸雑費は、投入、突固め機械の損料及び油脂類等の費用であり労務費の合計に 上表の率を乗じた金額を計上する。

4. 裏込材の使用量

4-1 裏込材の使用量は、次式による。

使用量=設計数量× (1+K) (m³) …… (式4. 1)

K:補正係数(表 4. 1)

表 4. 1 補正係数 (K)

材 料 名	砕 石
補 正 係 数	<u>+ 0. 11</u>

_____ (1)裏込エ10m³当り単価表

	/ & ~	, ,	<u></u>			
	<u>名 称</u>		規 格	<u>単位</u>	<u>数</u> 量	<u>摘 要</u>
世	話	役		<u>人</u>		表3. 1
<u>普</u>	通 作 業	美 員		<u>""</u>		<u>"</u>
諸	雑	費		<u>%</u>		<u>"" </u>
裏	込	材		<u>m</u> ³		式4. 1
	計					

<u>⑤</u> [略]

6 機械(不整地運搬車)小運搬

1. ~2. [略]

3. 作業歩掛

機械(不整地運搬車)小運搬歩掛は、次表を標準とする。

表3.1 機械(不整地運搬車)小運搬歩掛

				20	• 1	— —							
材 料 名	規 格	1回当り 積 載 :	積卸し歩掛		運転	単位	運搬量						備考
ī			特殊作業 員	普通作業 員	労務		30∼ 50m	100m 未満	150m 未満	200m 未満	250m 未満	300m 未満	
砂·砂利·栗 石	#出ガス対 策型 (第1 次基準値) クローラ	m ³ 2. 34	I	I		m³/日	71. 1	65. 1	60. 2	55. 4	50.6	45. 7	積込み経費を 別途計上する
コンクリート	型・油圧ダ ンプ式 <u>積載質量</u> 4.0~5.0t	1.49	-	人/m³ 0.0075	別途		34. 2	31. 3	28. 0	25. 3	23. 1	21. 3	
コンクリ ー ト 二次製品	クローラ 型・	2.80 t	人/t 0.0188	人/t 0.0310	計上する		41. 9	39. 6	36. 8	34. 2	32. 1	30. 2	
鋼管類 φ 450	クレーン 装置付 積載質量	3. 17	0.0152	0.0168		る ton/日	51. 2	48. 1	44. 4	41.2	38. 4	36. 0	
セメント 類	積載質量 3.5t クレーン 装置 2t吊	2.88	0. 0221	0. 0221		con, H	36. 3	34. 6	32. 4	30. 5	28. 8	27. 3	
陶 管		0.600	0. 0442	0. 0442			16. 2	14. 6	13. 0	11.6	10. 4	9. 5	
(注) 1	- G	「収了				•			•				

(注) 1. ~6. [略]

4. 単価表

(1) 不整地運搬車1日当り単価表

_ ` .	/ 1 4		/// I · I		, 一曲以				
	名	i 1	陈		規格	単位	数 量	摘	要
不專	隆 地	運 搬	車運	転	#出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・油圧ダンプ式 <u>積載質</u> 量4.0~5.0 t クローラ型・クレーン装置付積 載質量 3.5t クレーン装置2t 吊	П	1.0		
普	通	作	業	員		人	積卸し歩掛×1日当 り運搬量	表3. 1	
特	殊	作	業	員		"	JJ	"	
		計							

(2)機械運転単価表

	桡	幾 柄	2 名	1		規格	適用単価表	指 定 事 項
7.	整	地	運	搬	車	クローラ型・クレーン装置付積 載質量 3.5t クレーン装置2t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→30 機械損料数量→2.10
	歪	地)	1月又	半	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・油圧ダンプ式 <u>積載</u> 質量4.0~5.0 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>77</u> 機械損料数量→1.57

<u>⑥~⑧</u> [略]

9 安定処理工(自走式土質改良工)

3. 作業歩掛

機械(不整地運搬車)小運搬歩掛は、次表を標準とする。

表3.1 機械(不整地運搬車)小運搬歩掛

材 料 名	規 格	10当り	積卸し	積卸し歩掛 運転		単位	運 搬 量						備考
-11		積 載 量	特殊作業員	普通作業員	労務	—	30~ 50m	100m 未満	150m 未満	200m 未満	250m 未満	300m 未満	
砂·砂利·栗 石	クローラ 型・ 油圧ダン プ式 <u>積載質量</u> <u>4.0t</u>	m ³ 2. 34			別途計上する] - - 	71. 1	65. 1	60. 2	55. 4	50.6	45. 7	積込み経費を別途計上 する
コンクリート		1. 49	_	人/m³ 0.0075			34. 2	31. 3	28. 0	25. 3	23. 1	21. 3	
コンクリ ー ト 二次製品	クローラ 型・	2.80	人/t 0.0188	人/t 0.0310			41. 9	39. 6	36.8	34. 2	32. 1	30. 2	
鋼管類 φ 450 mm 未 満	型・ クレーン 装置付 積載質量 - 3.5t クレーン 装置	3. 17	0. 0152	0.0168		ton/日	51. 2	48. 1	44. 4	41. 2	38. 4	36. 0	
セメント 類		2. 88	0. 0221	0. 0221			36. 3	34. 6	32. 4	30. 5	28.8	27. 3	
陶管	表直 2t吊	0. 600	0. 0442	0.0442			16. 2	14. 6	13. 0	11.6	10. 4	9.5	

(注) 1. ~6. [略]

4. 単価表

(1) 不整地運搬車1日当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
不整地運搬車運	クローラ型・油圧ダンプ式 <u>積載質量 4.0t</u>	日	1.0	
普 通 作 業		人	積卸し歩掛×1日当 り運搬量	表3. 1
特 殊 作 業		"	JJ	JJ
計				

(2)機械運転単価表

機械名						規 格	適用単価表	指 定 事 項
不写	整	地	軍	搬	直	クローラ型・クレーン装置付積 載質量 3.5t クレーン装置2t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→30 機械損料数量→2.10
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	歪.	쁘)上	加又	毕	クローラ型・油圧ダンプ式 <u>積載質量 4.0t</u>	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>65</u> 機械損料数量→1.57

<u>⑦~⑨</u> [略]

10 安定処理工(自走式土質改良工)

1. ~3. [略]

4. 土質改良工

[略]

4-1 機種の選定

[略]

表4.1 機種の選定

作 業 種 別	機械名	規格	単位	数量
固 化 材 投 入 、 撹 拌 · 土 質 改 良	自走式土質改良機	〔解砕・固化材混合式〕機械質量20 t 級	台	1
改良対象土投入	バックホウ	超低騒音型・排出ガス対策型(<u>2014年規</u> <u>制</u>)クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)	IJ	1

(注) [略]

 $4-2\sim 4-5$ [略]

5. 単価表

(1) [略]

(2)土質改良工 100㎡ 当り単価表

	4	名 移	j.		規 格	単位	数	量	摘	要
世		話		役		人	1 × 10	00/D	表4.2、	表4.3
特	殊	作	業	員		"	1 ×10	00/D		"
固		化		材		t			表4.4、	式4.1
自	走式土	質改	良機i	軍 転	〔解砕・固化材混合式〕機械質量20 t 級	日	100/	'D	表4.1、	表4.3
バ	ック	ホ	ウ 運	転	超低騒音型・排出ガス対策型(<u>2014年規制</u>) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)	"	100/	'D		"
諸		雑		費		式	1		表4	. 5
		計								

(注) [略]

(3)機械運転単価表

	機	械	名		規 格	適用単価表	指定事項
自力	走式土	質改	良機運	転	〔解砕・固化材混合式〕機械質量20 t 級	機-24	燃料消費量→122 機械損料数量→ 1.84
バ	ツ	þ	木	ウ	超低騒音型・排出ガス対策型(<u>2014年規制</u>) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ <u>106</u> 機械賃料数量→ 1.80

4. 基 礎 工

① [略]

② 既製杭の杭頭処理工

1. [略]

1. ~3. [略]

4. 土質改良工

[略]

4-1 機種の選定

[略]

表4.1 機種の選定

作 業 種 別	機械名	規 格	単位	数量
固化材投入、撹拌・土質改 良	自走式土質改良機	〔解砕・固化材混合式〕機械質量20 t 級	台	1
改良対象土投入	バックホウ	超低騒音型・排出ガス対策型(<u>第3次基</u> <u>準値</u>) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)	11	1

(注) [略]

 $4-2\sim 4-5$ [略]

5. 単価表

(1) [略]

(2)土質改良工 100㎡ 当り単価表

		名	利	ķ			規格	単位	数	量	摘	要
世		1	話			役		人	1 ×1	00/D	表4.2、	表4.3
特	殊	· f	乍	業	ŧ	員		IJ	1 ×1	00/D		"
固		ſ	'Ł			材		t			表4.4、	式4.1
自	走式	土質	改	良札	幾運	転	〔解砕・固化材混合式〕機械質量20 t 級	目	100	/D	表4.1、	表4.3
バ	ツ	クス	†	ウ	運	転	超低騒音型・排出ガス対策型 (<u>第3次基準値</u>) クローラ型山積0.8m³ (平積0.6m³)	11	100	/D		"
諸		力 木	維			費		式	1		表4	. 5
		ij	計									

(注) [略]

(3)機械運転単価表

J / 1/	X1%X=+A-	十三岁					
	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
自	走式土	質改	(良機	運転	〔解砕・固化材混合式〕機械質量20 t 級	機-24	燃料消費量→122 機械損料数量→ 1.84
バ	ツ	Ź	朩	ウ	超低騒音型・排出ガス対策型 (<mark>第 3 次基準値</mark>) クローラ型山積0.8 m³ (平積0.6 m³)	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ <u>99</u> 機械賃料数量→ 1.80

4. 基 礎 工

① [略]

② 既製杭の杭頭処理工

1. [略]

2. 施工歩掛

2-1 鋼管杭杭頭処理

鋼管杭と鉄筋及び鋼管杭とずれ止め及びストッパー等の現場溶接工歩掛は、次表を標準とする。

表 2. 1 鋼管杭杭頭処理溶接工歩掛

(溶接長 10m当り)

<u>名称</u>	- - <u>規格</u>			鋼管杭板厚(mm)		
[削る。]			8~10	12	14, 16	
溶 接 工		人	0.35	0. 68	1. 11	
電気溶接機	ディーゼルエンジン駆動・直流ア 一ク式・排出ガス対策型 (第3次 基準値) 最大溶接電流 300 A	日	0.39	0. 65	1.12	
諸 雑 費 率		%		14		

(注) 1. 鉄筋加工・組立費は、別途計上する。

[削る。]

2. 諸雑費は、溶接棒の材料費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

3. 鋼管杭とずれ止め及びストッパーの溶接長(Ly)は、ずれ止め一箇所当り、 $Ly = \pi \times D$ を標準とする。

D: 杭径(m)

 $2-2 \cdot 2-3$ [略]

3. 単価表

(1)鋼管杭杭頭処理溶接長 10m 当り単価表

`	(1) 蜗音机机级是在相及及1011137中间数											
	名	称		規格	単位	数量	摘 要					
溶		接	工		人		表2. 1					
電	気 溶:	接機	運転	ディーゼルエンジン駆動 ・直流アーク式・排出ガ ス対策型(第3次基準値)最大溶接電流300A	日		II					
諸	į	雑	費		式	1	II .					
		計										

(2)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
電気溶接機	ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式・排出ガス対策型(第3次基準値) み大溶接電流300A	機-12	燃料消費量→ <u>24</u>

③~⑥ [略]

[削る。]

2. 施工歩掛

2-1 鋼管杭杭頭処理

鋼管杭と鉄筋及び鋼管杭とずれ止め及びストッパー等の現場溶接工歩掛は、次表を標準とする。

表 2.	1	鋼管杭杭頭処理溶接工歩掛	

(溶接長 10m当り)

[新設]	[新設]	単位	[新設]			
鋼管杭板厚(㎜)	し材成」		8~10	12	14, 16	
溶 接 工	[新設]	人	0. 35	0.68	1. 11	
電気溶接機	[新設]	日	0. 39	0.65	1. 12	
諸 雑 費 率	[新設]	%		14		

(注) 1. 鉄筋加工・組立費は、別途計上する。

- 2. 電気溶接機は、排出ガス対策型(第1次基準値)ディーゼルエンジン付 300Aを標準とする。
- 3. 諸雑費は、溶接棒の材料費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
- 4. 鋼管杭とずれ止め及びストッパーの溶接長(Ly)は、ずれ止め一箇所当り、 $Ly = \pi \times D$ を標準とする。

D: 杭径 (m)

 $2-2 \cdot 2-3$ [略]

3. 単価表

(1)鋼管杭杭頭処理溶接長 10m 当り単価表

	名	移	*	規 格	単位	数量	摘 要
溶		接	工		人		表2. 1
電	気 溶	接機	幾運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン付300A	日		II .
諸		雑	費		式	1	JI
		計	•				

(2)機械運転単価表

	機	械	名		規格	適用単価表	指 定 事 項
電电	気	溶	接	機	直流アーク式 排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーセ・ルエンシンク付300A	機-12	燃料消費量→27

③~⑥ [略]

⑦ 場所打杭工(アースオーガエ・硬質地盤アースオーガ)

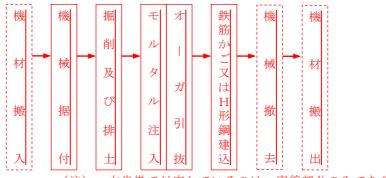
1. 適用範囲

本歩掛は、掘削長30m以下、杭径350~600mmのアースオーガにより掘削注入を行うモルタル場所打杭の施工に適用する。

なお、適用土質は、礫質土、砂及び砂質土、粘性土、岩塊・玉石、軟岩(I)及び軟岩(I)とする。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 種類の選定

3-1 機種の選定

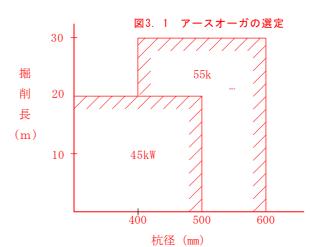
機種の選定は、次表を標準とする。

表3.1 機種の選定

	<u> </u>			
機械名	<u>規 格</u>	単位	数量	<u>摘 要</u>
クローラ式アースオーガ (単軸式・直結三点支持式))	<u>オーガ出力○kw</u> 掘削径φ○○~○○mm リーダ長18~21m	七	1	<u>アースオーガ出力は図3.1</u> <u>による</u>
<u>クローラクレーン</u>	<u>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型</u> 排出ガス対策型(第2次基準値 <u>)</u> 30~35t吊	<u>"</u>	<u>"</u>	鉄筋かご又はH形鋼の建 込

3-2 アースオーガ

アースオーガ選定は、図3.1を標準とするが、現場条件により、これにより難い場合は別途選定する。



(注) 杭径400mm以上で岩塊・玉石、軟岩(I)、軟岩(I)を連続して2m以上 含む場合は、杭径、掘削長にかかわらず、オーガ出力は90kWとする。

4. 編成人員

掘削機1台に対する編成人員は、次表を標準とする。

		<u>.</u>	表4. 1 編成人員		(人/台)
	職 種	<u>世 話 役</u>	<u>と び エ</u>	特殊作業員	普通作業員
	編成人員	<u>1</u>	2	<u>1</u>	<u>1</u>
(注)	掘削機、クレーンの運	転労務は、「土地	也改良事業等請負	工事機械経費算	定基準」による。

5. 施工歩掛

<u>5-1 杭10本当り施工日数 (d)</u>

杭10本当り施工日数は、次式による。

 $\underline{d = \frac{\alpha \times d_a}{F} (\exists /10 \Rightarrow)}$

d : 杭10本当り施工日数 (日/10本)

α : 土質係数

d a_: 杭径掘削長別杭10本当り施工日数(日/10本)

F:作業係数

<u>5-1-1</u> 土質係数 (α) 土質係数は、次表のとおりとする。

表5. 1 土質係数 (α)

<u>土 質</u> <u>N 値</u>	<u>±</u>	岩塊・玉石	軟岩(I) 軟岩(II)
20未満	<u>1. 0</u>	0.0	1.0
20以上	1. 1	<u>3. 2</u>	1.8

(注) 1. ここでいう「土」とは、礫質土、粘性土、砂及び砂質土をいう。

土質係数αは、掘削する土質毎の係数を下記のとおり加重平均して算出する。

$$\frac{\alpha}{\alpha} = \frac{\alpha_1 \times L_1 + \alpha_2 \times L_2 \cdots}{L_1 + L_2 \cdots}$$

$$\frac{\text{ここで、} \alpha \text{ n} : \text{各土質の土質係数}}{L \text{ n} : \text{各土質の掘削長 (r)}}$$

Ln :各土質の掘削長(m)

例. N値20以上の土層5m、岩塊・玉石層5mの場合

$$\underline{\alpha} = \frac{1.1 \times 5 + 3.2 \times 5}{5 + 5} = 2.15 \approx 2.2$$

<u>5-1-2</u> 杭径掘削長別杭10本当り施工日数 (d a)

杭径掘削長別杭10本当り施工日数は、次表のとおりとする。

表5. 2 杭径掘削長別杭10本当り施工日数 (da) (日/10本)

<u>100. 2 10113</u>	1個別表別が10年ヨッルエロ数	(Ua) (日/10本)
<u>杭 径 (mm)</u> 掘削長 (m)	350以上500以下	500を超え600以下
	<u>1.3</u>	<u>1.4</u>
10を超え14以下	<u>1.7</u>	<u>1.8</u>
14を超え18以下	<u>2. 0</u>	<u>2. 2</u>
18を超え22以下	<u>2. 8</u>	<u>2. 9</u>
22を超え26以下	<u>3. 1</u>	<u>3. 3</u>
26を超え30以下	<u>3. 4</u>	<u>3. 7</u>

(注) 杭径掘削長別杭10本当り施工日数には、準備時間、掘削時間、モルタル注入時間、鉄筋かご 又はH形鋼建込み及び継足し時間等を含む。

5-1-3 作業係数 (F)

作業係数は、次表による。 作業係数は、基準値を0.9とし、次により補正する。

F = 0.9 + f

F:作業係数

f:作業条件による補正係数

表5.3 作業条件による補正係数 (f)

					11 1111111		
<u>条件</u>		補正	係数	<u>-0.05</u>	0	<u>+0.05</u>	摘要
<u>施</u> (1	工 工 事	規 当 り	<u>模</u>)	1,000 本未満	1,000 本以上 2,000 本未満	2,000 本以上	連続地中壁工の場合

	100 本未満	100 本以上 200 本未満	200 本以上	連続地中壁工以外の場合
--	---------	--------------------	---------	-------------

6. 材料使用量

杭10本当りモルタル使用量は、次式による。

 $Q = \pi / 4 \times D^2 \times L \times (1 + K) \times 10 \quad (m^3 / 10 \stackrel{\wedge}{\Rightarrow})$

Q : 杭10本当りモルタル使用量 (m³/10本)

D : 杭径 (m) L : 打 設 長(m)

<u>K : ロス率</u>

= 6	1 ロフ歩 /	1/ '	١.
₹6. ′	1 ロス率(n,)

201	
杭径 (㎜)_	<u>350以上600以下</u>
ロス率	<u>+0.18</u>

7. 鉄筋工

鉄筋工は、鉄筋加工・組立の費用及び材料であり、市場単価とする。

8. 諸雑費

<u>諸雑費は、オーガスクリュ、オーガヘッド、モルタルプラント(25kW)の損料及び電力に関する経費の費用等であり、労務</u> 費、機械損料及び運転経費の合計額に、次表の率を乗じた金額を計上する。

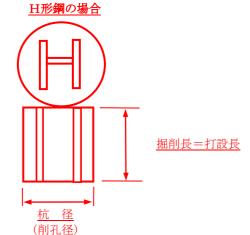
_ なお、表8.1の上段の値は土のみの場合に適用し、下段の値は岩塊、玉石、軟岩(I)・(II)を連続して2 m以上施工 する場合に適用する。

表8. 1 諸雑費率

(%)

	201 1	HE THE SC I	(707
杭径・掘削長	<u>350㎜以</u>	<u>上500mm以下</u>	500㎜超え600㎜以下
モルタル区分	<u>20m以下</u>	<u>20m超え30m以下</u>	<u>30m以下</u>
モルタルプラント使用	20 28		27 31
モルタルプラント不使用	<u>10</u> <u>18</u>		18 22

9. 施工図



軟弱地盤処理工(スラリー撹拌工)

- 1. 2. [略]
- 3. 機種の選定 [略]

表 3. 1・表 3. 2 [略]

表 3.3 機種の選定

				二軸	施工(変	位低減	型)
機種	+=	1/2	単		φ1,	600mm	
10% 11至	規	格	位	「出山ブー	打設長 (L)	打設長 (L) 20mを超え	打設長 (L) 26
				[削る。]	<u>3</u> mを超え 20m以下	20mを超え 26m以下	mを超え 36m以下

10. 単価表

______ <u>(1)杭10本当り単価表</u>

<u>名 </u>	<u>規 格</u>	単位	数量	<u>摘 要</u>
世 話 役		<u>人</u>	<u>1 × d</u>	<u>表4. 1</u>
<u>と び エ</u>		<u> 11</u>	$2 \times d$	<u> 11 </u>
特殊作業員		"	<u>1 × d</u>	<u> 11 </u>
普 通 作 業 員		<u> </u>	<u>1 × d</u>	<u> 11 </u>
モ ル タ ル		$\underline{\mathbf{m}^3}$	<u>Q</u>	
鋼材(H形鋼又は鉄筋かご)		<u>kg</u>		
クローラ式アースオーガ 運 転	_[単軸式・直結三点支持式] オーガ出力○kW 掘削径φ○○~○○mm リーダ長 18~21m	<u> </u>	<u>d</u>	表3. 1、図3. 1
<u>クローラクレーン</u> 運 転	油圧駆動式ウインチ・ <u>ラチスジプ型排出ガス対策型</u> <u>(第2次基準値) 30~35t吊</u>	<u> 11</u>	$\frac{1}{2} \times d$	
<u>諸 雑 費</u>		式	<u>1</u>	<u>表8. 1</u>
<u>計</u>		·		

2. Q:杭10本当りモルタル使用量 (m³/10本)

(2)機械運転単価表

-	(= 7					
	機械	<u>名</u>	<u>規 格</u>	適用単価表	指	定 事 項
	<u>クロー</u> アース ɔ	<u>ラ 式</u> オ ー ガ	<u>表3. 1</u>	機一18	選転労務数量 機械損料数量 燃料消費量 規 格 45kW 55kW	→1.00 →1.60 →下記のとおりとする。 燃料消費量(0 /日) 63 63 62
	<u>クローラク</u>	<u>' レーン</u>	油 圧 駆 動 式 ウインチ・ <u>ラチスジブ型排出ガス対策型</u> <u>(第2次基準値) 30~35t 吊</u>	機-18	運転労務数量 機械損料数量 燃料消費量	$ \begin{array}{c} $

⑧ 軟弱地盤処理工(スラリー撹拌工)

- 1. 2. [略]
- 3. 機種の選定 [略]

表 3. 1・表 3. 2 [略]

表 3. 3 機種の選定

	74	-	=	軸	施	エ	(変	位	低	減	型)			
機種	â	1 8	格	単						φ	1, 6	00mm				
1000	-	規	俗	位	打設長	(L)	_	打部		(L		打設:		L)	打	設長(L)26
					3mを超	え		<u>10</u> m	ıを超	え		20m	を超	え	m	を超え
					10m以7	F		20n	ı以下			26m.	以下		36	m以下

	[削る。]	[削 る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
深層混合	二軸式 90kW×2 最大施工深度 20m	台	[削る。]	1	_	_
(スラリー式)	二軸式 90kW×2 最大施工深度 26m	11	削る。]	_	1	_
	二軸式 90kW×2 最大施工深度 36m	"	[削る。]	-	-	1
ス ラ リ プ ラ ン ト (全自動)	能力 40 m³/ h	基	[削る。]	1	1	1

(注) 1.・2. [略]

図 3.1 [略]

4. 日当り編成人員

[略]

表 4.1 日当り編成人員

(人)

工法	世 話 役	特殊作業員	普通作業員
単軸施工二軸施工	1	<u>1</u>	1
二 軸 施 工 (変位低減型)	1	<u>2</u>	1

(注) 1.・2. [略]

5. 施工歩掛

5-1 杭施工本数

[略]

表5. 1 1日当り杭施工本数(N) (本/日)	
--------------------------	--

打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径 800~1,200mm)
3 mを超え 4 m未満	<u>20</u>
4 m以上 5 "	<u>17</u>
5 " 6 "	<u>14</u>
6 " 7 "	<u>13</u>
7 " <u>9</u> "	<u>11</u>
[削る。]	[削る。]
9 " 10m以下	10

表5. 2~表5. 4 [略]

表5.5 1日当り杭施工本数 (N) (本/日)

打設長 L (m)	二 軸 施 工 (杭径 1,000mm)
3mを超え 4m未満	<u>13</u>
4 m以上 5 "	<u>12</u>
5 " <u>7</u> "	<u>11</u>
[削る。]	[削る。]
7 " 9 "	10

	二軸式 90kW×2 最大施工深度10m	台	1	_	_	_
深層混合	二軸式 90kW× 2 最大施工深度 20m		_	1		_
処 理 機	二軸式 90kW× 2 最大施工深度 26m	"	_	_	1	_
	二軸式 90kW×2 最大施工深度 36m	"	_	_	_	1
ス ラ リ 二 プ ラ ン ト (全自動)	能力 40m³/ h	基	1	1	1	1

(注) 1.・2. [略]

図3.1 [略]

4. 日当り編成人員

[略]

表 4. 1 日当り編成人員

(人)

工法	世話役	特殊作業員	普通作業員
単 軸 施 工 二 軸 施 工	1	<u>2</u>	1
二 軸 施 工 (変位低減型) 1		<u>3</u>	1

(注) 1.・2. [略]

5. 施工歩掛

5-1 杭施工本数

[略]

表 5. 1	1 日当り杭施工本数 (N)	(本/日)
L (m)	単 軸 施 工 (杭径 800~1,200mm)	

打設長 L (m)	甲 軸 施 上 (杭径 800~1,200mm)
3mを超え 4m未満	<u>21</u>
4 m以上 5 ″	<u>18</u>
5 " 6 "	<u>15</u>
6 " 7 "	<u>14</u>
7 " <u>8</u> "	<u>12</u>
8 " 9 "	<u>11</u>
9 " 10m以下	10

表5. 2~表5. 4 [略]

表 5.5 1日当り杭施工本数(N) (本/日)

13.0	
打設長 L (m)	二 軸 施 工 (杭径 1,000mm)
3mを超え 4m未満	<u>14</u>
4 m以上 5 "	<u>13</u>
5 " <u>6</u> "	<u>12</u>
<u>6 " 7 "</u>	<u>11</u>
7 " 9 "	10

9	IJ	10 "	9
10	IJ	12 "	8
12	"	15 "	7
15	"	18 "	6
18	IJ	22 "	5
22	"	30 "	4
30	"	40m以下	3

(注) 1. ~6. [略]

図 5-1 [略]

表5.6 1日当り	杭施工本数(N) (本/日)				
打設長 L (m)	二軸施工 (変位低減型) (杭径 1,000mm)				
3 mを超え <u>4.5</u> m未満	<u>11</u>				
[削る。]	[削る。]				
4.5 " 5.5 "	10				
5.5 " 7 "	9				
7 " 9 "	8				
9 " 11 "	7				
11 " 14 "	6				
14 " 19 "	5				
19 " 26 "	4				
26 " 39 "	3				
39 " 40m以下	2				

(注) 1. ~6. [略]

図 5-2 [略]

表5.7 [略]

図 5-3 [略]

5-2 [略]

5-3 諸雑費

諸雑費は、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、改良後の整地<u>(バックホウ運転費用)、グラウトポンプの遠隔操作の機器</u>に要する費用、電力に関する経費等であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

なお、変位低減型の場合は、諸雑費率に排出土処理(エアリフト及び現場内仮置き)に関する費用を含む。

表 5. 9 諸雑費率

(%)

	規	格		杭 径	打設長(L)	諸 雑 費 率
単 軸 カ	施	7	φ800~1,200mm	3 mを超え 10m以下	<u>29</u>	
平	押出	旭	上	φ 1,000~1,600mm	10mを超え 30m以下	<u>28</u>

9 11	10 "	9
10 "	12 "	8
12 "	15 "	7
15 "	18 "	6
18 "	22 "	5
22 "	30 "	4
30 "	40m以下	3
(20.)	- 5-67	•

(注) 1. ~6. [略]

図 5-1 [略]

表 5.6 1日当り杭	[施工本数 (N) (本/日)
打設長 L (m)	二軸施工 (変位低減型)
	(杭径 1,000mm)
3 mを超え <u>3.5</u> m未満	<u>12</u>
<u> 3.5m以上</u> <u>4.5 "</u>	<u>11</u>
4.5 " 5.5 "	10
5.5 " 7 "	9
7 " 9 "	8
9 " 11 "	7
11 " 14 "	6
14 " 19 "	5
19 " 26 "	4
26 " 39 "	3

(注) 1. ~6. [略]

39 " 40m以下

図 5-2 [略]

表5.7 [略]

図 5-3 [略]

5-2 [略]

5-3 諸雑費

諸雑費は、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、改良後の整地に要する費用、電力に関する経費等であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

なお、変位低減型の場合は、諸雑費率に排出土処理(現場内仮置き)に関する費用を含む。

表 5. 9 諸雑費率

(%)

	規	格		杭 径	打設長(L)	諸雑費率
兴 - 市	##	1/c :	エ	$\phi 800 \sim 1,200$ mm	3 mを超え 10m以下	<u>20</u>
平	単軸	施	Т-	φ 1,000~1,600mm	10mを超え 30m以下	<u>18</u>

				φ 1, 800mm φ 2, 000mm	3mを超え27m以下	<u>37</u>
=	軸	施	エ	φ 1,000mm	3 mを超え 40m以下	<u>32</u>
二	軸	施	T	φ 1,000mm	3 mを超え 40m以下	<u>37</u>
(変	位 低	減型)	φ 1,600mm	3 mを超え 36m以下	<u>49</u>

5-4 スラリープラント現場内移設作業 [略]

表 5. 10 スラリープラント現場内移設歩掛

(1回当り)

					五 0. 10	,,,,,	, , , , ,	(1017)
	名		称		規	格	単位	単 軸 施 工 二 軸 施 工 二 車 変位低減型)
世		話		役			人	1.0
特	殊	作	業	員			"	2. 9
普	通	作	業	員			"	1.4
ラフ	テレー	・ンク	レーン	運転	排出ガス (<mark>2014 年</mark> 油圧伸縮ジ	規制)	日	1.4

(注) 1. • 2. [略]

5-5 その他

 $5-5-1 \sim 5-5-4$ [略]

5-5-5 プラント施設の防寒設備が必要な場合は、別途計上する。

6. 単価表

(1) 軟弱地盤処理工(スラリー撹拌工) 杭長(L1)1本当り単価表

(1 / 半人 3	3地盆处理工	- (^	ノソー抗什工/机技()		当り手順权	
名	称		規格	単位	数量	摘 要
世	話	役		人	1/N ×1	表 4. 1、表 5. 1~5. 7
特殊	作業	員		"	1/N × <u>1(2)</u>	II
普 通	作業	員		"	1/N ×1	II
改	良	材		t	V	式 5. 1、表 5. 8
深層混合	合処理機;	軍転		日	1 / N	表 3. 1~3. 3 表 5. 1~5. 7
スラリニ	プラントi	軍転		"	1 / N	n .
諸	雑	費		式	1	表 5. 9
特 許	: 料	金		"	1	必要に応じて計上する
	計					

					φ 1, 800mm φ 2, 000mm	3 mを超え 27m以下	<u>31</u>
Ξ	軸	施		エ	ϕ 1,000mm	3 mを超え 40m以下	<u>23</u>
=	軸	施		エ	ϕ 1,000mm	3 mを超え 40m以下	<u>26</u>
(変	位但	氐 減	型)	φ 1,600mm	3mを超え36m以下	<u>31</u>

5-4 スラリープラント現場内移設作業

[略]

					表 5. 10	スラリープラン	ント現場内移設を	歩掛 (1回当り)
	名		称		規	格	単位	単 軸 施 工 二 軸 施 工 二 = 二 + - </td
世		話		役			人	1. 0
特	殊	作	業	員			"	2. 9
普	通	作	業	員			"	1. 4
					排出カ	ブス対策型		

目

1.4

(注) 1. • 2. [略]

5-5 その他

 $5-5-1\sim 5-5-4$ [略]

ラフテレーンクレーン運転

[新設]

6. 単価表

(1) 軟弱地盤処理工(スラリー撹拌工) 杭長(L1)1本当り単価表

(第2次基準値)

油圧伸縮ジブ型 25 t

	サバッツ	·UIII/	ピキエ	(,,,,	, , ,,,,,	,,,—	-/ 1/02/	_ ' / ' ' ' '	コッキ曲な	
	名	#	陈		規	1	格	単位	数 量	摘 要
世		話		役				人	1/N ×1	表 4. 1、表 5. 1~5. 7
特	殊	作	業	員				"	$1/N \times \underline{2(3)}$	II .
普	通	作	業	員				"	1/N ×1	II .
改		良		材				t	V	式 5. 1、表 5. 8
深層	混合	、処理	里機道	重転				П	1 / N	表 3. 1~3. 3 表 5. 1~5. 7
スラ	リ <u>ー</u>	プラ	ントi	重転				"	1 / N	II .
諸		雑		費				式	1	表 5. 9
特	許		料	金				"	1	必要に応じて計上する
		計								

(注) [略]

(2) スラリープラント現場内移設1回当り単価表

	名	Ź	陈		規格	単位	数量	量	摘 要
世		話		役		人			表 5. 10
特	殊	作	業	員		"			II
普	通	作	業	員		"			II
ラフ	アテレー	・ンク	レーン	賃料	排出ガス対策型 (<mark>2014 年規制</mark>) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	日			n
		計							

(3)機械運転単価表

(3)俄俄里転単個衣			
機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
深層混合処理機(スラリー式)	表 3. 1	機-18	運転労務数量→1.00 (単軸施工) 燃料消費量→ 27.4kN・m×1→ 35 →90kW×1 20m→ 52 →90kW×1 30m→ 52 →90kW×2 → 83 機械損料数量→ 1.61 (二軸施工) 燃料消費量→ 45kW×2→59 → 60kW×2→48 → 90kW×2→77 機械損料数量→ 1.61
深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型	表 3. 2、表 3. 3	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 → 55 →60kw×2 → 45 →75kW×2 → 55 →90kW×2 → 72 [削る。] → L ≤20m機 → 55 → L ≤26m機 → 72 → L ≤36m機 → 72 機械損料数量→ 1.61
スラリープラント	表 3. 1~3. 3	機-25	機械損料数量→ 1.61

8 • 9 [略]

5. フリューム類据付工

①~⑥ [略]

- ⑦ リフト台車によるプレキャストコンクリート水路据付
- 1. 2. [略]
- 3. 機種の選定

(注) [略]

(2)スラリープラント現場内移設1回当り単価表

名 称					規格	単位	数量	摘要
世		話		役		人		表 5. 10
特	殊	作	業	員		"		"
普	通	作	業	員		"		"
ラフテレーンクレーン賃料			レーン	賃料	排出ガス対策型 (<mark>第2次基準値</mark>) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	日		n
計								

(3)機械運転単価表

(3) 微微運転単温衣			
機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
深層混合処理機(スラリー式)	表 3. 1	機-18	運転労務数量→1.00 (単軸施工) 燃料消費量→ 27.4kN・m×1→ 35 →90kW×1 20m→ 52 →90kW×1 30m→ 52 →90kW×2 → 83 機械損料数量→ 1.61 (二軸施工) 燃料消費量→ 45kW×2→59 → 60kW×2→48 → 90kW×2→77 機械損料数量→ 1.61
深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型	表 3. 2、表 3. 3	機一18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 → 55 →60kw×2 → 45 →75kW×2 → 55 →90kW×2 → 72 →L≦10m機 → 55 →L≦20m機 → 72 →L≦26m機 → 72 →L≤36m機 → 72 機械損料数量→ 1.61
スラリープラント	表 3. 1~3. 3	機-25	機械損料数量→ 1.61

9・10 [略]

5. フリューム類据付工

①~⑥ [略]

- ⑦ リフト台車によるプレキャストコンクリート水路据付
- 1. 2. [略]
- 3. 機種の選定

 $3-1 \cdot 3-2$ [略]

3-3 発動発電機

[略]

表 3. 4 機種の選定

				•	で 3. 4 1放性の迭足
	訇	Ē i	原		規格
発	動	発	電	機	排出ガス対策型(<mark>第3次基準値</mark>) ディーゼルエンジン駆動 25KVA
(注)	1. • 3	2.	[略]		

- Fmb3

4. • 5. [略]

6.単価表

(1) [略]

(2)機械運転単価表

`-	/ 1/20 1/74	~ 14 1 14				
	機械名	1	規格	適用単価表	指定事項	
リラ	7 }	台 車	ハング式 6t、15t、25t	機-32	機械賃料数量 →1.25	
発 重	力 発	電機	排出ガス対策型(<mark>第3次基準値</mark>) ディーゼルエンジン駆動 25KVA	機-16	燃料消費量 →19 機械賃料数量 →1.25	

6. 河川·水路工

①~② [略]

- ③ 排水材設置工(構造物背面排水材)
- 1. 適用範囲

[略]

1-1 [略]

- 1-2 適用できない範囲
 - (1) 「略
- (2) 土砂部及び岩盤部 (土工面) に帯状の排水材<mark>を設置する</mark>場合。
- 2. [略]
- 3. 施工歩掛
- 3-1 施工歩掛 「略]

表 3. 1 排水材設置歩掛

[略]

(注) 1. 歩掛は、<u>運搬距離 60m 程度までの</u>現場内小運搬を含む設置作業であり、埋戻しは含まない。

2. ~5. [略]

3-2 [略]

 $3-1 \cdot 3-2$ [略]

3-3 発動発電機

[略]

表 3. 4 機種の選定

	旬月	i V	亰		規格
発	動	発	電	機	排出ガス対策型(<mark>第2次基準値</mark>) ディーゼルエンジン駆動 25KVA

(注) 1. • 2. [略]

4. • 5. [略]

6. 単価表

(1) [略]

(2)機械運転単価表

	模	き 機名	Ż		規格	適用単価表	指定事項
IJ	フ	}	台	車	ハング式 6t、15t、25t	機-32	機械賃料数量 →1.25
発	動	発	電	機	排出ガス対策型(<mark>第2次基準値</mark>) ディーゼルエンジン駆動 25KVA	機-16	燃料消費量 →19 機械賃料数量 →1.25

6. 河川•水路工

①~② [略]

③ 排水材設置工

1. 適用範囲

「略]

1-1 [略]

- 1-2 適用できない範囲
- (1) [略]
- (2) 土砂部及び岩盤部(土工面)に<mark>設置する</mark>帯状の排水材<u>の</u>場合。
- 2. [略]
- 3. 施工歩掛

3-1 施工歩掛 「略]

表 3. 1 排水材設置歩掛

「略]

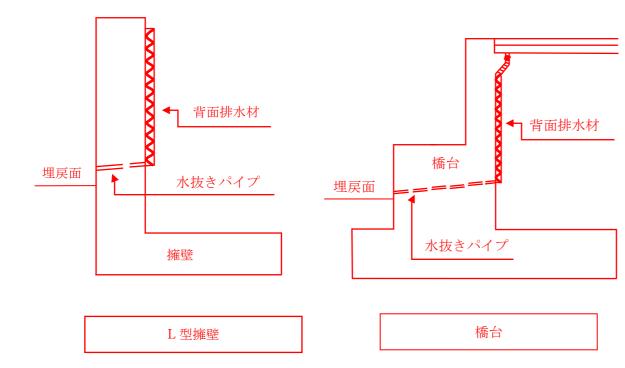
(注) 1. 歩掛は、現場内小運搬を含む設置作業であり、埋戻しは含まない。

2. ~5. [略]

3-2 [略]

4. [略]

(参考図)



④ [略]

7. 管水路工

- ① [略]
- ② 硬質ポリ塩化ビニル管人力布設
- 1. 2. [略]
- 3. 施工歩掛
- 3-1 布設歩掛 [略]

表 3. 1 硬質ポリ塩化ビニル管人力布設歩掛

[略]

- (注) 1. [略]
 - 2. <u>片受直管、</u>ソケット、エルボ、チーズ等の継手接合(材質は問わない)に要する手間及び布設 に伴う材料の移動手間を含む。ただし、継手の材料費は別途計上する。
 - 3. 接合箇所が3箇所を超える場合は、呼び径別にその超えた部分の接合に係る接合歩掛を、下記3-2の定めにより本表の歩掛に加算する。
 - なお、接合箇所とは管の接合を含み、継手材による接合の場合は継手材1個当たり1箇所である。
 - 4. [略]

4. [略]

[新設]

④ [略]

7. 管水路工

- ① [略]
- ② 硬質ポリ塩化ビニル管人力布設
- 1. 2. [略]
- 3. 施工歩掛
- 3-1 布設歩掛 [略]

表 3. 1 硬質ポリ塩化ビニル管人力布設歩掛

[略]

- (注) 1. [略]
 - 2. ソケット、エルボ、チーズ等の継手接合(材質は問わない)に要する手間及び布設に伴う材料の移動手間を含む。ただし、継手の材料費は別途計上する。
 - 3. 接合箇所が3箇所を超える場合は、呼び径別にその超えた部分の接合に係る接合歩掛を、下記3-2の定めにより本表の歩掛に加算する。
 - 4. [略]

3-2 接合歩掛

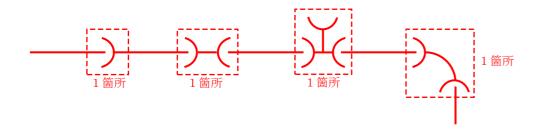
[略]

(注) 1. 接合箇所数及び施工延長は、呼び径別に計上する。

2. 異径継手については、受口のうち最も大きい呼び径を適用する。

表 3. 2 [略]

(参考)



3-3 [略]

4. [略]

③ 硬質ポリ塩化ビニル管機械布設

1. • 2. [略]

3. 施工歩掛

3-1 布設歩掛 「略]

表 3. 1 硬質ポリ塩化ビニル管機械布設歩掛

[略]

(注) 1. [略]

2. <u>片受直管、</u>ソケット、エルボ、チーズ等の継手接合(材質は問わない)に要する手間及び布設に伴う材料の移動手間を含む。ただし、継手の材料費は別途計上する。

3. 接合箇所が3箇所を超える場合は、呼び径別にその超えた部分の接合に係る接合歩掛を、下記3-2の定めにより本表の歩掛に加算する。

なお、接合箇所とは管の接合を含み、継手材による接合の場合は継手材1個当たり1箇所である。

4. ~6. [略]

3-2 接合歩掛

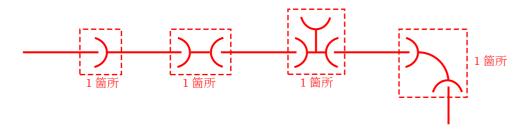
「収】

(注) 1. 接合箇所数及び施工延長は呼び径別に計上する。

2. 異径継手については、受口のうち最も大きい呼び径を適用する。

表 3. 2 [略]

(参考)



3-2 接合歩掛

[略]

(注)接合箇所数及び施工延長は、呼び径別に計上する。

「新設

表 3. 2 [略]

[新設]

3-3 [略]

4. [略]

③ 硬質ポリ塩化ビニル管機械布設

1.・2. [略]

3. 施工歩掛

3-1 布設歩掛

[略]

表 3. 1 硬質ポリ塩化ビニル管機械布設歩掛

[略]

(注) 1. [略]

2. ソケット、エルボ、チーズ等の継手接合(材質は問わない)に要する手間及び布設に伴う材料の移動手間を含む。ただし、継手の材料費は別途計上する。

3. 接合箇所が3箇所を超える場合は、呼び径別にその超えた部分の接合に係る接合歩掛を、下 記3-2の定めにより本表の歩掛に加算する。

4. ~6. [略]

3-2 接合歩掛

[略]

(注)接合箇所数及び施工延長は呼び径別に計上する。

[新設]

表 3. 2 [略]

[新設]

3-3 [略]

4. [略]

④ 強化プラスチック複合管機械布設

1. • 2. [略]

3. 施工歩掛

[略]

٦					
	表 3.	1 強化プラス	スチック複合管	管(4.0m 管) オ	行設歩掛 (10 本当り)
管径	労	務人数(人))	機械	
(mm)	世話役	特殊	普 通	運転時間	使 用 機 械
(111111)	匹的汉	作業員	作業員	(目)	
200	_	0. 53	0.83	0.76	
250	_	0. 56	0.88	0.80	
300	_	0. 67	0. 92	0.83	
350	_	0.70	1. 04	0.87	
400	_	0.72	1. 08	0.90	
450	0. 19	0. 56	1. 11	0.93	バックホウ
500	0.19	0. 57	1. 14	0.95	(クレーン機能付)
600	0.20	0.61	1. 31	1.01	超低騒音型
700	0.21	0.74	1. 47	1.05	排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>)
800	0.22	0.77	1. 54	1.10	クローラ型
900	0.23	0.80	1. 72	1.15	山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)
1,000	0.36	0. 95	1. 90	1.19	2.9t 吊
1, 100	0.37	0. 99	1. 98	1.23	
1, 200	0.38	1. 15	2. 18	1.28	
1,350	0.40	1. 20	2.40	1.33	
1,500	0.42	1. 39	2. 78	1.39	
1,650	0.43	1. 45	3. 04	1.45	
1,800	0.61	1. 67	3. 33	1. 52	
2,000	0.63	1. 90	3. 97	1.59	===1 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
2, 200	0.67	2. 17	4. 50	1. 67	ラフテレーンクレーン
2, 400	0.86	2. 59	5. 17	1.72	- <u>低騒音型</u> - 排出ガス対策型(第2次基準値)
2,600	0.91	2. 91	5. 82	1.82	併山ルへ対東空(第2次基準値) (油圧伸縮ジブ型) 25t 吊
2,800	1.13	3.40	6.60	1.89	(地)上中州マノ王/2017円
3,000	1. 18	3. 73	7. 65	1.96	

[略]

表 3.	2	強化プラスチック複合管	(<u>6.0m 管</u>) 布設歩掛	(10 本当り)
------	---	-------------	------------------------	----------

	衣 3.	2 短1しノ	ノヘナツソ後に	5 官 (<u>0. VIII 官</u>)) 作設歩掛 (10 本ヨり)
<i>55.6</i> ▼		労務人数(人)	機械	
管径 (㎜)	世話役	特 殊	普 通	運転時間	使 用 機 械
(111111)	巴珀汉	作業員	作業員	(目)	
450	0. 19	0.58	1. 25	0.96	
500	0. 20	0.69	1. 39	0. 99	バックホウ
600	0.32	0.84	1. 58	1.05	(クレーン機能付)
700	0.33	0.88	1. 87	1. 10	超低騒音型
800	0.34	1.03	2. 18	1. 15	排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>)
900	0.36	1. 20	2. 41	1. 20	クローラ型
1,000	0.50	1. 38	2. 75	1. 25	山積 0.8m³(平積 0.6m³) 2.9t 吊
1, 100	0.51	1.54	2. 95	1. 28	2. 50 1 3
1, 200	0.53	1. 73	3. 33	1. 33	

3-3 [略]

- 4. [略]
- ④ 強化プラスチック複合管機械布設
- 1.・2. [略]
- 3. 施工歩掛 [略]

	表	₹3.1 強化で	プラスチック複	复合管 (4.0m 管	管)布設歩掛 (10 本当り
管径	第	務人数(人))	機械	
(mm)	世話役	特 殊	普 通	運転時間	使 用 機 械
(111111)		作業員	作業員	(目)	
200	_	0. 53	0.83	0.76	
250	_	0. 56	0.88	0.80	
300	_	0. 67	0.92	0.83	
350	_	0.70	1.04	0.87	
400	_	0.72	1.08	0.90	
450	0. 19	0.56	1.11	0. 93	バックホウ
500	0. 19	0. 57	1.14	0.95	(クレーン機能付)
600	0.20	0.61	1.31	1.01	
700	0. 21	0.74	1.47	1.05	排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>)
800	0. 22	0. 77	1.54	1. 10	クローラ型
900	0. 23	0.80	1.72	1. 15	山積 0.8m³(平積 0.6m³)
1,000	0.36	0.95	1.90	1. 19	2.9t 吊
1, 100	0.37	0. 99	1.98	1. 23	
1, 200	0.38	1. 15	2.18	1. 28	
1, 350	0.40	1. 20	2.40	1. 33	
1,500	0.42	1. 39	2. 78	1. 39	
1,650	0.43	1. 45	3.04	1. 45	
1,800	0.61	1. 67	3. 33	1. 52	
2,000	0.63	1. 90	3.97	1.59	ラフテレーンクレーン
2, 200	0. 67	2. 17	4.50	1. 67	
2, 400	0.86	2. 59	5. 17	1.72	 排出ガス対策型(第2次基準値)
2,600	0. 91	2. 91	5.82	1. 82	(油圧伸縮ジブ型) 25t 吊
2, 800	1 13	3 40	6 60	1 89	「四川中州マノ生)201円

「略

2,800

3,000

1. 13

3. 40

1. 18 3. 73 7. 65

6.60

表 3. 2 強化プラスチック複合管 (<u>6 m</u>) 布設歩掛 (10 本当り)

1.89

竺仅		労務人数(人)	機械	
管径 (mm)	₩≒₤%ѣ	特 殊	普 通	運転時間	使 用 機 械
(111111)	世話役	作業員	作業員	(目)	
450	0.19	0.58	1. 25	0.96	
500	0.20	0.69	1. 39	0.99	バックホウ
600	0.32	0.84	1. 58	1.05	ハック ホリ (クレーン機能付)
700	0.33	0.88	1.87	1.10	() DAME 137
800	0.34	1.03	2. 18	1. 15	排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>)
900	0.36	1. 20	2. 41	1.20	クローラ型
1,000	0.50	1.38	2. 75	1. 25	山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³) 2.9 t 吊
1, 100	0.51	1.54	2. 95	1. 28	2. 50 1 3
1, 200	0.53	1.73	3. 33	1.33	

	_	_	_	_	
1, 350	0.70	1. 97	3.80	1. 41	
1,500	0.74	2. 21	4. 41	1. 47	ラフテレーンクレーン
1,650	0.76	2.42	4. 85	1. 52	低騒音型
1,800	0.95	2.70	5. 56	1. 59	排出ガス対策型(第2次基準値)
2,000	1.00	3. 17	6. 33	1. 67	(油圧伸縮ジブ型) 25t 吊
[略]			•	•	

4. 単価表

(1) 強化プラスチック複合管(4.0m管)布設10本当り単価表

/	(4.000倍) 印政 10 本当り半画教			
名 称	規格	単位	数量	摘 要
強化プラスチック複合	管 ○種○○mm	本	10	
諸雑	典員	式	1	表 3. 1 (注) 4
世話	ᆺ	人		表 3. 1
特 殊 作 業		"		11
普 通 作 業		"		11
ラフテレーンクレーン賃	低騒音型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	日		II
バックホウ(クレーン機能作運	超低騒音型 排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>) 云 クローラ型 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³) 2.9 t 吊	IJ		II
計				

(2)強化プラスチック複合管(6.0m管)布設10本当り単価表

	名	称		規格	単位	数量	摘 要
強化プ	ラスチ	ック複	合管	○種○○mm	本	10	
諸	雑		費		式	1	表 3. 2 (注) 4
世	話		役		人		表 3. 2
特列	朱 作	業	員		IJ		II.
普通	重 作	業	員		"		IJ
ラフテ	レーンク	レーン	賃料	低騒音型 排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	Ħ		"
バックホ 運	ゔウ(クレ	ーン機能	と付) 転	<mark>超低騒音型</mark> 排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>) クローラ型 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)2.9t 吊	IJ		II
	計						

(3)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ (クレーン機能付)	<mark>超低騒音型</mark> 排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>) クローラ型 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)2.9t 吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>56</u> 機械賃料数量→1.12

⑤~③ [略]

8. 道 路 工

1,350	0.70	1.97	3.80	1.41	
1,500	0.74	2. 21	4. 41	1. 47	ラフテレーンクレーン
1,650	0.76	2.42	4. 85	1. 52	
1,800	0.95	2.70	5. 56	1.59	排出ガス対策型(第2次基準値)
2,000	1.00	3. 17	6. 33	1.67	油圧伸縮ジブ型)25t 吊
,					(油圧伸縮ジブ型) 25t 吊

[略]

4. 単価表

(1)強化プラスチック複合管(4.0m管)布設10本当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
強化プラスチック複合管	○種○○mm	本	10	
諸 雑 費		式	1	表 3. 1 (注) 4
世 話 役		人		表 3. 1
特 殊 作 業 員		"		IJ.
普 通 作 業 員		"		II.
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t 吊	Ħ		"
バックホウ (クレーン機能付) 運 転	排出ガス対策型(<mark>第2次基準値</mark>) クローラ型 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)2.9t 吊	"		II
計				

(2)強化プラスチック複合管(6.0m管)布設 10 本当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
強化プラスチック複合管	○種○○mm	本	10	
諸 雑 費		式	1	表 3. 2 (注) 4
世 話 役		人		表 3. 2
特 殊 作 業 員		"		11
普 通 作 業 員		"		11
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t 吊	Ħ		11
バックホウ (クレーン機能付) 運 転	排出ガス対策型(<mark>第2次基準値</mark>) クローラ型 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)2.9t 吊	"		IJ
計				

(3)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ (クレーン機能付)	排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>) クローラ型 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)2.9t 吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>48</u> 機械賃料数量→1.12

⑤~③ [略]

8. 道 路 工

```
①~③ [略]
                                                                         ①~③ [略]
④ PC橋架設工
                                                                         ④ P C 橋架設工
1. ~3. [略]
                                                                         1. ~3. [略]
4. 横組工
                                                                         4. 横組工
  [略]
                                                                            [略]
 4-1 [略]
                                                                          4-1 [略]
 4-2 コンクリート工
                                                                          4-2 コンクリート工
   「略]
                                                                             「略]
  4-2-1 \cdot 4-2-2 [略]
                                                                           4-2-1 \cdot 4-2-2 [略]
  4-2-3 コンクリート工歩掛
                                                                           4-2-3 コンクリート工歩掛
    [略]
                                                                             「略]
                                表 4. 4 コンクリート工歩掛
                                                            (10m<sup>3</sup>当り)
                                                                                                              表 4. 4 コンクリート工歩掛
                                                                                                                                          (10m<sup>3</sup>当り)
                                     [略]
                                                                                                                   [略]
     (注) 1. ~7. 「略]
                                                                               (注) 1. ~7. [略]
        8. 型枠は、プレテンション T 桁及びポストテンション桁については一般型枠、プレテンション床版桁
                                                                                  「新設]
          については埋設型枠を標準とする。
  4 - 2 - 4 [略]
                                                                           4-2-4 「略]
 4-3 · 4-4 「略〕
                                                                          4-3 · 4-4 [略]
 4-5 足場工、防護工及び登り桟橋工
                                                                          4-5 足場工、防護工及び登り桟橋工
  4-5-1 [略]
                                                                           4-5-1 [略]
  4-5-2 防護工
                                                                           4-5-2 防護工
   (1) [略]
                                                                            (1) 「略]
   (2) ワイヤーブリッジ防護工
                                                                             (2) ワイヤーブリッジ防護工
       主桁を架設桁を用いて架設する場合に、転落防止及び落下物防止の目的で設置する。
                                                                                主桁を架設桁を用いて架設する場合に、転落防止及び落下物防止の目的で設置する。
       (ワイヤーブリッジ転用足場としない場合)
                                                                                (ワイヤーブリッジ転用足場としない場合)
       ワイヤーブリッジ防護工事費=\{229+59 T_{10}+0.05 y (設置)+0.021 y (撤去)\} \times A (円)
                                                                                ワイヤーブリッジ防護工事費=\{229+59\,T_{10}+0.045\,y\,(設置)+0.019\,y\,(撤去)\} \times A(円)
              T<sub>10</sub>: 防護工(ワイヤーブリッジ)供用月数 (月)
                                                                                        T<sub>10</sub>: 防護工(ワイヤーブリッジ)供用月数 (月)
              y:橋りょう特殊工単価 (円/人)
                                                                                        y:橋りょう特殊工単価 (円/人)
              A:橋面積 (m²)
                                                                                        A:橋面積 (m<sup>2</sup>)
            A = W \times L \quad (m^2)
                                                                                      A = W \times L \quad (m^2)
               W:全幅員(地覆外縁間距離)(m)
                                                                                        W:全幅員(地覆外縁間距離)(m)
               L: 橋長 (m)
                                                                                        L: 橋長 (m)
   (3) [略]
                                                                             (3) 「略]
  4-5-3 登り桟橋工
                                                                           4-5-3 登り桟橋工
   (1) 「略]
                                                                            (1) [略]
   (2) 登り桟橋工費(手すり先行工法)
                                                                             (2) 登り桟橋工費(手すり先行工法)
       登り桟橋の施工において「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省)」を適用する場合の設置・撤去に
                                                                                登り桟橋の施工において「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省) | を適用する場合の設置・撤去にかかる
      かかる歩掛は、次式による。
                                                                               歩掛は、次式による。
```

登り桟橋工費(円)={5,116+2,917T11+0.474y(設置)+0.341y(撤去)}×H

T₁₁: 登り桟橋を供用している月数(月)

y:橋りょう特殊工単価(円/人)

H:登り桟橋の高さ (m)

(注) 手すり先行型枠組足場は二段手すり及び幅木の機能を有している。

4-6 [略]

5. • 6. [略]

⑤・⑥ [略]

⑦ 排水材設置工(水平排水層)

1. 適用範囲

本歩掛は、盛土 (路体盛土等) 内の浸透水の排除を目的に設置する帯状の排水材 (帯状シート・全透水型 (立体網状体等)) を設置、及びフィルター材 (砕石等) を敷設する作業に適用する。なお、帯状の排水材の設置は水平排水材、フィルター材 (砕石等) の敷設はフィルター層とする。

1-1 適用出来る範囲

- 1-1-1 水平排水材
- _(1) 現地発生土及び鉄丸釘等を用いて固定する方法を標準とし、排水材規格は幅100mm 以上600mm 以下、厚50mm以下の場合。
- (2) 帯状シート及び全透水型の場合。
- 1-1-2 フィルター層
- (1) フィルター層(水平排水層)及びフィルター層(基盤排水層)の場合。
- (2) フィルター層は厚 300mm 以上 500mm 以下の場合。

1-2 適用出来ない範囲

- 1-2-1 水平排水材
- (1) 切盛境に設置する場合。
- (2) 構造物背面のコンクリート面に設置する場合。
- (3) 補強土壁及び補強盛土の補強領域内への浸透を排除するため、盛土の一定厚さごとに、水平排水材を設置する場合。 (4) 帯状排水材の全透水型 (メッシュチューブ型) 及び半透水型の場合。
- 1-2-2 フィルター層
- (1) 排水層内に暗渠排水管を埋設する場合。
- (2) 軟弱地盤処理工の場合。

<u>2. 施工概要</u>

施工フローは、下記を標準とする。

登り桟橋工費(円)={5,116+2,917 T₁₁+0.427y(設置)+0.307y(撤去)}×H

T₁₁: 登り桟橋を供用している月数(月)

y:橋りょう特殊工単価(円/人)

H:登り桟橋の高さ (m)

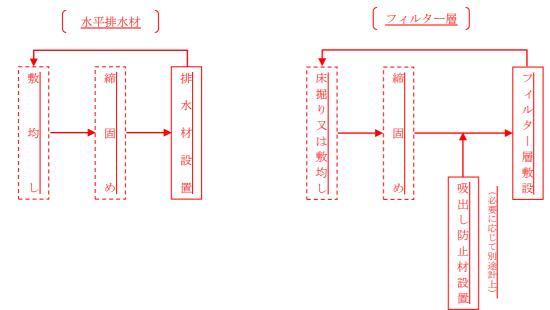
(注) 手すり先行型枠組足場は二段手すり及び幅木の機能を有している。

4-6 [略]

5. • 6. [略]

⑤・⑥ [略]

[新設]



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3. 施工歩掛

3-1 水平排水材設置歩掛

水平排水材設置歩掛は、次表を標準とする。

表 3. 1 水平排水材設置歩掛 (10m 当り)

	製	品	幅 (mm)	及び	厚 (mm)		幅 100 以上 600 以下
	<u>名</u>		称		<u>単</u> 化	<u>\frac{\frac{1}{4}}{4}</u>	厚 50 以下
<u>±</u>	木 一	般	世	話 役		<u>人</u>	<u>0. 04</u>
普	通	作	業	員		<u> </u>	<u>0. 13</u>
排		水		材		<u>m</u>	<u>10. 2</u>
諸	雑		費	率		<u>%</u>	<u>0.3</u>

- (注) 1. 歩掛は、運搬距離 60m 程度までの現場内小運搬を含む設置作業であり、盛土は含まない。
 - 2. 水平排水材のロス率 (重合せ及び切断ロス) は、+0.02 として上表に含まれている。
 - 3. 諸雑費は、ハンマーの損料及び鉄丸釘等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた 金額を計上する。なお、固定方法に関わらず本諸雑費率を使用できる。

3-2 フィルター層敷設歩掛

フィルター層敷設歩掛は、次表を標準とする。

表 3. 2 フィルター層敷設歩掛 (10m3 当り)

				11. / /H/MHM2	3==== 3 2 7
	製品	幅 (mm) 及	び	厚 (mm)	厚 300 以上 500 以下
	<u>名</u>	<u></u> 称		<u>単位</u>	序 300 公工 300 公丁
<u>土 木</u>	一 般	世話	役	<u>人</u>	<u>0. 11</u>
特 殊	作	業	員	<u>"</u>	<u>0. 06</u>
普 通	作	業	員	<u>"</u>	<u>0. 31</u>
バッ (クロ	ク ー ラ	ホ 型) 運	<u>ウ</u> 転	<u>h</u>	2.2
フ ィ	ル	タ ー	材	<u>m3</u>	<u>13</u>
諸	雑	費	率	<u>%</u>	0.3

- (注) 1. 歩掛は、運搬距離 40m 程度までの現場内小運搬を含む敷設作業であり、掘削及び盛土は含ま ない。
 - 2. フィルター材のロス率 (材料ロス) は、+0.3 として上表に含まれている。
 - 3. 諸雑費は、締固め機械等の運転経費であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を計上す る。 4. 吸出し防止材が必要な場合は、「施工パッケージ型積算基準2. 共通工⑦吸出し防止材設置

工」により別途計上する。

4. 単価表

_____ _(1) 水平排水材 10m当り設置単価表

<u>名 </u>	<u>規 格</u>	<u>単位</u>	<u>数量</u>	<u>摘 要</u>
土木一般世話役		<u>人</u>		<u>表 3. 1</u>
普通作業員		<u> 11</u>		<u>"</u>
水 平 排 水 材	製品幅(mm)・製品厚(mm)	<u>m</u>		<u>〃</u> 10× (1+ロス率)
諸 雑 費		式	<u>1</u>	<u>""</u>
計				

(2) フィルター層 10m3 当り敷設単価表

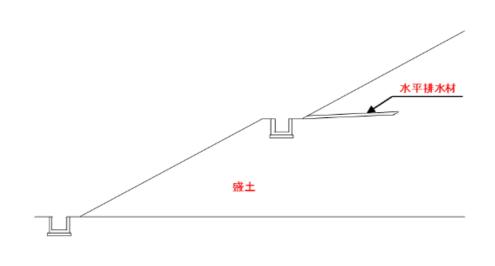
マープラープラン 指 Terrie コラが欧ー画文										
<u>名 </u>	<u>規 格</u>	<u>単位</u>	数量	摘 要						
土木一般世話役		<u>人</u>		表 3. 2						
特殊作業員		<u> 11</u>		<u>"</u>						
普通作業員		<u> 11</u>		<u>"</u>						
<u>バ ッ ク ホ ウ</u> <u>(クローラ型)運転</u>	後方超小旋回型・超低騒音型・ クレーン 機能付き・ 排出ガス対策型 (2014 規制)・ 山積 0.5m3 (平積 0.4m3) 吊能力 2.9t	<u>h</u>		<u>"</u> 機械損料						
フィルター材		<u>m3</u>		<u>"</u> 10× (1+ロス率)						
<u>諸</u> 雑 費		<u>式</u>	<u>1</u>	<u>""</u>						
<u>計</u>										

(3)機械運転単価表

機 械 名	<u>規 格</u>	適用単価表	指定事項
	後方超小旋回型・超低騒音型・ クレーン 機能付き・排出ガス対策型 (2014 規制)・ 山積 0.5m3 (平積 0.4m3) 吊能力 2.9t	機-1	

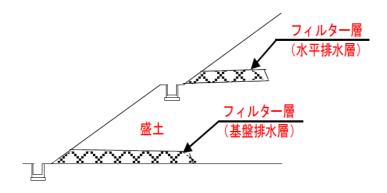
5. 参考図

水平排水材の参考図



		ı

フィルター層の参考図



9. ほ場整備工

①~③ [略]

- ④ 基盤整地及び簡易整備
- 1.・2. [略]
- 3. **機種の選定** [略]

表3.1 機種の選定

衣 3. 1 放性 0 八迭 上				
機械名	規 格			
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 11t 級			
<i>y</i> /v r · · · y	排出ガス対策型(第1次基準値) 15t 級			
湿地ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 13t 級			
位に ファレト・ り	排出ガス対策型(第1次基準値) 16t 級			
超湿地ブルドーザ	排出ガス対策型(<mark>第3次基準値</mark>) 18t 級			
	I I			

3-1 機種の選定は、次表を標準とする。

3-1-1 地耐力による適用機種の標準

表3.2 地耐力による適用機種の標準

女 0. 2 「心間リカーこと の近 1 1 放産 マカ 泉土				
機種	コーン支持力値	載荷時接地圧		
超湿地ブルドーザ 排出ガス対策型 <u>(第3次基準値</u>)	200 kN/m²以上	15∼23 kPa		
湿地ブルドーザ 排出ガス対策型(第1次基準値)	300 "	22~43 "		
ブルドーザ 11t級 排出ガス対策型(第1次基準値)	500 "	58~61 "		
ッ 15t級 排出ガス対策型(第1次基準値)	500 "	50~60 "		

注)1.・2. [略]

3-1-2 機種選定表

	表 3. 3 機性 選 正 表	
ブルドーザ	湿地ブルドーザ	超湿地ブルドーザ

9. ほ場整備工

①~③ [略]

- ④ 基盤整地及び簡易整備
- 1. 2. [略]
- 3. **機種の選定** [略]

表3.1 機種の選定

-	
機械名	規 格
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 11t 級
) /V - 1	排出ガス対策型(第1次基準値) 15t 級
湿地ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 13t 級
湿地 ノルトーリ	排出ガス対策型(第1次基準値) 16t 級
超湿地ブルドーザ	排出ガス対策型(<u>第1次基準値</u>) 18t 級

- 3-1 機種の選定は、次表を標準とする。
- 3-1-1 地耐力による適用機種の標準

表3.2 地耐力による適用機種の標準

20. 2 地間プリーの の地方及性の大手				
機種	コーン支持力値	載荷時接地圧		
超湿地ブルドーザ 排出ガス対策型(<mark>第1次基準値</mark>)	200 kN/m²以上	15∼23 kPa		
湿地ブルドーザ 排出ガス対策型(第1次基準値)	300 "	22~43 "		
ブルドーザ 11t級 排出ガス対策型(第1次基準値)	500 "	58~61 "		
" 15t 級 排出ガス対策型(第 1 次基準値)	500 "	50~60 "		

(注) 1.・2. [略]

3-1-2 機種選定表

表3.	3	機種選定表
1X U.	J	饭性选足仪

ブルドーザ	湿地ブルドーザ	超湿地ブルドーザ		

排出ガス対策型	排出ガス対策型	排出ガス対策型	排出ガス対策型	排出ガス対策型
(第1次基準値)	(第1次基準値)	(第1次基準値)	(第1次基準値)	(第3次基準値)
11t 級	15t 級	13t 級	16t 級	18t 級
1,000m³ 未満	1,000~ 15,000㎡ 未満	1,000m³ 未満	1,000~ 30,000㎡ 未満	1,000~30,000m³ 未満

4. 施工歩掛

[略]

4-1 運転1時間当り標準作業量(S。)

表 4. 1 運転 1 時間 当り標準作業量 (ha/hr)

	汉 元 Ⅰ 建山 Ⅰ □	
機 種	規 格	運転1時間当り標準作業量(S。)
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 11t 級	0. 155
	排出ガス対策型(第1次基準値) 15t級	0. 169
湿地ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 13t 級	0. 175
極地クルドーリ	排出ガス対策型(第1次基準値) 16t 級	0. 177
超湿地ブルドーザ	排出ガス対策型(<mark>第3次基準値</mark>) 18t 級	0. 214

 $4-2\sim 4-4$ [略]

5. 単価表

(1) 基盤整地及び簡易整備 1 ha 当り単価表

(1) 空血症の人) 間の症婦 100 コノー 間久				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
ブルドーザ運転 (普通又は湿地 又は超湿地)	排出ガス対策型 (<mark>第○次基準値</mark>) ○○t 級	h	1/S	表4. 1、表4. 2
世 話 役		人		表4. 4
普 通 作 業 員		"		II
計				

(2)機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 11t級	機-1	
	排出ガス対策型(第1次基準値) 15t級	"	
湿地ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 13t級	"	
	排出ガス対策型(第1次基準値) 16t級	"	
超湿地ブルドーザ	排出ガス対策型(<mark>第3次基準値</mark>) 18t 級	"	

⑤ 暗渠排水工

1.・2. [略]

3. 機種の選定

排出ガス対策型 (第1次基準値)	排出ガス対策型 (第1次基準値)	排出ガス対策型 (第1次基準値)	排出ガス対策型 (第1次基準値)	排出ガス対策型 (第1次基準値)
11t 級	15t 級	13t 級	16t 級	18t 級
1,000m³ 未満	1,000~ 15,000㎡ 未満	1,000m³ 未満	1,000~ 30,000m³ 未満	1,000~30,000m³ 未満

4. 施工歩掛

[略]

4-1 運転1時間当り標準作業量(S。)

長4. 1 運転1時間当り標	進作業量
----------------	------

(ha/hr)

機 種	規 格	運転1時間当り標準作業量(S。)
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 11t級	0. 155
	排出ガス対策型(第1次基準値) 15t級	0. 169
湿地ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 13t級	0. 175
極地ノルドーリ	排出ガス対策型(第1次基準値) 16t 級	0. 177
超湿地ブルドーザ	排出ガス対策型(<mark>第1次基準値</mark>) 18t 級	0. 214

 $4-2\sim 4-4$ [略]

5. 単価表

(1) 基盤整地及び簡易整備 1 ha 当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
ブルドーザ運転 (普通又は湿地 又は超湿地)	排出ガス対策型 (<u>第1次基準値</u>) ○○t 級	h	1/S	表4. 1、表4. 2
世 話 役		人		表4. 4
普 通 作 業 員		11		II
計				

(2)機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 11t級	機-1	
	排出ガス対策型(第1次基準値) 15t級	"	
湿地ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 13t級	"	
OR TO JULY 9	排出ガス対策型(第1次基準値) 16t級	"	
超湿地ブルドーザ	排出ガス対策型(<mark>第1次基準値</mark>) 18t 級	"	

⑤ 暗渠排水工

1.・2. [略]

3. 機種の選定

$3-1 \sim 3-3$ [略]

3-4 小運搬機械

[略]

表3.4 機種の選定

Z =						
資 材 名	機械名	規 格				
暗渠排水管(定尺管) 土管・陶管 もみ殻、粗朶類	不整地運搬車	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型油圧ダンプ式積載質量2.0t				
暗渠排水管(ロール管) 砕石	不整地運搬車	<u>排出ガス対策型(2014 年規制)</u> クローラ型油圧ダンプ式積載質量 <u>2.0~3.0t</u>				

(注) 1.・2. [略]

4. 施工歩掛

4-1 [略]

4-2 小運搬

4-2-1 [略]

4-2-2 機械小運搬(不整地運搬車)

(1) 日当り施工量

[略]

表4.6 日当り施工量

(1 日当り)

		矛	長4.6 日当り施工		(1 日当り)	
				運 搬 距 離		
資 材 名	規格	単位	50m 以下	50m を超え	100m を超え	
			20回以下	100m 以下	150m 以下	
暗渠排水管	排出ガス対策型(第2次基準値)					
	クローラ型油圧ダンプ式	m	_	3, 310	3, 160	
(足八百)	積載質量 2.0t					
暗渠排水管	排出ガス対策型(2014 年規制)					
(ロール管)	クローラ型油圧ダンプ式	"	2, 580	2, 240	1,890	
(積載質量 <u>2.0~3.0t</u>					
	排出ガス対策型(第2次基準値)					
土管・陶管	クローラ型油圧ダンプ式	ton	7.2	6.6	6.0	
	積載質量 2.0t					
	排出ガス対策型(第2次基準値)					
もみ殻	クローラ型油圧ダンプ式	m ³	110	94. 4	78. 8	
	積載質量 2. 0t					
	排出ガス対策型(2014年規制)					
中 石	クローラ型油圧ダンプ式	"	38. 5	32. 9	27. 2	
	積載質量 <u>2.0~3.0t</u>					
	排出ガス対策型(第2次基準値)					
粗杂類	クローラ型油圧ダンプ式	"	155	137	120	
	積載質量 2.0t					

(注) [略]

(2) [略]

5. 単価表

(1)~(3) [略]

(4)機械小運搬(不整地運搬車)1日当り単価表

名 称	規格	単位	数 量	摘要
不整地運搬車運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型油圧ダンプ 式積載質量2.0t 又は排出ガス対策型(2014 年規制) クローラ型油圧ダンプ 式積載質量2.0~3.0t	日	1.0	表 4. 6

 $3-1 \sim 3-3$ [略]

3-4 小運搬機械

[略]

表3.4 機種の選定

	1	りまずんとん
資 材 名	機械名	規 格
暗渠排水管 (定尺管) 土管・陶管 もみ殻、粗朶類	不整地運搬車	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型油圧がソプ式積載質量2.0t
暗渠排水管(ロール管) 砕石	不整地運搬車	クローラ型油圧ダンプ式積載質量 <u>3.0t</u>

(注) 1.・2. [略]

4. 施工歩掛

4-1 [略]

4-2 小運搬

4-2-1 [略]

4-2-2 機械小運搬(不整地運搬車)

(1) 日当り施工量

[略]

表 4.	6 1	口当り	施工量
1X 4.	U I	ローツ	ルルード

(1 日当り)

			表 4. 6 日当り	施工量	(1 目当
	規格単			運搬距離	
資 材 名		単位	50m 以下	50m を超え 100m 以下	100m を超え 150m 以下
暗渠排水管(定尺管)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型油圧ダンプ式 積載質量2.0t	m	_	3,310	3, 160
暗渠排水管 (ロール管)	クローラ型油圧ダンプ式 積載質量 <u>3.0t</u>	IJ	2, 580	2, 240	1, 890
土管・陶管	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型油圧ダンプ式 積載質量2.0t	ton	7.2	6.6	6. 0
もみ殻	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型油圧ダンプ式 積載質量2.0t	m^3	110	94. 4	78.8
砕 石	クローラ型油圧ダンプ式 積載質量 <u>3.0t</u>	IJ	38. 5	32. 9	27. 2
粗杂類	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型油圧ダンプ式 積載質量2.0t	IJ	155	137	120

(注) [略]

(2) [略]

5. 単価表

(1)~(3) [略]

(4)機械小運搬(不整地運搬車)1日当り単価表

名 称	規格	単位	数 量	摘 要
不整地運搬車運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型油圧ダンプ 式積載質量2.0t 又は クローラ型油圧ダンプ 式積載質量3.0t	田	1.0	表4.6

普 通 作 業 員	人	労務数×D/10 又は100	表 4. 7
計			

(注) [略]

(5)機械運転単価表

	X		
機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
トレンチャ	自走式・普通型 クローラ 35kW	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→33 機械損料数量→1.52
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.28m³ (平積0.20m³)	II	運転労務数量→1.00 燃料消費量→34 機械損料数量→1.66
不整地運搬車	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 油圧ゲンプ式 積載質量2.0t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→14 機械賃料数量→1.55
不整地運搬車	<u>排出ガス対策型</u> (2014 年規制) クローラ型 油圧ゲンプ 式 積載質量 2.0~3.0t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>16</u> 機械損料数量→1.57

⑥ [略]

10. 農地造成工

- ① [略]
- ② レーキドーザ抜根
- 1. [略]
- 2. 機種の選定 [略]

表 2. 1 機種の選定

機械名	規格
レーキドーザ	[削る。] [削る。] [削る。] 湿地 13t 湿地 16t
(注) [略]	

3. 施工歩掛 [略]

3-1 [略]

普	通	作	業	員	人	労務数×D/10 又は100	表4.7
		計					

(注) [略

(5)機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指定事項
トレンチャ	自走式・普通型 クローラ 35kW	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→33 機械損料数量→1.52
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.28m³ (平積0.20m³)	II	運転労務数量→1.00 燃料消費量→34 機械損料数量→1.66
不整地運搬車	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 油圧ダンプ式 積載質量2.0t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→14 機械賃料数量→1.55
不整地運搬車	クローラ型 油圧ダンプ式 積載質量 <u>3.0t</u>	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>20</u> 機械損料数量→1.57

⑥ [略]

10. 農地造成工

- ① [略]
- ② レーキドーザ抜根
- 1. [略]
- 2. 機種の選定 [略]

表 2. 1 機種の選定

1X Z. I	位に対応に
	規格
	<u>普通 11t</u>
	<u>普通 15t</u>
ザ	<u>普通 21t</u>
	湿地 13t
	湿地 16t
	# #

3. 施工歩掛

3-1 [略]

3-2 作業効率(E) [略]

表 3. 2 作業効率

33	0. 2 IFAM	_	
現場条件 機 種	良 好	普通	不 良
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
16t 湿地レーキドーザ	0.80	1.00	1.20
13t 湿地レーキドーザ	1. 15	1.35	1.55

____ [削る。]

表 3. 3 抜根作業の現場条件判定基準

表 3. 3	抜恨作耒の現場余件刊正基準	
項目	区 分	得 点
勾 配	<u>0~8°未満</u> [削る。] 8°~	0 [削る。] <u>2</u>
立 木 率	$0 \sim 10 \%$ $11 \sim 50$ $51 \sim 100$	0 1 2
稚樹等密度	0~1,000本/ha 1,001~2,000 2,001~3,000 3,001~	0 1 2 3
[削る。]	[削る。]	[削る。]
その他作業条件	普 や や 不 良 不 良	0 1 2

(注) 1.・2. [略] [削る。]

表 3. 4 現場条件判定表

現場条件	良 好	普 通	不 良
得点範囲	$0 \sim 2$	$3\sim6$	$7 \sim 9$

3-3 [略]

4. 単価表

(1)レーキドーザ抜根1ha 当り単価表

名 称	規格	単位	数 量	摘 要
レーキドーザ運転	湿地○○t	h	Th	表 3. 1、表 3. 2
計				

(2)機械運転単価表

機械名		規格	適用単価表	指 定 事 項
	レーキドーザ	[削る。]	機-1	

3-2 作業効率(E) [略]

表 3. 2 作業効率

	20.			
機	現場条件種	良好	普 通	不 良
	21t レーキドーザ	<u>0. 65</u>	<u>0.85</u>	<u>1.05</u>
	15t レーキドーザ	0.80	1.00	1.20
	11t レーキドーザ	1. 15	1. 35	1.55

(注) 湿地用レーキドーザ使用の場合 16t、13t はそれぞれ本表の 15t、11t の欄を適 用する。

表 3. 3 抜根作業の現場条件判定基準

	項	目	区分	得 点
勾		配	<u>0~3°未満</u> <u>3~8°″</u> 8°~	0 <u>1</u> <u>3</u>
立	木	率	$0 \sim 10 \%$ $11 \sim 50$ $51 \sim 100$	0 1 2
稚	樹等	密度	0~1,000本/ha 1,001~2,000 2,001~3,000 3,001~	0 1 2 3
<u>±</u>	質	名	砂 質 土 粘 性 土	<u>0</u> <u>1</u>
その	他作	業条件	普 や や 不 良 不 良	0 1 2

(注) 1. • 2. [略]

3. 湿地用レーキドーザ使用の場合、勾配及び土質の得点については1を0、3 を2と読み替える。

表 3. 4 現場条件判定表

現場条件	良 好	普 通	不 良
得点範囲	$0 \sim 2$	$3 \sim 6$	<u>7 ∼11</u>

3-3 [略]

4. 単価表

(1)レーキドーザ抜根1ha 当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
レーキドーザ運転	普通○○t 又は _ 湿地○○t	h	Th	表 3. 1、表 3. 2
計				

(2)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
レーキドーザ	普通 11t 普通 15t	機一1	

湿地 13t		
湿地 16t		

③ レーキドーザ排根

- 1. [略]
- 2. 機種の選定 [略]

表 2. 1 機種の選定

X - 1 X1	±*/ /C_/C
機械名	規格
	[削る。]
	[削る。]
レーキドーザ	[削る。]
	湿地 13t
	湿地 16t
[略]	
	機械名

3. 施工歩掛 [略]

3-1 [略]

3-2 作業効率(E) [略]

表 3. 2 作業効率

	F F 未 M 十		
現場条件 機 種	良 好	普 通	不 良
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
16t 湿地レーキドーザ	0.70	1.00	1.30
13t 湿地レーキドーザ	1.05	1.35	1.65

[削る。]

表 3. 3 排根作業の現場条件判定基準

	項		目		区 分	得 点
勾				配	<u>0~8°未満</u> [削る。] 8°~	0 [削る。] <u>2</u>
稚	樹	等	密	度	0~1,000本/ha 1,001~2,000 2,001~3,000 3,001~	0 1 2 3
樹				量	25,000 本cm/ha 未満 25,000~45,000 ″ 45,000 以上	0 1 2
そ	の他	作	業条	件	普通やや不良不良	0 1 2

<u>普通 21t</u>
湿地 13t
湿地 16t

③ レーキドーザ排根

- 1. [略]
- 2. 機種の選定 [略]

表 2. 1 機種の選定

2 =	± **
機械名	規格
	<u>普通 11t</u>
	<u>普通 15t</u>
レーキドーザ	<u>普通 21t</u>
	湿地 13t
	湿地 16t

(注) [略]

3. 施工歩掛 [略]

3-1 [略]

3-2 作業効率(E) [略]

表 3. 2 作業効率

現場条件 機 種	良 好	普 通	不 良
21t レーキドーザ	<u>0. 55</u>	<u>0.85</u>	<u>1. 15</u>
15t レーキドーザ	0. 70	1.00	1.30
11t レーキドーザ	1.05	1. 35	1.65

(注) 湿地用レーキドーザ使用の場合 16t、13t はそれぞれ本表の 15t、11t の欄を適 用する。

表 3. 3 排根作業の現場条件判定基準

			衣	3. 3	排根作業の現場条件判定基準	
	項		目		区 分	得 点
勾				配	<u>0~3°未満</u> <u>3~8°″</u> 8°~	0 <u>1</u> <u>3</u>
稚	樹	等	密	度	0~1,000本/ha 1,001~2,000 2,001~3,000 3,001~	0 1 2 3
樹				量	25,000 本cm/ha 未満 25,000~45,000 ″ 45,000 以上	0 1 2
そ	の他	作	業条	:件	普通やや不良不良	0 1 2

(注) 1.・2. [略] [削る。]

3. 樹量 (本cm/ha) =樹木密度 (本/ha) ×平均樹径 (cm)

表 3. 4 現場条件判定表

現場条件	良 好	普 通	不 良
得点範囲	$0 \sim 2$	$3 \sim 5$	$6 \sim 9$

3-3 [略]

4. 単価表

(1) レーキドーザ排根 1 ha 当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
レーキドーザ運転	湿地○○t	h	Th	表 3. 1、表 3. 2
計				

(2)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
レーキドーザ	[削る。]	機-1	
	湿地 13t 湿地 16t		

④ リッパドーザ岩掘削

1. [略]

2. 機種及び爪数の選定

2-1 機種の選定 [略]

表 2. 1 機種の選定

		X = :	
	機種	規格	適用区分
	リッパ装置付	排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>) 18t 級	掘削量が 5,000 m³未満の場合
	ブルドーザ	排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>) 32t 級	掘削量が 5,000 m³以上の場合
(注	:) [略]		

2-2 [略]

3. 施工歩掛

[略]

3-1 リッピング断面積 (q)

表 3. 1 リッピング断面積

(m²)

	双 0. 1 / / こ		(111)
爪数 規格	1本	2本	3本
排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>) 18t 級	0. 23	0. 28	0.40
排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>) 32t 級	0. 27	0.35	0.50

(注) 1.・2. [略]

3. 湿地用レーキドーザ使用の場合、勾配の得点については1を0、3を2と 読み替える。

4. 樹量 (本cm/ha) =樹木密度 (本/ha) ×平均樹径 (cm)

表 3. 4 現場条件判定表

現場条件	良 好	普 通	不 良
得点範囲	$0 \sim 2$	$3\sim5$	<u>6 ∼10</u>

3-3 [略]

4. 単価表

(1) レーキドーザ排根 1 ha 当り単価表

名 称	規格	単位	数 量	摘 要
レーキドーザ運転	普通○○t 又は 湿地○○t	h	Th	表 3. 1、表 3. 2
計				

(2)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
レーキドーザ	普通 11t 普通 15t 普通 21t	機-1	
	湿地 13t 湿地 16t		

④ リッパドーザ岩掘削

1. [略]

2. 機種及び爪数の選定

2-1 機種の選定 [略]

表 2. 1 機種の選定

機種	規格	適用区分
リッパ装置付	排出ガス対策型(<mark>第1次基準値</mark>) 18t 級	掘削量が 5,000m ³ 未満の場合
ブルドーザ	排出ガス対策型(<u>第1次基準値</u>) 32t 級	掘削量が 5,000m ³ 以上の場合

(注) [略]

2-2 [略]

3. 施工歩掛

[略]

3-1 リッピング断面積 (q)

表 3. 1	リッピング断面積	

 (m^2)

爪数 規格	1本	2本	3本
排出ガス対策型(<u>第1次基準値</u>) 18t 級	0. 23	0. 28	0.40
排出ガス対策型(<u>第1次基準値</u>) 32t 級	0. 27	0.35	0.50

3-2 作業効率(E)

表 3. 2 作業効率

	2	X 0. 2 IF A M-	_		
規格		l .	単性波速度 /sec)	標準値	範囲
796 14		A群の岩	B群の岩		#G K-1
排出ガス対策型 (<u>第2次基準値</u>)18t 級	3~1本爪	_	_	0. 45	0.55~0.35
排出ガス対策型	3本爪	0.6 未満	0.9 未満	0.60	0.70~0.50
(<u>第2次基準値</u>)32t級	3~1本爪	0.6以上	0.9以上	0.50	0.60~0.40

(注) [略]

表 3. 3 [略]

3-3 [略]

4. [略]

5. 単価表

(1) リッパドーザ岩掘削(農用地造成工用)1 m³当り単価表

名 称	規格	単位	数 量	摘要
リッパドーザ運転	排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>) ○○t 級、爪数○本	h	1/Q	表 3. 1~表 3. 3
計				

(2)機械運転単価表

⑤ リッパドーザ (耕起・深耕)

1.・2. [略]

3. 機種の選定 [略]

表 3. 1 機種の選定

	×
機種	規格
リッパ装置付ブルドーザ	排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>) 18t 級、爪数3

4. [略]

3-2 作業効率(E)

表 3. 2 作業効率

衣 5. Z TF未划平						
規格		地山の弾性波速度 (km/sec)		標準値	範 囲	
		A群の岩	B群の岩			
排出ガス対策型 (<mark>第1次基準値</mark>)18t 級	3~1本爪	_	_	0.45	0.55~0.35	
排出ガス対策型	3本爪	0.6 未満	0.9 未満	0.60	0.70~0.50	
(<u>第1次基準値</u>)32t級	3~1本爪	0.6以上	0.9以上	0.50	0.60~0.40	

(注) [略]

表 3. 3 [略]

3-3 [略]

4. [略]

5. 単価表

(1) リッパドーザ岩掘削(農用地造成工用)1m³当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘要
リッパドーザ運転	排出ガス対策型(<mark>第1次基準値</mark>) ○○t 級、爪数○本	h	1/Q	表 3. 1~表 3. 3
計				

(2)機械運転単価表

(2) 成队进和十四级			
機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
機 概 名 リッパ ド ー ザ (リッパ 装置付ブルドーザ)	現 格 排出ガス対策型(第1次基準値) 18t級、爪数3 排出ガス対策型(第1次基準値) 18t級、爪数2 排出ガス対策型(第1次基準値) 18t級、爪数1 排出ガス対策型(第1次基準値) 32t級、爪数3 排出ガス対策型(第1次基準値) 32t級、爪数3 排出ガス対策型(第1次基準値) 32t級、爪数2 排出ガス対策型(第1次基準値)	適用 単 価表	
	32t 級、爪数 1		

⑤ リッパドーザ (耕起・深耕)

1.・2. [略]

3. 機種の選定 [略]

表 3. 1 機種の選定

表 3. 1 機性の選定					
機種	規格				
リッパ装置付ブルドーザ	排出ガス対策型(<mark>第1次基準値</mark>) 18t 級、爪数3				

4. [略]

5. 単価表

(1) リッパドーザ(耕起・深耕) 1ha 当り単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘要
リッパドーザ運転	排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>) 18t 級、爪数3	目	1/QD	表 4. 1~表 4. 3
計				

(注) [略]

(2)機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
リッパドーザ	排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>) 18t 級、爪数3	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→127 機械損料数量→1.69

⑥~⑪ [略]

12. 地すべり防止工

①~④ [略]

[削る。]

5. 単価表

(1) リッパドーザ(耕起・深耕) 1ha 当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘要
リッパドーザ運転	排出ガス対策型(<u>第1次基準値</u>) 18t 級、爪数3	目	1/QD	表 4. 1~表 4. 3
計				

(注) [略]

(2)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
リッパドーザ	排出ガス対策型(<mark>第1次基準値</mark>) 18t 級、爪数3	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→127 機械損料数量→1.69

⑥~⑪ [略]

12. 地すべり防止工

①~④ [略]

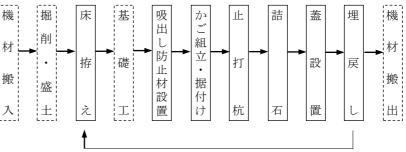
⑤ 地すべり防止工(じゃかご)

1. 適用範囲

本歩掛は、地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設における、じゃかご(径 45~60 cm)の施工に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



必要回数繰り返し

(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。

3. 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種の選定

機械名	<u>規 格</u>	単位	数量	摘 要
<u>バックホウ</u> <u>(クローラ型)</u>	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積 0.5 ㎡(平積 0.4 ㎡)	台	1	
不整地運搬車	<u>クローラ型・ダンプ式2t積</u>		<u>1</u>	必要に応じて計上

<u>4. 施工歩掛</u>

じゃかご施工歩掛は、次表を標準とする。

	表 4. 1 じゃか	いご施工歩	掛		(10m当り)
名 称	規格	単位	<u>径(</u>	cm)	摘 要
<u> </u>	<u></u>	<u> </u>	<u>45</u>	<u>60</u>	<u> </u>
<u>詰</u> 石		<u>m³</u>	<u>1.5</u>	<u>2.7</u>	
<u>世</u> 話 役		<u>人</u>	<u>0.2</u>	<u>0.3</u>	
特殊作業員			0.7	1.3	
普通作業員		<u> "</u>	<u>0.7</u>	<u>1.2</u>	
<u>バックホウ</u> (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積 0.5 ㎡(平積 0.4 ㎡)	<u>h</u>	0.2	<u>0. 4</u>	
不整地運搬車運転	クローラ型・ダンプ式2t積	<u> </u>	<u>0. 06</u>	<u>0. 10</u>	<u>必要に応じて</u> 計上(注)1

- (注) 1. 本歩掛は、床拵え、かご組立・据付け、止打杭、詰石、埋戻し及び平均運搬距離 30mまでの現場内小運搬を 含む。ただし、平均運搬距離が 30mを超え 200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。
 - 2. 詰石量は、材料ロスを含む。 (表 5.1)
 - 3. 運搬機械が上表により難い場合は、別途考慮する。
 - 4. 止杭を必要とする場合は、打込みに止杭1本当り普通作業員0.06人を別途計上する。 なお、止杭は松丸太末口9cm、長さ1.5mを標準とする。
 - 5. <u>吸出し防止材が必要な場合は、別途計上する。なお、本歩掛に吸出し防止材の設置手間は含まれていない。</u>
 - 6. 不整地運搬車は、賃料とする。
 - 7. じゃかごの撤去歩掛は、上表の50%とする。

5. 材料使用数量

詰石材の使用数量は、次式による。

詰石材の使用数量 (m³) = かご容積 (m³) × (1+K) …式 5.1

K:ロス率

表 5. 1 ロス率 (K)

<u> </u>	7 7 1 (117)
<u>名 称</u>	ロス率
詰石材	-0.05

<u>6.</u> 単価表

	0 (% C 10111])					1
	<u>名 称</u>		<u>規 格</u>	<u>単位</u>	数量	<u>摘 要</u>
世	話	役		<u>人</u>		表 4. 1
<u>特</u>	殊 作 業	員		<u> 11</u>		<u>"</u>
普	通 作 業	員		<u> 11</u>		<u>"</u>
じ	ゃ か			<u>m</u>	<u>10</u>	
詰		石		<u>m</u> ³		<u>表 4. 1、表 5. 1、</u> 式 5. 1
<u>バ</u> (ク	ッ ク ホ ローラ型) i	<u>ウ</u> 軍 転	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積 0.5 ㎡ (平積 0.4 ㎡)	<u>h</u>		表 4. <u>1</u> 機械損料
<u>不</u> 整	医地運搬車貨	重転	クローラ型・ダンプ式2t積	<u>B</u>		表 4. <u>1</u> 必要に応じて計上 機械賃料

<u>⑤</u> [略]

15. 仮設工

- ① [略]
- ② 大型土のうエ
- 1. 適用範囲

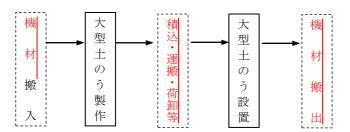
本歩掛は、大型土のうの製作・設置、撤去、移設に適用する。なお、大型土のうの袋材は容量 1 m^3 を標準とし、水中部に設置する場合は水深 2.5 m以内を適用範囲とする。

なお、砂防工での仮締切工の施工に伴う大型土のうの製作・設置・撤去には適用できない。

2. 施工概要

[略]

①製作・設置



<u>(2) 止杭 10 本当り</u>単価表

<u>名 </u>			<u>'F</u>		<u>規 格</u>	<u>単位</u>	数量	<u>摘 要</u>
普	通	作	業	員		<u>人</u>	<u>0. 6</u>	
止				杭	松丸太 長 1.5m 末口 9 cm	<u>本</u>	<u>10</u>	
		計						

(3)機械運転単価表

機 械 名	<u>規 格</u>	適用単価表	指 定 事 項
<u>バ ッ ク ホ ウ</u> <u>(ク ロ ー ラ 型)</u>	標準型・排出ガス対策型(第1次基準値) 山積 0.5 ㎡ (平積 0.4 ㎡)	機-1	
不整地運搬車	クローラ型・ダンプ式2t積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→5.9 機械賃料数量→1.71

6 [略]

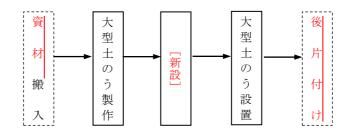
15. 仮 設 工

- ① [略]
- ② 大型土のうエ
- 1. 適用範囲

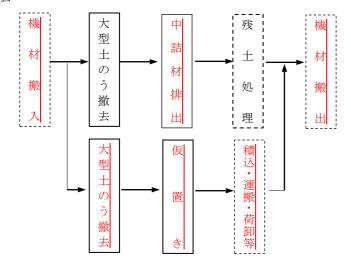
本歩掛は、大型土のうの製作・設置、撤去に適用する。なお、大型土のうの袋材は容量1 m³を標準とする。なお、砂防工での仮締切工の施工に伴う大型土のうの製作・設置・撤去には適用できない。

2. 施工概要 [略]

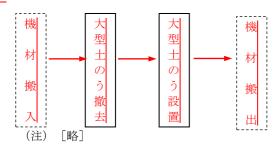
①製作·設置



②撤去



<u>③移設</u>



なお、各作業内容については、下記による。

(1) 製作・設置

バックホウで大型土のうを製作し、バックホウ又はラフテレーンクレーンで設置するまでの作業をいう。 バックホウによる横取り作業 (10mまで:製作現場~仮置場) を含む。 製作現場と設置現場が異なる場合は、積込、荷卸、運搬などの必要な費用を別途計上する。

(2) 製作

バックホウによる横取り作業(10mまで:製作現場~仮置場)を含む。 製作現場と設置現場が異なる場合は、積込、荷卸、運搬などの必要な費用を別途計上する。

(3) 設置(再設置含む)

大型土のうを使用機械の作業半径内に設置する作業をいう。なお、撤去した既設大型土のうを再設置する作業を含む。 製作現場と設置現場が異なる場合、撤去現場と再設置現場が異なる場合は、積込、荷卸、運搬などの必要な費用を別途 計上する。

(4) 撤去

撤去後の中詰材排出を含む。なお、排出した中詰材の積込・運搬が必要な場合は「施工パッケージ型積算基準1.土工 ②土工」により別途計上する。

<u>中詰材排出後の袋材の運搬及び処分費が必要な場合は、別途計上する。</u> 袋材破断等により吊り上げ不能なものは対象外とする。

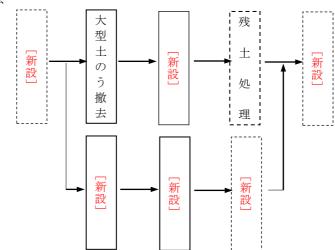
(5) 撤去(再利用)

既設大型土のうを再利用することを目的とした、撤去、仮置き作業をいう。 撤去、仮置き作業後、大型土のうの設置を行う場合は、別途「設置(再設置含む)」を計上する。 撤去現場と再設置現場が異なる場合は、積込、荷卸、運搬などの必要な費用を別途計上する。 袋材破断等により吊り上げ不能なものは対象外とする。

(6) 移設(撤去・再設置)

既設大型土のうを撤去し、仮置きせずに再設置を行う作業をいう。

②撤去



[新設]

(注) [略]

[新設]

撤去現場と再設置現場が異なる場合は、適用しない。 袋材破断等により吊り上げ不能なものは対象外とする。

3. 機種の選定

[略]

表 3. 1 機種の選定

		我 U. I IXIE	NEC .
作業種別	[削る。]	機械名	規格
製作・設置	[削る。]	バックホウ	後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・
		(クローラ型)	排出ガス対策型(2014 年規制)山積 0.45m3(平積
			0.35m3) 吊能力 2.9t
		ラフテレーン	油圧伸縮ジブ型
		<u>クレーン</u>	排出ガス対策型(第3次基準値)25t 吊
	[削る。]		<u>後方超小旋回型</u> ・超低騒音型
Hart 11		バックホウ	排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>)クローラ型 2.9t
製作		(クレーン機能付)	吊 山積 <u>0.45</u> m³(平積 <u>0.35</u> m³)
		,,,,,,	
設置(再設置含む)	[削る。]		超低騒音型
撤去		バックホウ	排出ガス対策型(<mark>2014 年規制</mark>)
撤去(再利用)		(クレーン機能付)	クローラ型 2.9t 吊
移設(撤去・再設置)			山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)
	[削る。]	ラフテレーンクレ	排出ガス対策型(第3次基準値)
		ーン	油圧伸縮ジブ型 25t 吊

(注) 1. [略]

- 2. 製作・設置における設置に使用する機械は、図 3-1 によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどち らかを選定する。
- 3. 設置 (再設置含む)、撤去、撤去 (再利用)、移設 (撤去・再設置)の機械は、図 3-2 によりバックホ ウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。

図3-1 機種の選定 製作・設置

	2m超		ラフテレーンクレー	ン 25t 吊	適用範囲外	
設置面高さ	2m以下					_作業半径
高さ	0 m	5m以下	5m超	20m以下	20m超	(m)
$\stackrel{\bigcirc}{\mathbb{m}}$		バックホウ(クレーン機能付き) 山積 0.45m3 吊能力 2.9t			適用範囲外	
	-3m以上 -3m未満					

- (注) 1. 設置作業半径は、機械の旋回中心から吊りフックまでの水平距離とする。
 - 2. 設置面高さは、バックホウ又はラフテレーンクレーンの設置面をゼロとしたときの大型土のうの設置面の 高さとする。
 - 3. 機械を水平で安定した地盤に設置した場合の適用範囲を示す。 4. 現場条件等により、上図により難い場合は別途考慮する。

図3-2 機種の選定 設置(再設置含む)、撤去、撤去(再利用)、移設(撤去・再設置)

÷π	2m超 2m以下		ラフテレーンクレ	ーン 25t 吊	適用範囲外	
設置・撤去						_作業半径
撤去高さ (m)	0m	6m以下 バックホウ(クレーン機能付き) 山積 0.8m3 吊能力 2.9t	6m超	20m以下	20m超 適用範囲外	(m)
	-3m以上 -3m未満					

3. 機種の選定

[略]

表 3. 1 榜	幾種の選定
----------	-------

作業種別	作業半径	機械名	規格
[新設]		[新設]	[新設]
		[新設]	[新設]
製作	_	バックホウ (クレーン機能付)	超低騒音型 排出ガス対策型 (<mark>第 3 次基準値</mark>) クローラ型 2.9t 吊 山積 <u>0.8</u> m³ (平積 <u>0.6</u> m³)
設置撤去	<u>6m以下</u>	バックホウ (クレーン機能付)	超低騒音型 排出ガス対策型 (<mark>第 3 次基準値</mark>) クローラ型 2.9t 吊 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)
	<u>6m を超え 20m 以</u> <u>下</u>	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊

- (注) 1. [略]
 - 2. 現場条件により、上記により難い場合は、別途考慮する。

[新設]

[新設]

[新設]

- (注) 1. 作業半径は、機械の旋回中心から吊りフックまでの水平距離とする。 2. 設置、撤去高さは、バックホウ又はラフテレーンクレーンの設置面をゼロとしたときの大型土のうの設置 面の高さとする。 3.機械を水平で安定した地盤に設置した場合の適用範囲を示す。

 - 4. 現場条件等により、上図により難い場合は別途考慮する。

[削る。]

<u>4</u>. 施工歩掛

<u>4</u>−1 編成人員 歩掛は次表を標準とする。

表 4. 1 編成人員

(日当り)

			<u> </u>	小川ノベノマラモ			(
名 称	単位	<u>製作・</u> <u>設置</u>	製作	設置 <u>(再設置</u> 含む)	撤去	<u>撤去</u> (再利 用)	<u>移設</u> (撤去・ 再設置)
世 話 役	人	1	1	1	1	<u>1</u>	<u>1</u>
特殊作業員	"	<u>1</u>	1	1	1	<u>1</u>	<u>1</u>
普通作業員	IJ	<u>1</u>	1	1	_	<u> </u>	<u>1</u>
	世話役	世 話 役 人 特殊作業員 "	名 称 単位 設置 世話 役 人 1 特殊作業員 " 1	名 新 単位 製作・ 設置 製作 世話役 人 1 1 特殊作業員 " 1 1	名 森 単位 製作・ 設置 製作 設置 (再設置 含む) 世話役 人 1 1 1 特殊作業員 " 1 1 1	名 本 単位 製作・ 設置 製作 設置 (再設置 含む) 撤去 世話 役 人 1 1 1 1 特殊作業員 " 1 1 1 1	名 新位 製作・設置・製作・食む・物法・(再利用) 世話役 人 1 1 1 1 1 特殊作業員 " 1 1 1 1 1

(注) 1.・2. [略] 3.~5. [削る。]

<u>4</u>-2 日当り施工量 [略]

4. 製作·設置歩掛

4-1 編成人員

製作から設置までの一連の歩掛は次表を標準とする。

				表 4. 1 編成人員 (日当
	名	称	<u>単位</u>	製作・設置	
世	話	役	<u>人</u>	<u>1</u>	
特	殊 作	業員	<u>II</u>	<u>1</u>	
普	通 作	業 員]]	<u>1</u>	

4-2 日当り施工量

日当り施工量は、次表を標準とする。

表 4. 2 日当り施工量

工 種	単位	施工量
製作・設置	袋	36 (52)

(注) ラフテレーンクレーンを使用する 場合は、() 書きを使用する。

4-3 諸雑費

諸雑費は、製作枠等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

		表 4. 3 諸雑費率	(%)		
	諸雑費率	4 (6)			
(注) ラフテレーンクレーンを使用する					
場合	は、() 書きを	使用する。			

<u>5</u>. 施工歩掛

5-1 編成人員

製作、設置、撤去作業を単独で行う場合の歩掛は次表を標準とする。

(日当り) 表 5. 1 編成人員 単位 [新設] [新設] [新設] 名 称 設置 撤去 世話役 [新設] 人 特殊作業員 1 [新設] 1 1 [新設] [新設] 普通作業員 IJ [新設]

(注) 1.・2. [略]

3. 製作には、横取り作業 (12mまで:製作現場~ 仮置場)を含む。

4. 製作現場と設置現場が異なる場合は、積込・ 荷卸し・運搬等必要な費用を別途計上する。

5. 撤去には、中詰材排出を含む。

<u>5</u>-2 日当り施工量

[略]

表 4.2 日当り施工量

<u> </u>	/ //	<u>-</u>
工種	単位	施工量
製作・設置	<u>袋</u>	34 (49)
製 作	<u> 11</u>	<u>69</u>
設置 (再設置含む)	"	77 (66)
撤去	<u>115 (106)</u>	
撤去(再利用)	<u>""</u>	147 (136)
移設 (撤去・再設置)	<u> 11</u>	69 (62)

(注) ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用する。

[削る。]

4-3 諸雑費

諸雑費は、<u>製作・設置、製作の作業で必要な</u>製作枠<u>の損料、スコップ、ワイヤーロープ等の費用、設置(再設置含む)、</u> <u>撤去、撤去(再利用)、移設(撤去・再設置)の作業で必要なワイヤーロープ</u>等の費用であり、労務費の合計額に次表の率 を乗じた金額を計上する。

表 4. 3 諸雑費率 (%)

~ <u>~</u> -	HH-1H-2C 1	(/ - /
工種	諸雑費率	
製作・設置	1 (2)	
製作	<u>2</u>	
設置 (再設置含む)	0.2 (0.2)	
撤 去	0.4 (0.4)	
撤去 (再利用)	0.5 (0.5)	
移設 (撤去・再設置)	0.2 (0.2)	

(注) ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 内を使用する。

<u>5</u>.単価表

(1) 大型土のう製作・設置 10 袋当り単価表(バックホウ設置)

		双コケギ曲な (ハノノハノ改臣)			
名 和	尔	規格	単位	数 量	摘 要
世話	役		人	1×10/ D	表 4. 1、4. 2
特殊作	業員		"	1×10/ D	JJ
普 通 作	業員		"	1×10/ D	11
大 型 土	のう	容量 1 m³	袋	10	
土	砂		m^3	10	ほぐした土 量
バ ッ ク (クレーン機能	ホ ウ 付) 運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>) クローラ型 2.9t 吊 山積 <u>0.45</u> m³(平積 <u>0.35</u> m³)	Ħ	10/D	表 4. 2
諸雑	費		式	1	表 4. 3
計					
()().) [m/r]					

(注) [略]

(2) 大型土のう製作・設置 10 袋当り単価表 (ラフテレーンクレーン設置)

	名	· 1	称		規格	単位	数 量	摘 要
世		話		役		人	1×10/ D	表 4. 1、4. 2
特	殊	作	業	員		"	1×10/ D	IJ
普	通	作	業	員		"	1 ×10/ D	IJ
大	型	土	D	う	容量 1 m³	袋	10	

表 5.2 日当り施工量

工 種	単位	施 工 量
[新設]	[新設]	[新設]
製 作	袋	<u>62</u>
設 置	"	86 (80)
撤去	"	144 (134)
[新設]	[新設]	[新設]
[新設]	[新設]	[新設]

(注) 1. ラフテレーンクレーンを使用する場合は、() 書きを使用す

2. 袋材の処分費及び残土処分費が必要な場合は別途計上する。

<u>5</u>−3 諸雑費

諸雑費は、製作枠等の費用であり、<mark>製作の</mark>労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

5	3	諸雑費率	(

	> = HH-1H-2C-1
諸雑費率 (製作)	7
[新設]	[新設]

[新設]

<u>6</u>. 単価表

(1) 大型土のう製作・設置 10 袋当り単価表(バックホウ設置)

ハエエ	/ 2	~ 11			7十個名 (パングイン) (1)			
	名	i 1	陈		規格	単位	数 量	摘 要
世		話		役		人	1 ×10/ D	表 4. 1、4. 2
特	殊	作	業	員		"	1 ×10/ D	JJ
普	通	作	業	員		JJ	1 ×10/ D	JJ
大	型	土	0)	う	容量 1 m³	袋	10	
土				砂		m^3	10	ほぐした土 量
バ (ク	ッレー	ク ン機能	ホ E付)	ウ 運転	超低騒音型 排出ガス対策型(<u>第3次基準値</u>) クローラ型 2.9t 吊 山積 <u>0.8</u> m³(平積 <u>0.6</u> m³)	Ħ	10/D	表 4. 2
諸	<u> </u>	雑		費		式	1	表 4. 3
		計						
Em4a 7								

(注) [略]

(2) 大型土のう製作・設置 10 袋当り単価表 (ラフテレーンクレーン設置)

		名	<u>i</u> ;	称		規格	単位	数量	摘 要
	世		話		役		人	1 ×10/ D	表 4. 1、4. 2
	特	殊	作	業	員		"	1×10/ D	IJ
	普	通	作	業	員		"	1 ×10/ D	IJ
r	大	型	土	D	う	容量 1 m³	袋	10	

土 砂		m^3	10	ほぐした土 量
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付)運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>) クローラ型 2.9t 吊 山積 <u>0.45</u> m³(平積 <u>0.35</u> m³)	Ħ	10/D	表 4. 2
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	IJ	10/D	II.
諸 雑 費		式	1	表 4. 3
計				

(注) [略]

(3) 大型土のう製作 10 袋当り単価表

(3) 人空工の J 表 IF IV 表 ヨッ	平 脚			
名 称	規格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人	1 ×10/ D	表 4. 1、4. 2
特 殊 作 業 員		"	1 ×10/ D	JJ
普 通 作 業 員		"	1 ×10/ D	JJ
大型土のう	容量 1 m³	袋	10	
土砂		m³	10	ほぐした土 量
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付)運転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>) クローラ型 2.9t 吊 山積 <u>0.45</u> m³ (平積 <u>0.35</u> m³)	Ħ	10/D	表 <u>4. 2</u>
諸 雑 費		式	1	表 <u>4.3</u>
計				

(注) [略]

(4) 大型土のう設置 (再設置含む) 10 袋当り単価表

<u> </u>								
名 称	規格	単位	数 量	摘 要				
世 話 役		人	1×10/ D	表 4. 1、4. 2				
特 殊 作 業 員		"	1×10/ D	IJ				
普 通 作 業 員		"	1×10/ D	II				
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付) 運 転	超低騒音型 排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>) クローラ型 2.9t 吊 山積 0.8m³(平積 0.6m³)	В	10/D	表 <u>4. 2</u> <u>(注)2</u>				
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	IJ	10/D	<u>"</u>				
諸雑費		式	1	表 4. 3				
計								

注)1. [略]

2. 大型土のうを設置する機械は、図 3-2 によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。

(5) 大型土のう撤去 10 袋当り単価表

	名 称		規格	単位	数 量	摘 要
世	話	役		人	1×10/	表 4. 1、4. 2

土 砂		m^3	10	ほぐした土 量
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付)運転	超低騒音型 排出ガス対策型(<u>第3次基準値</u>) クローラ型 2.9t 吊 山積 <u>0.8</u> m³(平積 <u>0.6</u> m³)	Ħ	10/D	表 4. 2
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	11	10/D	IJ
諸 雑 費		式	1	表 4. 3
計				

(注) [略]

(3) 大型土のう製作 10 袋当り単価表

	名 称			規格	単位	数 量	摘要	
世		話		役		人	1 ×10/ D	表 5. 1、5. 2
特	殊	作	業	員		"	1×10/ D	II
普	通	作	業	員		"	1×10/ D	II
大	型	土	の	う	容量 1 m³	袋	10	
土				砂		m^3	10	ほぐした土 量
バ (ク	ッ レーン	ク機能	ホ 付)	ウ 運転	超低騒音型 排出ガス対策型(<u>第3次基準値</u>) クローラ型 2.9t 吊 山積 <u>0.8</u> m³(平積 <u>0.6</u> m³)	П	10/D	表 <u>5. 2</u>
諸		雑		費		式	1	表 <u>5. 3</u>
	•	計	•					

(注) [略]

(4) 大型土のう設置 10 袋当り単価表

_ ^	大空工のプ設直 10 表当り単価衣								
		名	-	称		規格	単位	数 量	摘 要
	世		話		役		人	1×10/ D	表 5. 1、5. 2
	特	殊	作	業	員		"	1×10/ D	JJ
	普	通	作	業	員		"	1×10/ D	"
	バ (ク	ツレー	ク ン機 転	ホ 能付)	ウ 運	超低騒音型 排出ガス対策型(<u>第3次基準値</u>) クローラ型 2.9t 吊 山積 0.8m³(平積 0.6m³)	B	10/D	表 <u>5. 2</u> 作業半径 6 <u>m</u> 以下の場合
	ラフラ	テレー	ンクレ	ノーン∫	賃料	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	IJ	10/D	表 5. 2 作業半径 6 <u>m</u> <u>を超え 20m</u> <u>以下の場合</u>
		[亲	f設]			[新設]	[新設]	[新設]	[新設]
			計						

(注) [略] [新設]

(5) 大型土のう撤去 10 袋当り単価表

٠,	<u> </u>	711111111111111111111111111111111111111	<u> </u>	十四五							
		名 称			規	格	単位	数	量	摘	要
	世	話	役				人	1 ×	10/	表 5. 1	5. 2

			D	
特殊作業員		"	1 ×10/ D	IJ
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付) 運 転	超低騒音型 排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>) クローラ型 2.9t 吊 山積 0.8m³(平積 0.6m³)	Ħ	10/D	表 <u>4. 2</u> <u>(注) 2</u>
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	11	10/D	<u>"</u>
諸 雑 費		式	1	表 4. 3
計				

(注) <u>1.</u> [略] <u>2. 大型土のうを設置する機械は、図 3-2 によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。</u>

(6) 大型土のう撤去(再利用)10袋当り単価表

<u>, o</u>	<u> </u>		17/10 衣コッキ曲女			
Г	<u>名</u>	称	<u>規 格</u>	単位	数量	摘要
	世話	5 役		<u>人</u>	1 ×10/ D	表 4. 1、4. 2
	特殊作	羊 業 員		<u>"</u>	1×10/ D	<u>""</u>
	バ ッ ク <u>(クレーン)</u> <u> </u>		<u>超低騒音型</u> 排出ガス対策型(2014 年規制) <u>クローラ型 2.9t 吊</u> <u>山積 0.8m³(平積 0.6m³)</u>	<u> </u>	<u>10/D</u>	<u>表 4. 2</u> <u>(注)2</u>
	ラフテレーン	カレーン賃料	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	<u>"</u>	<u>10/D</u>	<u> 11 </u>
	諸 執	費		<u>式</u>	<u>1</u>	表 4. 3
	<u> </u>	<u> </u>				

(注) 1. D:日当り施工量 2. 大型土のうを設置する機械は、図 3-2 によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。

_(7) 大型土のう移設(撤去・再設置)10 袋当り単価表

<u>名 </u>	規 格	単位	数量	<u>摘 要</u>
世 話 役		<u>人</u>	1 ×10/ D	表 4. 1、4. 2
特殊作業員		<u>"</u>	1×10/ D	<u>"</u>
普通作業員			1 × 10/ D	<u>""</u>
バ ッ ク ホ ウ <u>(クレーン機能付)運</u> <u>転</u>	超低騒音型 排出ガス対策型(2014 年規制) クローラ型 2.9t 吊 山積 0.8m³(平積 0.6m³)	<u> </u>	<u>10/D</u>	<u>表 4. 2</u> <u>(注)2</u>
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	<u>"</u>	<u>10/D</u>	<u>"</u>
諸 雑 費		式	1	表 4. 3
計				

(注) 1. D:日当り施工量 2. 大型土のうを設置する機械は、図 3-2 によりバックホウ又はラフテレーンクレーンのどちらかを選定する。

(8)機械運転単価表

機械名	規	格	適用単価表	指 定 事 項

			D	
特 殊 作 業 員		11	1 ×10/ D	IJ
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付) 運 転	超低騒音型 排出ガス対策型(<mark>第3次基準値</mark>) クローラ型 2.9t 吊 山積 0.8m³(平積 0.6m³)	Ħ	10/D	表 <u>5. 2</u> 作業半径 6 m 以下の場合
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	II	10/D	表 5. 2 作業半径 6 m を超え 20m 以下の場合
[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]
計				

[新設]

[新設]

[新設]

(6)機械運転単価表

機械名	規	格	適用単価表	指 定 事 項

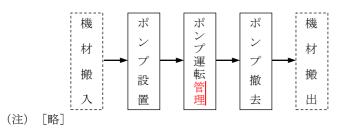
	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(2014 年規制) クローラ型 2.9t 吊 山積 0.45m³(平積 0.35m³)	機-28	【製作・設置】 (バックホウによる設置) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→63 機械賃料数量→1.28 【製作・設置】 (ラフテレーンクレーンによる設置) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→65 機械賃料数量→1.36 【製作】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→65 機械賃料数量→1.36
バ ッ ク ホ ウ (クレーン機能付)	超低騒音型 排出ガス対策型(<mark>2014 年規制</mark>) クローラ型 2.9t 吊 山積 0.8m³(平積 0.6m³)	機-28	【設置 <u>(再設置含む)</u> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>99</u> 機械賃料数量→ <u>1.23</u> 【撤去】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>101</u> 機械賃料数量→ <u>1.21</u> 【撤去(再利用)】 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 110 機械賃料数量→ 1.38 【移設(撤去・再設置)】 運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 110 機械賃料数量→ 1.52

③ 水替工(小口径)

1. [略]

2. 施工概要

2-1 施工フロー 施工フローは、次図を標準とする。



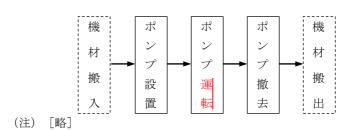
	[新設]	[新設]	【製作・設置】 (バックホウによる設置) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械賃料数量→1.39 【製作・設置】 (ラフテレーンクレーンによる設置) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→119 機械賃料数量→1.44 【製作】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→1.44
バ ツ ク ホ ウ (クレーン機能付)	超低騒音型 排出ガス対策型(<mark>第3次基準値</mark>) クローラ型 2.9t 吊 山積 0.8m³(平積 0.6m³)	機-28	【設置】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→94 機械賃料数量→1.36 【撤去】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→78 機械賃料数量→1.26 [新設]

③ 水替工(小口径)

1. [略]

2. 施工概要

2-1 施工フロー 施工フローは、次図を標準とする。



2-2 [略]

3. 施工歩掛

3-1 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種の選定(ポンプ運転)

衣 3. 1 (機種の選及 (ホンノ連転)								
			数	量				
機械名	規 格	単位	排水量 (m³/h)		摘要			
放 恢 石	AFL 11H		0 以上 <u>7</u> 未満	<u>7</u> 以上 30 未満	The A			
工事用水中	普通型(潜水ポンプ) 口径 50mm、全揚程 10m以下	台	1	_				
モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径 100mm、全揚程 10m以下	"	_	1				
双 新 双 電 拗	ガソリンエンジン駆動 定格容量2kVA	"	1	_	[削る。]			
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動 定格容量 <mark>15</mark> kVA	11	_	1	[削る。]			

(注) 1. ~3. [略]

4. 現場の条件により、工事用水中モータポンプの動力源が商用電源の場合は、別途考慮する。

5. [略]

3-2 運転工歩掛

3-2-1 [略]

3-2-2 労務歩掛

ポンプの排水現場1箇所当りの日当り運転<mark>管理</mark>歩掛は、次表とする。

表 3. 2 ポンプ運転歩掛 (人/1箇所・日)

	表 3.	2 ボンフ運転歩掛		(人/1箇所・)
排水方法	作業	時 排 水	常時	排水
動力源 名 称	[削る。]	発動発電機	[削る。]	発動発電機
[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
<u>世</u> 話 役		<u>0.04</u>		<u>0. 04</u>
普通作業員		<u>0.05</u>		<u>0. 05</u>

(注) 1. ~4. [略]

3-2-3 諸雑費

[略]

表 3. 3	諸雑費率	(%)

	₹ 0.0 明稚貞平							
動力源	排水方法							
製力駅 	作業時排水	常時排水						
[削る。]	[削る。]	[削る。]						
発 動 発 電 機	8	<u>5</u>						

3-3 設置・撤去歩掛

ポンプの設置・撤去に要する1箇所当りの歩掛は、次表を標準とする。

表 3. 4 設置・撤去歩掛(口径 50mm) (1箇所当り)

			X O. I KLE IN A D A (T	II 00111111/	(* 国/バコ /
	名 称		規格	単位	数 量
世	話	役	_	人	0. 23

2-2 [略]

3. 施工歩掛

3-1 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表 3. 1 機種の選定(ポンプ運転)

			数	量	摘要	
機械名	規 格	単位	排水量(m ³ /h)		
1 放 1 放 泊	79E TH		0以上 <u>6</u> 未満	<u>6</u> 以上 30 未満	The A	
工事用水中	普通型(潜水ポンプ) 口径 50mm、全揚程 10m以下	台	1	_		
モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径 100mm、全揚程 10m以下	IJ	-	1		
発動発電機	ガソリンエンジン駆動 定格容量2kVA	IJ	1	_	発動発電機を使用す る場合	
光ッ光电機	ディーゼルエンジン駆動 定格容量 <mark>5</mark> kVA	IJ	_	1	<u>"</u>	

(注) 1. ~3. [略]

4. 動力源を商用電源、発動発電機のいずれとするかは、設置期間の長短、受配電設備の要否等、設置予定個所の現場条件を総合的に勘案して定める。

5. [略]

3-2 運転工歩掛

3-2-1 [略]

3-2-2 労務歩掛

ポンプの排水現場1箇所当りの日当り運転歩掛は、次表とする。

表 3. 2 ポンプ運転歩掛 (人/1箇所・日)

排水方法	作業	寺 排 水	常時排水		
動力源 名 称	商用電源	発動発電機	商用電源	発動発電機	
特殊作業員	<u>0. 10</u>	<u>0.14</u>	<u>0. 13</u>	<u>0. 17</u>	
[新設]		[新設]		[新設]	
[新設]		[新設]		[新設]	

(注) 1. ~4. [略]

3-2-3 諸雑費

[略]

表 3	3	諸雑書室

(%)

X HAVEX 1							
動力源	排水方法						
製////////////////////////////////////	作業時排水	常時排水					
商用電源	<u>23</u>	<u>17</u>					
発動発電機	<u>10</u>	8					

3-3 設置・撤去歩掛

ポンプの設置・撤去に要する1箇所当りの歩掛は、次表を標準とする。

	表 3. 4	設置・撤去歩掛	(口径 50m	ım)	(1箇)	所当り)
名 称	規	格	単位	数	量	

普	通	作	業	員	_	"	0.43

表 3. 5 設置·撤去歩掛(口径 100mm)

(1箇所当り)

	名	Ź	称		規格	単位	数 量
世		話		役	_	人	<u>0.32</u>
普	通	作	業	員	_	"	<u>1. 04</u>
バ(ク	ツロー	クラ型	世) 道	ウ重転	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第 <u>2</u> 次基準値) 山積 0.8m³(平積 0.6m³)吊能力 2.9 t	Ħ	0.24

(注) 1. ~5. [略]

4. 単価表

(1) [略]

(2)ポンプ運転1日当り単価表

(2) ハンノ連転・ロヨッ	平			
名 称	規格	単位	数 量	摘 要
[削る。]		[削る。]		[削る。]
<u>世</u> 話 役		人		表 3. 2
普通作業員		人		<u>"</u>
[削る。]		[削る。]	[削る。]	[削る。]
発動発電機運転		Ħ	1	表 3. 1 [削る。]
諸 雑 費		式	1	表 3. 3
計				

(3) ポンプ設置・撤去1箇所当り単価表

名 称	規格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表 3. 4 又は表 3. 5
普 通 作 業 員		"		11
	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第 <u>2</u> 次基準値) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)吊能力 2.9 t	日		表 3. 5
計				

(4)機械運転単価表

世		話		役	_	人	<u>0. 3</u>
普	通	作	業	員		"	0. 5

表 3. 5 設置・撤去歩掛(口径 100mm) (1 箇所当り)

	名	称		規 格	単位	数 量
世		話	衫	_	人	<u>0. 5</u>
普	通	作	業	_	"	<u>1. 0</u>
バ (2	ツカロー		ホ ヴ) 運転	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)吊能力 2.9 t	Ħ	<u>0. 5</u>

(注) 1. ~5. [略]

4. 単価表

(1) [略]

(2)ポンプ運転1日当り単価表

(と)ハンンと私・ロコノー画名									
名 称	規	格	単位	数量	摘 要				
特殊作業員			人		表 4. 1				
[新設]			[新設]		[新設]				
[新設]			[新設]		[新設]				
工事用水中モータポンプ 運 転			<u> </u>	1	表3.1 <u>(発動発電機を使用する場合は計上しない)</u>				
発動発電機運転			日	1	表 3. 1 <u>(商用電源を使用する場合は計上しない)</u>				
諸 雑 費			式	1	表 4. 2				
計									

(3) ポンプ設置・撤去1箇所当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
世 話 役		人		表 4. 3 又は表 4. 4
普 通 作 業 員		"		II .
	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9 t	日		表 4. 4
計				

(4)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
-----	----	-------	---------

[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 定格容量 2 kVA ディーゼルエンジン駆動 定格容量 <u>15</u> kVA <u>排出ガス対策型(第3次基</u> <u>準値)</u>	機-16	(常時排水) 燃料消費量→2kVA→ <u>27.9</u> <u>15</u> kVA→ <u>41.3</u> 機械賃料数量→ <u>1.08</u> (作業時排水) 燃料消費量→2kVA→ <u>9.3</u> <u>15</u> kVA→ <u>13.8</u> 機械賃料数量→ <u>1.55</u>
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第 <u>2</u> 次基準値) 山積 0.8m³ (平積 0.6m³) 吊能力 2.9 t	機-28	運転労務数量→ <u>1.00</u> 燃料消費量→ <u>121</u> 機械賃料数量→ <u>1.09</u>

④ 締切排水工

1. [略]

2. 施工概要

2-1 [略]

2-2 排水方法の選定

[略]

2-2-1 作業時排水とは、作業前から排水し始めて作業終了後には排水を中止する方法をいう。なお、作業時排水には、 コンクリート打設前後の型枠組立・養生などのための一時的に昼夜排水するものも含む。 8時間を標準とする。

2-2-2 常時排水とは、昼夜連続的に排水する方法をいう。ポンプの稼働時間は24時間を標準とする。

3. 施工歩掛

3-1 機種の選定 [略]

表 3. 1 機種の選定 (ポンプ運転)

機械名	規格	単	数 量	
	/ 允 1 行	位	排水量 (m³/h)	要

工事用水中モータポンプ	普通型(潜水ポンプ) 口径 50mm、全揚程 10m以 下 口径 100mm、全揚程 10m以 下	機一32	(常時排水) 口径×台数 電力消費量→ 50×1→11 100×1→53 機械賃料数量→ - (機械賃料は諸雑費に含む) (作業時排水) 口径×台数 電力消費量→ 50×1→3.8 100×1→18 機械賃料数量→ - (機械賃料は諸雑費に含む)
発 動 発 電 機	ガソリンエンジン駆動 定格容量 2 kVA ディーゼルエンジン駆動 定格容量 <u>5</u> kVA	機一16	(常時排水) 燃料消費量→2kVA→ <u>29</u> <u>5</u> kVA→ <u>17</u> 機械賃料数量→ <u>1.1</u> (作業時排水) 燃料消費量→2kVA→ <u>9.6</u> <u>5</u> kVA→ <u>5.6</u> 機械賃料数量→ <u>1.1</u>
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (第1次基準値) 山積0.8m³ (平積0.6m³) 吊能力 2.9 t	機-28	運転労務数量→ <u>0.68</u> 燃料消費量→ <u>41</u> 機械賃料数量→ <u>1.00</u>

④ 締切排水工

1. [略]

2. 施工概要

2-1 [略]

2-2 排水方法の選定

「略

2-2-1 作業時排水とは、作業前 $(1\sim3$ 時間) から排水し始めて作業終了後には排水を中止する方法をいう。なお、作業時排水には、コンクリート打設前後の型枠組立・養生などのための一時的に昼夜排水するものも含む。

2-2-2 常時排水とは、昼夜連続的に排水する方法をいう。

3. 施工歩掛

3-1 機種の選定 [略]

表 3. 1 機種の選定(ポンプ運転)

松 抽 夕	担 枚	単	数 量	摘
機械名	規 格	位	排水量 (m³/h)	要

				[削る。]	<u>0</u> 以上 120 未満	120 以上450 未満	450 以上 <u>1,200</u> 未 満	1,200 以上 1,600 未満	1,600以 上 1,800未 満													
工事用水中	普通型(潜口径 150mm		台	[削る。]	_	1	_	1	_													
モータポン プ	普通型(潜口径 200mm		"	[削る。]	1	2	5	_	_													
全揚程 10m	普通型(潜口径 250mm				_	_	_	4	<u>5</u>													
<u>工事用水中</u> モータポン	普通型(潜口径 150mm		<u>"</u>		_	1	-	_	_													
プ 全揚程 15m	普通型 (潜水ポンプ) 口径 200mm		<u>"</u>		1	2	_	_														
		定格容量 <u>45</u> kVA	"	[削る。]	1	_	_	_	_													
		~ . B	~ . B	⊸ ,∨	 , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	~ . L	= ,	= ,	~`. L	~ . L	~ . H	= ,	= ,	[削る。]	[削 る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]			
発動発電機	ディーゼルエンジ	定格容量 <u>75</u> kVA	"	[削る。]	_	1	_	_	_													
全揚程 10m	ン 駆 動 <u>(超低騒</u> 音型)排	定格容量 <u>125</u> kVA	IJ	[削る。]	_	_	1	_	_													
	出ガス対 策型(第	<u>定格容量</u> 200kVA	<u>"</u>		_	_		1	_													
	3 次基準 値)	<u>定格容量</u> 250kVA			_	_	=	<u> </u>	1													
<u>発動発電機</u> 全揚程 15m	<u> -</u>	<u>定格容量</u> <u>60kVA</u>			1	_	=	<u>=</u>	_													
		<u>定格容量</u> 125kVA			_	1	_	_	_													

(注) 1. [略] [削る。]

2. 工事用水中モータポンプ及び発動発電機は、賃料とする。<u>なお、口径 250mm の水中モーターポンプ</u>について は損料とする。

<u>3</u>. [略]

 2.
 [略]

 5.
 [略]

 6.
 排水量、全揚程により機種の選定を行うものとする。

3-2 運転工歩掛

3-2-1 [略]

3-2-2 労務歩掛

[略]

表 3. 2 ポンプ運転歩掛 (人/1箇所・日)

[略]

(注) [削る。] [削る。]

<u>1</u>. [略] <u>2</u>. [略]

3-2-3 諸雑費 [略]

> 表 3. 3 諸雑費率 (%)

3-2-2 労務歩掛

[略]

3-2 運転工歩掛

3-2-1 [略]

表 3. 2 ポンプ運転歩掛 (人/1箇所・日)

(注) 1. 歩掛は、運転日当り運転時間が作業時排水8h、常時排水24hを標準としたものである。 2. 労務単価は、時間外手当等を考慮しない。

<u>3</u>. [略]

<u>4</u>. [略]

3-2-3 諸雑費 [略]

				0以上40未満	40以 上 120未 満	120 以 上 450 未 満	450 以 上 <u>1,300</u> 未満	[新設]	[新設]	
工事用水	普通型 (潜力 口径 150mm、	(ポンプ) 全揚程 15m以下	台	1	_	1	_	[新設]	[新設]	
中 モータポ	普通型(潜水口径 200mm、	<ポンプ) 全 <u>揚程 15m以下</u>	11	_	1	2	5	[新設]	[新設]	
ンプ	[]	新設]	[新設]		[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	
	[¥	新設]	[新設]		[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	
[新設]	[新設]		[新設]		[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	
		定格容量 25kVA	"	1	_	_	_	[新設]	[新設]	
		<u>定格容量</u> <u>35kVA</u>		_	1	_	_			
発動発電	ディーゼル	定格容量 <u>60</u> kVA	11	_	_	1	_	[新設]	[新設]	
機	エンジン駆 動排出ガス	定格容量 <u>100</u> kVA	IJ	_	_	_	1	[新設]	[新設]	
	対策型 (第 <u>2</u> 次 基 準	[新設]	[新設]		[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	
	値)	[新設]	[新設]		[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	
[新設]		[新設]	[新設]		[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	
[A)[BX]		[新設]	[新設]		[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	

(注) 1. [略]

2. 全揚程が 15m以下の場合、工事用水中モータポンプの規格は全揚程 10mを標準とする。

3. 工事用水中モータポンプ及び発動発電機は、賃料とする。

<u>4</u>. [略] <u>5</u>. [略]

<u>6</u>. [略]

[新設]

[略]

表 3. 3 諸雑費率

(%)

	排水方法	作業時排水	常時排水
ſ	諸雑費率	<u>5</u>	<u>3</u>

3-3 設置・撤去歩掛 [略]

表 3. 4 設置・撤去歩掛

(1箇所)

	3	名 称	;		規格	単 位	数量
世		話		役		人	0.5
特	殊	作	業	員		"	0. 1
普	通	作	業	員		IJ	2.0
バック	カホウ	(クロー	-ラ型)	運転	標準型・ <mark>超低騒音型・</mark> クレーン機能付・排 出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>) 山積 0.8m³(平積 0.6m³)吊能力 2.9t	日	0.5

(注) 1.~5. [略]

6. 釜場掘削が必要な場合は「15 仮設工⑤釜場設置撤去工」により別途計上する。

4. 単価表

(1)締切排水工内訳表 [略]

(2)ポンプ運転1日当り単価表

名 称	規格	単 位	数 量	摘 要
特殊作業員		人		表 3. 2
工事用水中モータポ ン プ 運 転	普通型 (潜水ポンプ)	日	1	表 3. 1 機械賃料 機械損料
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動 <u>(超低騒音型)</u> ・排出ガス 対策型(第 <u>3</u> 次基準値)	IJ	1	表 3. 1 機械賃料
諸 雑 費		式	1	表 3. 3
計				

(3) ポンプ設置・撤去1箇所当り単価表

名 称	規格	単 位	数 量	摘要
世 話 役		人		表 3. 4
特 殊 作 業 員		"		"
普 通 作 業 員		"		II .
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)運転	標準型・ <mark>超低騒音型・</mark> クレーン機能付・排出ガス対策型(<u>2014 年</u> 規制) 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³) 吊能力 2.9 t	Ħ		表 3. 4 機械賃料
計				

(4)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項

排水方法	作業時排水	常時排水
諸雑費率	3	<u>1</u>

3-3 設置・撤去歩掛

[略]

表 3. 4 設置・撤去歩掛

(1箇所)

	:	名 称	;		規格	単 位	数量
世		話		役		人	0. 5
特	殊	作	業	員		"	0. 1
普	通	作	業	員		"	2. 0
バッ	クホウ	(クロー	-ラ型)	運転	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (<u>第2次基準値</u>) 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t	日	0. 5

(注) 1.~5. [略]

[新設]

4. 単価表

(1)締切排水工内訳表 [略]

(2)ポンプ運転1日当り単価表

名 称	規格	単 位	数 量	摘 要
特 殊 作 業 員		人		表 3. 2
工事用水中モータポ ン プ 運 転	普通型 (潜水ポンプ)	日	1	表 3. 1 機械賃料 [新設]
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆 動・排出ガス対策型 (第 <u>2</u> 次基準値)	IJ	1	表 3. 1 機械賃料
諸雑費		式	1	表 3. 3
計				

(3) ポンプ設置・撤去1箇所当り単価表

名 称	規格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表 3. 4
特 殊 作 業 員		"		IJ
普 通 作 業 員		"		IJ
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)運転	標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型 (<u>第2次基準値</u>) 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力2.9t	П		表 3. 4 機械賃料
計				

(4)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項

	普通型(潜水ポンプ) 口径 150mm, 全揚程 10m 及び 口径 200mm, 全揚程 10m 又は 口径 150mm, 全揚程 15m 及び 口径 200mm, 全揚程 15m 及び	機一32	機械賃料数量→(常時排水) 1.1 (作業時排水)1.2
工事用水中モータポンプ	普通型 (潜水ポンプ) 口径 250mm,全揚程 10m	機一25	機械損料数量→(常時排水) 1.1 (作業時排水) 1.2
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 (超 低騒音型)・排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値) 定格容量 <u>45</u> kVA <u>[削る。]</u> 定格容量 60kVA 定格容量 <u>75</u> kVA 定格容量 125kVA 定格容量 200kVA 定格容量 250KVA	機一16	(常時排水) 燃料消費量 → 45kVA→137
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・ <mark>超低騒音型・</mark> クレーン機能付・排出ガス対策型 (<u>2014 年規制</u>) 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量→ <u>45</u> 機械賃料数量→ <u>1.47</u>

⑤~⑦ [略]

- ⑧ たて込み簡易土留
- 1. ~3. [略]
- 4. 施工歩掛
- 4-1 掘削・たて込み作業

	普通型 (潜水ポンプ)	機-32	機械賃料数量→(常時排水) 1.1 (作業時排水)1.2
工事用水中モータポンプ	[新設]	[新設]	[新設]
発動 発電機	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型 (第2 次基準値) 定格容量 <u>25</u> kVA 定格容量 <u>35kVA</u> 定格容量 <u>100</u> kVA 定格容量 <u>100</u> kVA [新設] [新設]	機-16	(常時排水) → 25kVA→67 35kVA→98 然料消費量 60kVA→168 100kVA→264 [新設] [新設] [新設] [新設] [新設] [新設] [大田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(<u>第2次基</u> <u>準値</u>) 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t	機-28	運転労務数量 →1.00 燃料消費量→ <u>65</u> 機械賃料数量→ <u>1.16</u>

⑤~⑦ [略]

- ⑧ たて込み簡易土留
- 1. ~3. [略]
- 4. 施工歩掛
- 4-1 掘削・たて込み作業

[略]

表 4. 1 たて込み簡易土留掘削・たて込み歩掛

(1m当り)

- (注) 1. · 2. [略]
 - 3. 土留材たて込み時間=6.8 分/m²
 - 4. バックホウ(クレーン機能付)クローラ型山積 $0.28 \mathrm{m}^3$ (平積 $0.20 \mathrm{m}^3$) $1.7 \mathrm{t}$ 吊の作業能力 = 0.18 時間 $/\mathrm{m}^3$
 - 5. バックホウ(クレーン機能付)クローラ型山積 $0.45 \mathrm{m}^3$ (平積 $0.35 \mathrm{m}^3$) $2.9 \mathrm{t}$ 吊の作業能力 = 0.09 時間 $/\mathrm{m}^3$
 - 6. バックホウ(クレーン機能付)クローラ型山積 $0.80 \,\mathrm{m}^3$ (平積 $0.60 \,\mathrm{m}^3$) $2.9 \,\mathrm{t}$ 吊の作業能力 = $0.06 \,\mathrm{時間}/\mathrm{m}^3$
 - 7. [略]

4-2 引抜作業

[略]

表 4. 2 たて込み簡易土留引抜歩掛

(1m当り)

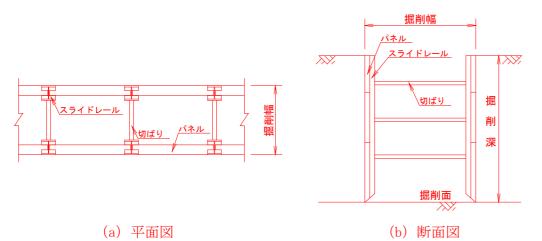
「略]

- (注) 1.・2. [略]
 - 3. 土留材引抜時間=<u>8.0分/m²</u>
 - 4. [略]

4-3·4-4 [略]

5. 参考図

スライドレール方式



[略]

表 4. 1 たて込み簡易土留掘削・たて込み歩掛 (1 m 当 り)

- (注) 1. 2. 「略]
 - 3. 土留材たて込み時間=4.0分/m²
 - 4. バックホウ(クレーン機能付)クローラ型山積 $0.28 \mathrm{m}^3$ (平積 $0.20 \mathrm{m}^3$) $1.7 \mathrm{t}$ 吊の作業能力 = 0.14 時間 $/\mathrm{m}^3$
 - 5. バックホウ(クレーン機能付)クローラ型山積 $0.45 \mathrm{m}^3$ (平積 $0.35 \mathrm{m}^3$) $2.9 \mathrm{t}$ 吊の作業能力 = 0.07 時間 $/\mathrm{m}^3$
 - 6. バックホウ(クレーン機能付)クローラ型山積 $0.80 \,\mathrm{m}^3$ (平積 $0.60 \,\mathrm{m}^3$) $2.9 \,\mathrm{t}$ 吊の作業能力 =0.04 時間 $/\mathrm{m}^3$
 - 7. [略]

4-2 引抜作業

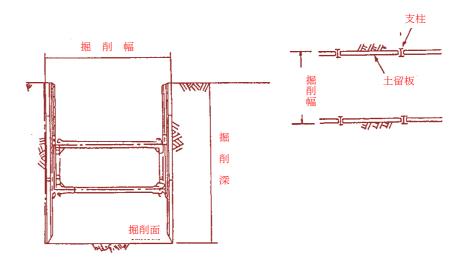
[略]

表 4. 2 たて込み簡易土留引抜歩掛 (1 m 当 り) [略]

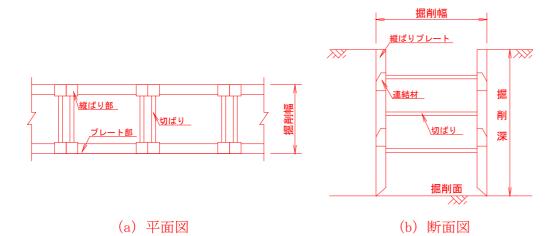
- (注) 1.・2. [略]
 - 3. 土留材引抜時間=<u>5.2分/m²</u>
 - 4. [略]

4-3 · 4-4 [略]

5. 参考図



縦ばりプレート方式



- 6. [略]
- 9 鋼製足場
- 1. 2. [略]
- 3. 施工歩掛 [略]

表 3. 1 足場材設置・撤去歩掛 [略]

- (注) 1. 足場材の歩掛には、部材の一時的な取外し・復旧のための作業等を含むものとする。
 - 2. [略
 - 3. 諸雑費は、足場工仮設材(賃料)等の費用であり、労務費及び機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。なお、諸雑費には、供用中の以下に示す足場材賃料を含むものとする。
 - 「脓"
 - [略]
 - [略]

<u>4</u>. [略]

- 4. 5. [略]
- ⑩~⑫ [略]
- ③ 仮橋・仮桟橋工
- 1. 2. [略]
- 3. 機種の選定 [略]

表3.1 機種の選定

XVIII METALE						
区 分	機械名	規格				
直接基礎形式	排出ガス対策型(2014 年規制)ラフテレーンクレーン油圧伸縮ジブ型	○○ t				

- 6. [略]
- 9 鋼製足場
- 1. 2. [略]
- 3. 施工歩掛 [略]

表 3. 1 足場材設置・撤去歩掛 [略]

(注) [新設]

- 1 「略
- 2. 諸雑費は、足場工仮設材(賃料)等の費用であり、労務費及び機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。 なお、諸雑費には、供用中の足場材賃料を含み、現場内での段取り替えに伴うすべての費用を含むものとする。
 - [略]
 - [略]
 - [略]
- <u>3</u>. [略]
- 4. 5. [略]
- ⑩~⑫ [略]
- ③ 仮橋・仮桟橋工
- 1. 2. [略]
- 3. 機種の選定 [略]

表3 1 機種の選定

衣3.1 傲性の選足						
区分	機械名	規格				
直接基礎形式	排出ガス対策型(2014 年規制) ラフテレーンクレーン 油 圧 伸 縮 ジ ブ 型	○○ t				

1	排出ガス対策型(2014 年規制)
杭基礎形式	ク ロ ー ラ ク レ ー ン 油 E 駆 動 式 ウインチ・ラチスジブ型

(注) 1. ~3. [略]

4. ラフテレーンクレーンで35t 吊りを選定した場合は、排出ガス対策型(2011 年規制)とする。

4. ~5. [略]

(14) [略]

(15) バイブロハンマエ(鋼矢板・H形鋼)

1. ~ 4. [略]

5. 日当り施工枚数

5-1·5-2 「略]

5-3 諸 雑 費

諸雑費は、共下がり防止及び導材(ガイド)用の溶接棒及び電気溶接機損料、導材(ガイド)賃料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費(配管バンド及び溶接棒、電気溶接機損料、工事用水中モーターポンプ損料、水槽及び配管損料)、陸上部での付属機材等の現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を計上する。

表 5. 8 諸雑費率 「略]

16 [略]

① 油圧圧入引抜工

1. 適用範囲

本歩掛は、油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入(Nmax≦50)及び、引抜きの施工に適用する。 なお、継矢板の施工法は、先行する鋼矢板を圧入後、それに接続する鋼矢板を鉛直に建込んだ状態で継手部を溶接するものである。

油圧式杭圧入引抜機の反力チャックのつかみ代は、500 mmを標準とする。

Nmax≦50での施工における布掘深さ(又は、地表面よりの余裕高さ)は反力チャックのつかみ代と同じ幅を標準とする。

また、鋼矢板形式毎の圧入長(引抜き長)の適用範囲は、表 1.1 のとおりとし、これにより難い場合は、別途 考慮する。

表 1. 1 圧入長(引抜き長) (n									(m)	
鋼矢板の型式		Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	VIL 型	Ⅱw型	Ⅲw型	Ⅳw型	
圧入長	圧	<u>N</u> max≦25	10 以下	15 以下	20 以下	25 以下	25 以下	12 以下	25 以下	25 以下
上八天	入	<u>N</u> max≦50	12 以下	18 以下	20 以下	25 以下	25 以下	14 以下	25 以下	25 以下
引抜き			12 以下	18 以下	20 以下	25 以下	25 以下		_	

(注) 1. [略]

2. 圧入(Nmax≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、Nmax≦25 においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。

3. [略]

2. 施工概要

	排出ガス対策型 (2014 年規制) クローラクレーン	
杭基礎形式		
加基施加利	油 圧 駆 動 式	
	ウインチ・ラチスジブ型	

(注) 1. ~3. [略]

4. ラフテレーンクレーンで <u>45t 吊りを選定した場合は、排出対策型(第1次基準値)とし、</u> 35t 吊りを選定した場合は、排出ガス対策型(2011 年規制)とする。

4. ~ 5. [略]

(14) [略]

(15) バイブロハンマエ(鋼矢板・H形鋼)

1. ~ 4. [略]

5. 日当り施工枚数

 $5-1 \cdot 5-2$ 「略]

5-3 諸 雑 費

諸雑費は、共下がり防止及び導材(ガイド)用の溶接棒及び電気溶接機損料、導材(ガイド)賃料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費(配管バンド及び溶接棒、電気溶接機損料、水中ポンプ損料、水槽及び配管損料)、現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を計上する。

表 5. 8 諸雑費率 [略]

6 [略]

⑪ 油圧圧入引抜工

1. 適用範囲

本歩掛は、油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入(Nmax≦50)及び、引抜きの施工に適用する。

± 1 1 [] E / 2] H + E |

なお、継矢板の施工法は、先行する鋼矢板を圧入後、それに接続する鋼矢板を鉛直に建込んだ状態で継手部を溶接するものである。

油圧式杭圧入引抜機の反力チャックのつかみ代は、500 mmを標準とする。

 $N_{\max} \leq 50$ での施工における布掘深さ(又は、地表面よりの余裕高さ)は反力チャックのつかみ代と同じ幅を標準とする。

また、鋼矢板形式毎の圧入長(引抜き長)の適用範囲は、表 1.1 のとおりとし、これにより難い場合は、別途考慮する。

表 1. 1 上入長(引扱さ長) (m)_										
鋼矢板の型式			Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	VIL 型	Ⅱw型	Ⅲw型	Ⅳw型
圧入長	圧	\underline{N} max ≤ 25	10 以下	15 以下	20 以下	25 以下	25 以下	12 以下	25 以下	25 以下
圧八天	入	\underline{N} max ≤ 50	12 以下	18 以下	20 以下	25 以下	25 以下	14 以下	25 以下	25 以下
引抜き			12 以下	18 以下	20 以下	25 以下	25 以下		_	

(---)

(注) 1. [略]

- 2. 圧入(<u>N</u>max≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、<u>N</u>max≦25においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。
- 3. [略]

2. 施工概要

標準施工フローは、次図を標準とする。

標準施工フローは、次図を標準とする。

図 2. 1 圧入 (Nmax≦25)

[略]

図 2. 2 圧入 (Nmax≦50)

[略]

図 2. 3 「略」

3. 機種の選定

3-1 油圧式杭圧入引抜機

表 3 1 機種選定

衣 3. 1 微性选足							
	作業の種類	圧	引抜き				
	最大N値	<u>N</u> max≦25	<u>N</u> max≤25 <u>N</u> max≤50				
鋼矢	Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	年規制)					
板形式	VL、VIL型	次基準値)					
式	Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	広幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN		_			

(注) 圧入(Nmax≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、Nmax≦25 においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。

3-2 付属機械

[略]

表 3. 2 付属機械の機種選定

	衣 3. 2	刊禺悈愀の悈悝选疋	
作業の種類 機 種	圧入(<u>N</u> max≦25) 引 抜 き	圧入(<u>N</u> max≦50)	備考
ラフテレーンクレーン		(第3次基準値) 25t吊 (注)2	陸上からの施工時のみ
杭打ち用ウォータージェット	_	エンジン式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量3250/min	
クレーン付台船	クローラクレー 台船30	ン35~40t吊 0t積 (注) 3	* [& ` o # T I # o 7
引船	鋼製 D 100PS型	4.9GT (注) 3	水上からの施工時のみ

- (注) 1. 圧入 (<u>N</u>max ≤ 50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、<u>N</u>max ≤ 25 においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。
 - 2. [略]
 - 3. 水上施工の場合の注意事項

①・② [略]

- ③ クレーン付台船には、圧入(<u>N</u>max≦25)時は油圧式杭圧入引抜機、同油圧ユニット、溶接機及び鋼矢板を搭載するものとし、鋼矢板の搭載質量は、230 t (圧入(<u>N</u>max≦50)時は杭打ち用ウォータージェット、水槽も搭載し、鋼矢板の搭載質量は、210 t)以下とする。
- 4.・5. [略]

4. 日当り編成人員

4-1 油圧圧入引抜施工の日当り編成人員は、次表を標準とする。

図 2. 1 圧入 (N max≦25)

[略]

図 2. 2 圧入 (Nmax≦50)

[略]

図 2. 3 「略」

3. 機種の選定

3-1 油圧式杭圧入引抜機 [略]

表 3 1 機種選定

		久 J. I 饭性	运 足	
	作業の種類	圧	引抜き	
	最大N値	<u>N</u> max≦25	<u>N</u> max≦50	_
鋼矢	Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型(2014 ⁴ 圧入力 800kN 引抜力 900kN	年規制)	
板形式	VL、VIL型	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第3)	欠基準値)	
式	II w、III w、IV w型	広幅鋼矢板用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,100kN		_

(注) 圧入(Nmax≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、Nmax≦25 においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。

3-2 付属機械

[略]

表 3. 2 付属機械の機種選定

作業の種類 機 種	圧入(<u>N</u> max≦25) 引 抜 き	圧入(<u>N</u> max≦50)	備考
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型	陸上からの施工時のみ	
杭打ち用ウォータージェット	-	エンジン式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量3250/min	
クレーン付台船	クローラクレー 台船30	ン35~40t吊 0t積 (注) 3	せしかとの# 工味の7
引船	鋼製 D 100PS型	4.9GT (注) 3	水上からの施工時のみ

- (注) 1. 圧入(Nmax≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、Nmax≦25 においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。
 - 2. [略]
 - 3. 水上施工の場合の注意事項

①・② [略]

- ③ クレーン付台船には、圧入(<u>N</u>max≦25)時は油圧式杭圧入引抜機、同油圧ユニット、溶接機及び鋼矢板を搭載するものとし、鋼矢板の搭載質量は、230 t (圧入(<u>N</u>max≦50)時は杭打ち用ウォータージェット、水槽も搭載し、鋼矢板の搭載質量は、210 t)以下とする。
- 4. 5. [略]

4. 日当り編成人員

4-1 油圧圧入引抜施工の日当り編成人員は、次表を標準とする。

± 1	- 1	日当り編成人	므

当	り編成人員				
	特殊作業員	上	7 K	Т	淡接工

作業の種類	世 話 役	特殊作業員	とびエ	溶接工(注)2
圧入(<u>N</u> max≦25)	1	1	2	2
压入 (Nmax≦50)	1	1	2	2
引抜き	1	1	2	_

(注) 1. 圧入 (<u>N</u>max≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

2. [略]

4-2 水上施工の1船団に対する船舶作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 2 船舶作業の日当り編成人員

「略】

編**以**人貝

(注) 1.~3. [略]

4. 上表は、圧入又は引抜き作業の配置人員であり、搬入、搬出等の回航<u>・えい航</u>は土地改良事業等請負工事共通仮設費算定基準の運搬費として計上する。

5. 日当り施工枚数

5-1 圧入、引抜き作業(継施工なし)

鋼矢板の圧入及び引抜き作業における1日当り施工枚数 (N) は、表 5. 1~表 5. 5 による。 5-1-1 圧入 (Nmax \leq 25)

表 5. 1 日当り施工枚数(N)

(枚/日)

(人)

(人)

			- · » - · · · ·	• ()			() () ()
压入長 鋼矢板型式	6m以下	9 m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	<u>34</u>	<u>27</u>	<u>21</u>	18	15	<u>12</u>	_
V L、VIL 型	<u>30</u>	<u>23</u>	<u>18</u>	<u>15</u>	13	11	<u>9. 4</u>
Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	<u>30</u>	<u>23</u>	<u>18</u>	15	<u>12</u>	<u>10</u>	<u>9. 2</u>

(注) 「略]

5-1-2 圧入 (Nmax ≤ 50)

表 5.2 日当り施工枚数(N)

(枚/目)

		Z	- / NO - IX	~ \			() ()
E入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	2 <u>3</u> (<u>26</u>)	19 (<u>21</u>)	1 <u>5</u> (<u>17</u>)	13 (<u>14</u>)	11 (<u>12</u>)	9.0 (<u>10</u>)	— (—)
VL、VIL型	(<u>22</u> (<u>24</u>)	17 (20)	14 (16)	12 (<u>13</u>)	9.7 (<u>11</u>)	8. 1 (<u>9. 6</u>)	7.3 (<u>8.6</u>)
Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	2 <u>2</u> (<u>24</u>)	17 (19)	14 (16)	11 (13)	9. <u>5</u> (11)	$\frac{8.0}{(9.4)}$	<u>7. 2</u> (8. 5)

(注) 1. 圧入 (Nmax≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

2. ~ 4. [略]

5. 上段:25<Nmax≦50

下段()書き: <u>N</u>max≦25 で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する 必要が生じた場合。

6. [略]

5-1-3 引抜き

表 5.3 日当り施工枚数(N)

(枚/日)

引抜き長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、VL、VIL型	<u>56</u>	<u>47</u>	<u>39</u>	<u>33</u>	<u>29</u>	25	<u>22</u>

(注) [略]

X ::											
作業の種類	世話役	特殊作業員	とびエ	溶接工(注)2							
圧入 (<u>N</u> max≦25)	1	1	2	2							
圧入 (<u>N</u> max≦50)	1	1	2	2							
引 抜き	1	1	2	_							

(注) 1. 圧入(Nmax≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。2. 「略]

4-2 水上施工の1船団に対する船舶作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 2 船舶作業の日当り編成人員

[m/z]

4. 上表は、圧入又は引抜き作業の配置人員であり、搬入、搬出等の回航は土地改良事業等請負工事共通仮設費算定基準の運搬費として計上する。

5. 日当り施工枚数

5-1 圧入、引抜き作業(継施工なし)

(注) 1.~3. [略]

鋼矢板の圧入及び引抜き作業における1日当り施工枚数(N)は、表5.1~表5.5による。

5-1-1 圧入 (N max ≤ 25)

表 5 1 日当り施工枚数 (NI)

(枚 / 日)

(人)

(人)

	(1)	(/ 11)					
E入長 鋼矢板型式	6m以下	9 m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	<u>35</u>	<u>28</u>	<u>22</u>	18	15	<u>13</u>	_
V L、VIL型	<u>31</u>	<u>24</u>	<u>19</u>	<u>16</u>	13	11	<u>9. 7</u>
Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	<u>31</u>	<u>24</u>	<u>19</u>	15	<u>13</u>	<u>11</u>	<u>9. 5</u>

(注) 「略]

5-1-2 圧入 (<u>N</u>max≦50)

表 5 2 日当り施工枚数 (N)

(枚/日)

	(1	X/ H/					
压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	2 <u>4</u> (<u>27</u>)	19 (<u>22</u>)	16 (18)	13 (<u>15</u>)	11 (13)	9.3 (<u>11</u>)	— (—)
V L、VIL型	2 <u>3</u> (<u>25</u>)	18 (20)	14 (16)	12 (<u>14</u>)	10 (<u>12</u>)	$\frac{8.4}{(9.9)}$	7. 5 (<u>8. 9</u>)
IIw、IIIw、IVw型	2 <u>3</u> (<u>25</u>)	18 (<u>20</u>)	14 (16)	12 (14)	9.8 (11)	$\frac{8.3}{(9.7)}$	<u>7. 4</u> (<u>8. 7</u>)

(注) 1. 圧入 (Nmax≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

2. ~ 4. [略]

5. 上段:25<<u>N</u>max≦50

下段 () 書き: $N_{\text{max}} \le 25$ で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

6. [略]

5-1-3 引抜き

表 5.3 日当り施工枚数(N)

(枚/目)

		DC 0. 0		· 1 > > \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			
引抜き長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、VL、VIL型	<u>58</u>	<u>48</u>	<u>40</u>	<u>34</u>	<u>30</u>	25	<u>23</u>

(注) 「略]

5-2 圧入(継施工あり) [略]

5-2-1 圧入継施工 (Nmax≦25)

表 5. 4 日当り継施工枚数(N) (枚/目)

		7 · · · ·	コ / 作心工	,,,,,			(1)
压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ型	<u>16</u>	15	13	_	-	-	_
Ⅲ型	14	<u>12</u>	11	10	_	_	_
IV型	<u>12</u>	<u>11</u>	10	<u>9. 2</u>	<u>8. 4</u>	<u>7. 4</u>	_
VL型	<u>7. 5</u>	<u>7. 0</u>	<u>6. 4</u>	<u>6. 0</u>	5. 7	5. 2	<u>4.8</u>
VIL 型	<u>6. 3</u>	<u>5. 9</u>	<u>5. 5</u>	<u>5. 2</u>	5. 0	4.6	<u>4. 3</u>
Ⅱw型	<u>14</u>	13	11	_	_	_	_
Шw 型	12	<u>10</u>	9.2	<u>8. 4</u>	<u>7. 4</u>	<u>6. 6</u>	6. 2
IVw型	<u>8. 6</u>	<u>7. 9</u>	<u>7. 2</u>	<u>6. 7</u>	<u>6. 0</u>	<u>5. 5</u>	<u>5. 2</u>

(注) [略]

(粒/目)

5 - 2 -	5 - 2 - 2 圧入継施工(<u>N</u> max≦50) 表 5. 5 日当り継施工枚数(N) (枚/日								
鋼	E 入長 矢板型式	6m以下	表 5. 5 日 9m以下	当り継施工権 12m以下		19m以下	23m以下	(枚/E	
	Ⅱ型	13 (14)	12 (13)	10 (11)	_	_	_	_	
	Ⅲ型	12 (<u>12</u>)	10 (11)	9. 1 (<u>9. 8</u>)	8.3 (<u>8.7</u>)	7. 4 (<u>7. 9</u>)	_	_	
	IV型	10 (11)	9. <u>5</u> (10)	8. 4 (<u>9. 0</u>)	<u>7.7</u> (<u>8.1</u>)	$\frac{7.0}{(7.4)}$	6. 1 (6. 6)	_	
	VL型	6.9 (7.1)	6.3 (6.7)	5. 8 (6. 2)	5. 5 (<u>5. 7</u>)	<u>4. 9</u> (<u>5. 2</u>)	<u>4. 5</u> (<u>4. 9</u>)	<u>4. 2</u> (<u>4. 6</u>)	
	VIL 型	5. 9 (<u>6. 0</u>)	5.4 (5.7)	5. 1 (5. 3)	4. 8 (<u>5. 0</u>)	4. 4 (<u>4. 6</u>)	4. 0 (4. 4)	3.8 (<u>4.1</u>)	
	Ⅱw型	12 (13)	11 (<u>11</u>)	9.3 (10)	$(\frac{7.9}{8.9})$	_	_	_	
	Шw 型	10 (11)	9.0 (<u>9.5</u>)	8. 1 (<u>8. 7</u>)	$\frac{7.0}{(7.7)}$	6.3 (<u>7.0</u>)	5.6 (6.3)	5. 2 (<u>5. 9</u>)	
	Ⅳw型	<u>7.8</u> (8.0)	$\frac{7.0}{(7.4)}$	6. 5 (6. 9)	$\frac{5.7}{(6.2)}$	<u>5. 3</u> (<u>5. 7</u>)	<u>4.8</u> (<u>5.3</u>)	<u>4. 5</u> (<u>5. 0</u>)	

- (注) 1. 圧入長 (Nmax≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。
 - 2. ~ 4. [略]
 - 5. 上段:25<Nmax≦50

下段 () 書き: Nmax≦25で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する 必要が生じた場合。

6. [略]

5-2-3 鋼矢板1枚当り継施工箇所数による補正

表 5. 6 補正係数 (F) (鋼矢板 1 枚当り 2 箇所以上継施工を行う場合)

鋼矢板1枚当り継施工箇所数 (X		3 箇所	4 箇所	5 箇所
補正係数 (F)	<u>0.65</u>	<u>0.49</u>	<u>0.39</u>	<u>0.32</u>

5-3 [略]

5-2 圧入(継施工あり) [略]

5-2-1 圧入継施工 (Nmax≦25)

, ,	_ /								
表 5. 4 日当り継施工枚数 (N) (枚/日)									
E入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下		
Ⅱ型	<u>17</u>	15	13	_	_	_	_		
Ⅲ型	14	<u>13</u>	11	10	_	_	_		
IV型	<u>13</u>	<u>12</u>	10	<u>9. 5</u>	<u>8. 6</u>	<u>7. 9</u>	_		
V L 型	<u>7. 6</u>	<u>7. 1</u>	<u>6. 6</u>	<u>6. 2</u>	5. 7	5. 2	<u>5. 0</u>		
THE THE			- 0	- 0	- 0			I	

VL型	1.6	<u>1.1</u>	<u>6. 6</u>	<u>6. 2</u>	5. 7	5. 2	<u>5. 0</u>
VIL 型	<u>6. 4</u>	<u>6. 0</u>	<u>5. 6</u>	<u>5.3</u>	5.0	4.6	<u>4. 4</u>
Ⅱw型	<u>15</u>	13	11	_	_	_	_
Ⅲw型	12	<u>11</u>	<u>9. 7</u>	<u>8.6</u>	<u>7.9</u>	<u>7. 1</u>	6. 2
Ⅳw型	9.2	<u>8.4</u>	<u>7. 7</u>	<u>7. 0</u>	<u>6.5</u>	<u>6. 0</u>	<u>5. 3</u>

(注) [略]

5-2-2 圧入継施工 (Nmax≤50)

₹ 5. 5	日当り継施工枚数	(N)
--------	----------	-----

(枚/目)

		致 0. 0		6.4.7.3.4.1.1	,		<u> </u>
压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ型	1 <u>4</u> (<u>15</u>)	12 (13)	<u>11</u> (<u>12</u>)	_	_		_
Ⅲ型	12 (<u>13</u>)	11 (11)	9.6 (<u>10</u>)	$\frac{8.4}{(9.2)}$	$\frac{7.5}{(8.4)}$	_	_
IV型	11 (11)	9.7 (10)	$\frac{8.9}{(9.5)}$	(<u>8. 6</u>)	$\frac{7.1}{(7.9)}$	$\frac{6.2}{(7.1)}$	_
VL型	7.0 (7.1)	6. 4 (6. 7)	5. 8 (6. 2)	5. 5 (<u>5. 8</u>)	$\frac{5.0}{(5.5)}$	$\frac{4.4}{(5.0)}$	$\frac{4.4}{(4.7)}$
VIL 型	5. 9 (<u>6. 1</u>)	5.5 (5.7)	5. 1 (5. 3)	4. 8 (<u>5. 1</u>)	4. 4 (<u>4. 8</u>)	4. 0 (4. 4)	$\frac{4.0}{(4.2)}$
Ⅱw型	13 (13)	11 (<u>12</u>)	9. <u>4</u> (10)	(8.5) (9.4)	_	_	_
Шw 型	11 (11)	9.5 (<u>10</u>)	$\frac{8.2}{(8.9)}$	$\frac{7.5}{(8.2)}$	$\frac{6.7}{(7.1)}$	$\frac{5.7}{(6.7)}$	5. 2 (<u>6. 2</u>)
IVw 型	8.3 (<u>8.6</u>)	$\frac{7.5}{(7.9)}$	$\frac{6.7}{(7.2)}$	$\frac{6.2}{(6.7)}$	<u>5.7</u> (<u>6.0</u>)	<u>5. 0</u> (<u>5. 7</u>)	4. 6 (<u>5. 3</u>)

- (注) 1. 圧入長(Nmax \leq 50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。
 - 2. ~ 4. [略]
 - 5. 上段:25<<u>N</u>max≦50

下段 () 書き: Nmax≤25で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が 生じた場合。

6. [略]

5-2-3 鋼矢板1枚当り継施工箇所数による補正

表 5. 6 補正係数 (F) (鋼矢板 1 枚当り 2 箇所以上継施工を行う場合)

鋼矢板1枚当り継施工箇所数(X)	2 箇所	3 箇所	4 箇所	5 箇所
補正係数 (F)	<u>0. 66</u>	<u>0.50</u>	<u>0.40</u>	<u>0.34</u>

5-3 [略]

5-4 油圧式杭圧入引抜機の据付・解体歩掛 [略]

表 5	. 7	据付		解体	: 歩挂
-----	-----	----	--	----	------

	衣 5. / 据刊 • 胜径少揖								
				労	務(人	/回)	組合せ機械運	転時間(日/回)	
作	業	の 種	重 類	世話役	特殊作業員	とびエ	油圧式杭 圧入引抜機	ラフテレーンクレーン	
圧力	人 (<u>N</u> m	ах≦	25)	0.29	0. 29	0.58	0. 25	0.30	
圧力	人 (<u>N</u> m	ах≦	5 0)	0.50	0.50	1.00	0. 29	0. 45	
引		抜	き	0.19	0.19	0.39	0. 13	0. 19	

(注) 1. 圧入 (Nmax≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。2. ~4. [略]

5-5 諸雑費

諸雑費は、共下がり防止用の溶接棒及び電気溶接機損料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費(配管バンド、溶接棒、電気溶接機損料、工事用水中モーターポンプ損料、水槽及び配管損料)、付属機材等の現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用(継施工に関する経費は除く)であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

表 5. 8 諸雑費率

(%)

作業の種類		粨	陸」	-施工	水上施工				
Т	F	未	V)	俚	類	継施工なし	継施工あり	継施工なし	継施工あり
圧,	入	(<u>N</u> 1	nax	≤ 2	5)	1	<u>4</u>	1	3
圧	入	(<u>N</u> 1	nax	≦ 5	0)	7	9	<u>5</u>	<u>7</u>
引			抜		き	<u>0. 1</u>		_	

(注) 圧入(Nmax≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

6. 単価表

(1) 鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (<u>M</u>max≦25)

「略]

(2) 鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (<u>N</u>max≦50)

[略]

(3) 継鋼矢板圧入 10枚当り単価表(<u>N</u>max≦25)

「略]

(4) 継鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (Nmax≦50)

- */* 「略]

(5)・(6) [略]

(7) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
油圧式杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・ 排出が A対策型(2014 年規制) 普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機-24	燃料消費量 → <u>128</u> 機械損料数量 → <u>1.49</u>

5-4 油圧式杭圧入引抜機の据付・解体歩掛 [略]

表 5.7 据付 • 解体歩掛

我 5. 7 1/4 19 17 14 14 19 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15									
		労務 (人/回)			組合せ機械運転時間(日/回)				
作	業	の	種	類	世話役	特殊作業員	とびエ	油圧式杭 圧入引抜機	ラフテレーンクレーン
圧ノ	<u>(1</u>	<u>√</u> ma:	x ≤ 2	5)	0. 29	0. 29	0.58	0. 25	0.30
圧ノ	<u>()</u>	<mark>√</mark> ma:	x ≤ 5	0)	0.50	0.50	1.00	0. 29	0.45
引		抜		き	0. 19	0. 19	0.39	0.13	0.19

(注) 1. 圧入 (Nmax≤50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。2. ~4. [略]

5-5 諸雑費

諸雑費は、共下がり防止用の溶接棒及び電気溶接機損料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費(配管バンド、溶接棒、電気溶接機損料、工事用水中モーターポンプ損料、水槽及び配管損料)、現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用(継施工に関する経費は除く)であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

表	5.	8	諸雑費率
---	----	---	------

(%)

	作業の種類		陸上施工		水上施工				
			任里	類	継施工なし	継施工あり	継施工なし	継施工あり	
	圧入	(<u>N</u>	max	≤ 2	5)	1	2	1	3
	圧入	(<u>N</u>	max	≤ 5	0)	8	8	<u>6</u>	<u>8</u>
	引		抜		き	<u>0. 2</u>		_	

(注) 圧入(Nmax≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

6. 単価表

(1)鋼矢板圧入 10枚当り単価表 (Nmax≦25)

「吸1

(2) 鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (Nmax≦50)

[略]

(3) 継鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (Nmax≦25)

「略]

(4) 継鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (Nmax≤50)

[略]

(5)・(6) [略]

(7)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
油圧式杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型(2014 年規制) 普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機一24	燃料消費量 → <u>132</u> 機械損料数量 → <u>1.46</u>

n	エンジン式ユニット・ 排出が ス対策型(第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力1,000kN 引抜力1,100kN	機一24	燃料消費量 → <u>146</u> 機械損料数量 → <u>1.49</u>
杭打ち用ウォータージ ェット	エンジン式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 325 ℓ/min	機-24	燃料消費量 → <u>134</u> 機械損料数量 → <u>1.49</u>
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	機-18	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 → <u>92</u> 機械損料数量 → <u>1.49</u>
クレーン付台船	クローラクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	機一11	運転1日当り単価表 船 員 名 称 →高級船員 機械損料単位 →供用日 運転労務数量 →1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.49 (台船) 機械損料数量 →1.49
引	鋼製 D 100PS型 4.9GT	機一11	運転1日当9単価表 船 員 名 称 →高級船員 機械損料単位 →供用日 運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →57 機械損料数量 →1.22 主 燃 料 →重油

⑱ 油圧圧入引抜工(ハット形鋼矢板)

1. 適用範囲

本歩掛は、油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入(Nmax≦50)施工に適用する。

なお、継矢板の施工法は、先行する鋼矢板を圧入後、それに接続する鋼矢板を鉛直に建込んだ状態で継手部を溶接するものである。

油圧式圧入引抜機の反力チャックのつかみ代は、550mmを標準とする。

<u>N</u>max≦50 での施工における布掘深さ(又は、地表面よりの余裕高さ)は反力チャックのつかみ代と同じ幅を標準とする。 また、鋼矢板形式毎の圧入長の適用範囲は、表 1.1 のとおりとし、これにより難い場合は別途考慮する。

		表 1. 1 圧入長		(m)
鋼矢	板の型式	10H 型	25H 型	45H, 50H 型
口 1 目	圧入 (<u>N</u> max≦25)	12 以下	25 以下	25 以下
圧入長	圧入 (<u>N</u> max≦50)	14 以下	25 以下	25 以下

(注) 1. 「略]

2. 圧入(Nmax≤50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、Nmax≤25 においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。

3. [略]

2. 施工概要

"	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力1,000kN 引抜力1,100kN	機一24	燃料消費量 → <u>151</u> 機械損料数量 → <u>1.46</u>
杭打ち用ウォーター ジ ェ ッ ト	エンジン式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 325 ℓ/min	機-24	燃料消費量 → <u>139</u> 機械損料数量 → <u>1.46</u>
ラフテレーンクレーン	排出がス対策型(第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	機-18	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 → <u>95</u> 機械損料数量 → <u>1.46</u>
クレーン付台船	クローラクレーン 35~40t 吊 台船 300 t 積	機一11	運転1日当り単価表 船 員 名 称 →高級船員 機械損料単位 →供用日 運転労務数量 →1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量 →45 機械損料数量 →1.46 (台船) 機械損料数量 →1.46
引	鋼製 D 100PS型 4.9GT	機一11	運転 1 日当り単価表 船 員 名 称 →高級船員機械損料単位 →供用日運転労務数量 →1.00燃料消費量 →57機械損料数量 →1.22主 燃料 →重油

(18) 油圧圧入引抜工 (ハット形鋼矢板)

1 適用節用

本歩掛は、油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入(<u>N</u>max≦50)施工に適用する。

なお、継矢板の施工法は、先行する鋼矢板を圧入後、それに接続する鋼矢板を鉛直に建込んだ状態で継手部を溶接するものである。

油圧式圧入引抜機の反力チャックのつかみ代は、550mmを標準とする。

Nmax≤50 での施工における布掘深さ(又は、地表面よりの余裕高さ)は反力チャックのつかみ代と同じ幅を標準とする。 また、鋼矢板形式毎の圧入長の適用範囲は、表 1.1 のとおりとし、これにより難い場合は別途考慮する。

		表 1. 1 圧入長		(m)
鋼矢	板の型式	10H 型	25H 型	[新設]
T 1 E	圧入 (<u>N</u> max≦25)	12 以下	25 以下	[新設]
圧入長	圧入 (<u>N</u> max≦50)	14 以下	25 以下	[新設]

(注) 1. 「略

2. 圧入(<u>N</u>max≤50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、<u>N</u>max≤25 においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。

3. [略]

2. 施工概要

標準施工フローは、次図を標準とする。

図 2. 1 圧入 (Nmax≦25)

[略]

図 2. 2 圧入 (<u>N</u>max≦50)

[略]

3. 機種の選定

3-1 油圧式杭圧入引抜機 「略」

表 3. 1 機種選定

施工	方法	圧	入		
最大	N値	<u>N</u> max≦25	<u>N</u> max≦50		
鋼矢板型式	10H・25H型	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型 (2014年規制)			
纳八似王八	<u>45H・50H型</u>	→ ハット形鋼矢板900mm用 圧入力 1,000kN 引抜力 1,200kN			

(注) 圧入(Nmax≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する ものとし、Nmax≦25においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。

3-2 付属機械

[略]

表 3. 2 付属機械の機種選定

施工方法 機 種	压入(<u>N</u> max≦25)	圧入(<u>N</u> max≦50)	備考
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型2	陸上からの施工時のみ	
杭打ち用ウォータージェット	-	エンジン式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量3250/min	
クレーン付台船	クローラクレ・ 台船300t積	水上からの施工時のみ	
引船	鋼製 D 100PS型	4.9GT (注) 3	

- (注) 1. 圧入(Nmax≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、Nmax≦25 においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。
 - 2. [略]
 - 3. 水上施工の場合の注意事項
 - ①・② [略]
 - ③ クレーン付台船には、圧入(<u>N</u>max≦25)時は油圧式杭圧入引抜機、同油圧ユニット、溶接機及び鋼矢板を搭載するものとし、鋼矢板の搭載質量は、230 t (圧入(<u>N</u>max≦50)時は杭打ち用ウォータージェット、水槽も搭載し、鋼矢板の搭載質量は、210 t)以下とする。
 - 4. 5. [略]

4. 日当り編成人員

4-1 油圧圧入引抜施工の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 1 日当り編成人員

標準施工フローは、次図を標準とする。

図 2. 1 圧入 (Nmax≦25)

[略]

図 2. 2 圧入 (Nmax≦50)

「略]

3. 機種の選定

3-1 油圧式杭圧入引抜機 「略」

表 3. 1 機種選定

	施工	方法	圧	入	
	最大	N値	<u>N</u> max≦25	<u>N</u> max≦50	
4	鋼矢板型式	10H・25H型	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型(2014年規制) ハット形鋼矢板900mm用		
	剩 大似空式	[新設]	圧入力 1,000kN 引抜力 1,200kN		

(注) 圧入(Nmax≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、Nmax≦25においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。

3-2 付属機械

「略]

表 3. 2 付属機械の機種選定

表 3. 2 竹属機械の機種選定							
施工方法 機 種	圧入(<u>N</u> max≦25)	圧入(<u>N</u> max≦50)	備考				
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型2	陸上からの施工時のみ					
杭打ち用ウォータージェット	_	エンジン式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量3250/min					
クレーン付台船	クローラクレーン35~40t吊 台船300t積 (注) 3		水上からの施工時のみ				
引船	鋼製 D 100PS型	4.9GT (注) 3					

- (注) 1. 圧入(Nmax≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用するものとし、Nmax≦25 においても転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する場合は適用できる。
 - 2. [略]
 - 3. 水上施工の場合の注意事項
 - ①・② [略]
 - ③ クレーン付台船には、圧入(<u>N</u>max≦25)時は油圧式杭圧入引抜機、同油圧ユニット、溶接機及び鋼矢板を搭載するものとし、鋼矢板の搭載質量は、230 t (圧入(<u>N</u>max≦50)時は杭打ち用ウォータージェット、水槽も搭載し、鋼矢板の搭載質量は、210 t)以下とする。
 - 4.・5. [略]

4. 日当り編成人員

4-1 油圧圧入引抜施工の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 1 日当り編成人員

(人)

作業の種類	世 話 役	特殊作業員	とびエ	溶接工(注)2
圧入(<u>N</u> max≦25)	1	1	2	2
圧入 (<u>N</u> max≦50)	1	1	2	2

(注) 1. 圧入 (Nmax≤50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。2. [略]

4-2 水上施工の1船団に対する船舶作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 2 船舶作業の日当り編成人員 「略」

(注) 1.~3. [略]

4. 上表は、圧入又は引抜き作業の配置人員であり、搬入、搬出等の回航<u>・えい航</u> は土地改良事業等請負工事共通仮設費算定基準の運搬費として計上する。

5. 日当り施工枚数

5-1 圧入(継施工なし)

鋼矢板の圧入作業における1日当り施工枚数(N)は、表5.1~表5.2による。

5-1-1 圧入 (Nmax ≤ 25)

表 5. 1 日当り施工枚数 (N) (枚/							
压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
10H・25H <u>・45H・50H</u> 型	<u>27</u>	21	<u>16</u>	<u>13</u>	11	<u>9. 0</u>	<u>8. 0</u>

(注) [略]

5-1-2 圧入 (Nmax ≤ 50)

表 5. 2 日当り施工枚数 (N) (枚/							
压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
10H・25H <u>・45H・50H</u> 型	20 (23)	16 (<u>18</u>)	12 (14)	10 (12)	8.5 (10)	$\frac{7.1}{(8.5)}$	6.3 (<u>7.6</u>)

(注) 1. 圧入 (Nmax≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

2. ~ 4. [略]

5. 上段:25<Nmax≦50

下段()書き: <u>M</u>max ≤ 25 で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

5-2 圧入(継施工あり)

[略]

5-2-1 圧入継施工 (<u>N</u>max≦25)

		表 5. 3 日当り継施工枚数 (N) (枚/日						
压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下	
10H 型	<u>7.8</u>	<u>7. 2</u>	<u>6. 5</u>	_	_	_	_	
25H 型	<u>6. 2</u>	<u>5.8</u>	<u>5. 3</u>	<u>5. 0</u>	<u>4. 6</u>	<u>4. 2</u>	<u>4. 0</u>	
<u>45H 型</u>	<u>5. 6</u>	<u>5. 3</u>	<u>4. 9</u>	<u>4. 6</u>	4.3	<u>3.9</u>	<u>3. 7</u>	
<u>50H 型</u>	<u>4. 9</u>	<u>4. 7</u>	<u>4. 4</u>	<u>4. 1</u>	<u>3. 9</u>	<u>3. 6</u>	<u>3. 4</u>	

(注) [略]

作業の種類	世 話 役	特殊作業員	とびエ	溶接工(注)2
圧入 (<u>N</u> max≦25)	1	1	2	2
圧入 (<u>N</u> max≦50)	1	1	2	2

(注) 1. 圧入 (Nmax≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。2. [略]

4-2 水上施工の1船団に対する船舶作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 2 船舶作業の日当り編成人員 (人)

(注) 1.~3. [略]

4. 上表は、圧入又は引抜き作業の配置人員であり、搬入、搬出等の回航は土地改良事業等請負工事共通仮設費算定基準の運搬費として計上する。

5. 日当り施工枚数

5-1 圧入(継施工なし)

鋼矢板の圧入作業における1日当り施工枚数(N)は、表5.1~表5.2による。

5-1-1 圧入 (Nmax ≤ 25)

	表 5. 1 日当り施工枚数 (N) (枚/日)							
压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下	
10州・25州型	<u>28</u>	21	<u>17</u>	<u>14</u>	11	<u>9. 3</u>	<u>8. 3</u>	

(注) [略]

5-1-2 圧入 (Nmax ≤ 50)

表 5. 2 日当り施工枚数 (N) (枚/日)							
压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
10州・25州型	2 <u>1</u> (23)	16 (<u>19</u>)	13 (<u>15</u>)	<u>11</u> (12)	8.7 (10)	7.3 (<u>8.8</u>)	6. 5 (<u>7. 8</u>)

(注) 1. 圧入 $(N_{\text{max}} \leq 50)$ は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

2. ~ 4. [略]

5. 上段:25<Nmax≦50

下段()書き:<u>N</u>max≦25 で、転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合。

5-2 圧入(継施工あり)

「略

5-2-1 圧入継施工 (Nmax≦25)

表 5. 3 日当り継施工枚数 (N) (枚/日								
压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下	
10H型	<u>8. 4</u>	<u>7. 6</u>	<u>7. 0</u>	_	_	_	_	
25H 型	<u>6. 8</u>	<u>6. 3</u>	<u>5. 9</u>	<u>5. 5</u>	<u>5. 0</u>	<u>4. 5</u>	<u>4. 2</u>	
[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	
[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	

(注) [略]

5-2-2 圧入継施工 (Nmax≤50)

表 5. 4 日当り継施工枚数(N)

(枚/目)

		A 0. 1		1/2× (11)			(1// 1-
压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
10H 型	<u>7. 1</u> (7. 4)	6. 5 (6. 8)	<u>5. 7</u> (6. 2)	<u>5. 2</u> (5. 7)	_	_	_
25H 型	<u>5. 7</u> (5. 9)	<u>5. 3</u> (5. 5)	<u>4. 8</u> (5. 1)	<u>4. 4</u> (4. 8)	<u>4. 1</u> (4. 4)	3.8 (4.1)	3. <u>5</u> (3. 9)
<u>45H 型</u>	<u>5. 2</u> (5. 4)	<u>4. 9</u> (5. 0)	<u>4. 4</u> (4. 7)	<u>4. 1</u> (4. 4)	3.8 (4.1)	3.5 (3.8)	3.3 (3.6)
<u>50H 型</u>	<u>4. 6</u> (4. 8)	<u>4. 4</u> (4. 5)	<u>4. 0</u> (4. 2)	3.8 (4.0)	3. <u>5</u> (3. 8)	3.3 (3.5)	3. 1 (3. 4)

(注) 1. 圧入長 (\underline{N} max ≤ 50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

 $2. \sim 4.$ [略]

5. 上段:25<Nmax≦50

下段()書き: Max≤25で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合に適用する。

6. [略]

5-2-3 鋼矢板1枚当り継施工箇所数による補正

表 5 5 補正係数 (F) (鋼矢板 1 枚当り 2 筒所以 上継施工を行う場合)

我 6. 6 隔上 // 《 1/ 《 1/ / 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1	从・1人一 ノ 5 E		· [] [] [] [] []	
鋼矢板1枚当り継施工箇所数 (X)	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所
補正係数 (F)	0.65	0.49	0.39	0.32

5-3 油圧式杭圧入引抜機の据付・解体歩掛 「略〕

表 5. 6 据付 解体歩掛

「略]

(注) 1. 圧入 (<u>N</u>max≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

2. • 3. 「略]

4. 水上施工等で反力架台が設置できない場合には、初期鋼矢板の施工は、バイブロハンマ工により別途計上する。(初期鋼矢板:10H・25H・45H・50H型4枚) なお、クレーン付台船及び引船の運転日数は、世話役の歩掛を「日/回」と読み変えて適用す

なお、クレーン付台船及び引船の運転日数は、世話役の歩掛を「日/回」と読み変えて適用するものとし、回航費用は別途計上する。

5-4 諸雑費

諸雑費は、共下がり防止用の溶接棒及び電気溶接機損料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータージェット 併用施工用付属機器に関する経費(配管バンド、溶接棒、電気溶接機損料、工事用水中モーターポンプ損料、水 槽及び配管損料)、付属機材等の現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用(継施工に関する経費は 除く)であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

表 5. 7 諸雑費率

(%)

施工方法	陸上	施工	水上施工		
肥 上 万 法	継施工なし	継施工あり	継施工なし	継施工あり	
圧入 (<u>N</u> max≦25)	1	4	1	<u>3</u>	
圧入 (<u>N</u> max≦50)	6	8	5	7	

(注) 圧入 (Nmax≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

6. 単価表

(1)鋼矢板圧入 10 枚当り単価表(<u>N</u>max≦25)

[略]

5-2-2 圧入継施工 (Nmax≦50)

表 5. 4 日当り継施工枚数(N)

(枚/日)

压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
10H 型	7.6 (7.9)	6. 9 (7. 4)	6. 2 (6. 7)	<u>5. 7</u> (6. 0)	_		_
25H 型	6.3 (6.5)	<u>5.8</u> (6.1)	<u>5. 3</u> (5. 6)	<u>5. 0</u> (5. 1)	4. 5 (4. 7)	3. 9 (4. 5)	3. 9 (4. 2)
[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]
[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]

(注) 1. 圧入長 (Nmax≦50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

2. ~ 4. [略]

5. 上段:25<Nmax≦50

下段 () 書き: $N_{\text{max}} \le 25$ で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合に適用する。

6. 「略]

5-2-3 鋼矢板1枚当り継施工箇所数による補正

表 5. 5 補正係数 (F) (鋼矢板 1 枚当り 2 筒所以上継施工を行う場合)

鋼矢板1枚当り継施工箇所数(X)	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所
補正係数 (F)	0.66	0.50	0.40	0.34

5-3 油圧式杭圧入引抜機の据付・解体歩掛

[略]

表 5. 6 据付 解体歩掛

[略]

(注) 1. 圧入(Nmax≦50)は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

2. • 3. [略]

4. 水上施工等で反力架台が設置できない場合には、初期鋼矢板の施工は、バイブロハンマエにより別途計上する。 (初期鋼矢板:10H・25H型4枚)

なお、クレーン付台船及び引船の運転日数は、世話役の歩掛を「日/回」と読み変えて適用するものとし、回航費用は別途計上する。

5-4 諸雑費

諸雑費は、共下がり防止用の溶接棒及び電気溶接機損料、施工機械足場用の敷鉄板賃料、ウォータージェット併用施工用付属機器に関する経費(配管バンド、溶接棒、電気溶接機損料、工事用水中モーターポンプ損料、水槽及び配管損料)、現場内小運搬に関する経費、電力に関する経費等の費用(継施工に関する経費は除く)であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

表 5. 7 諸雑費率

(%)

施工方法	陸上	施工	水上	施工
ル 上 万 伝	継施工なし	継施工あり	継施工なし	継施工あり
圧入 (<u>N</u> max≦25)	1	2	1	2
圧入 (<u>N</u> max≦50)	6	7	5	7

(注) 圧入 (Nmax≤50) は、杭打ち用ウォータージェットを使用する場合に適用する。

6. 単価表

(1) 鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (Nmax≦25)

[略]

(2) 鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (<u>M</u>max≦50)

[略]

(3) 継鋼矢板圧入 10枚当り単価表(Mmax≦25)

「四久]

(4) 継鋼矢板圧入 10 枚当り単価表(<u>N</u>max≦50)

「略]

(5) [略]

(6)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
油压式杭压入引抜機	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型 (2014 年規制) ハット形鋼矢板 900 mm用 圧入力 1,000 k N 引抜力 1,200 k N	機一24	燃料消費量→ <u>1.71</u> 機械損料数量→ <u>1.49</u>
杭 打 ち 用 ウ ォ ー タ ー ジ ェ ッ ト	ェンジン式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量325 0/min	機-24	燃料消費量→ <u>134</u> 機械損料数量→ <u>1.49</u>
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	機-18	運転労務数量 →1.00 燃料消費量→ <u>92</u> 機械損料数量 → <u>1.49</u>
クレーン付台船	クローラクレーン 35〜40t 吊 台船 300 t 積	機一11	運転1日当り単価表 船 員 名 称 →高級船員 機械損料単位 →供用日 運転労務数量 →1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.49 (台船) 機械損料数量 →1.49
引	鋼製 D 100PS 型 4.9GT	機一11	運転1日当り単価表 船 員 名 称 →高級船員 機械損料単位 →供用日 運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →57 機械損料数量 →1.22 主 燃 料 →重油

⑨ 油圧圧入引抜工(硬質地盤)

1. 適用範囲

本歩掛は、油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入(50<Nmax≦600)の施工に適用する。 鋼矢板施工時の布掘深さ(または、地表面よりの余裕高さ)は、1,000mmを標準とする。 また、鋼矢板形式毎の圧入長の適用範囲は、表 1.1 のとおりとし、これにより難い場合は、別途考慮する。 (2) 鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (Nmax≦50)

[略]

(3) 継鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (Nmax≤25)

[略]

(4) 継鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (Nmax≦50)

[略]

(5) [略]

(6)機械運転単価表

(り) 懱쌨連転単価衣			,
機械名	規格	適用単価表	指定事項
油压式杭压入引抜機	エンジン式ユニット・ 排出ガス対策型 (2014 年規制) ハット形鋼矢板 900 mm用 圧入力 1,000 k N 引抜力 1,200 k N	機一24	燃料消費量→ <u>176</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
杭 打 ち 用 ウ ォ ー タ ー ジ ェ ッ ト	エンジン式・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量325 ℓ/min	機一24	燃料消費量→ <u>139</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第3次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	機-18	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 → <u>95</u> 機械損料数量 → <u>1.46</u>
クレーン付台船	クローラクレーン 35〜40t 吊 台船 300 t 積	機一11	運転1日当り単価表 船 員 名 称 →高級船員 機械損料単位 →供用日 運転労務数量 →1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量 →45 機械損料数量 →1.46 (台船) 機械損料数量 →1.46
引	鋼製 D 100PS型 4.9GT	機一11	運転1日当り単価表 船 員 名 称 →高級船員 機械損料単位 →供用日 運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →57 機械損料数量 →1.22 主 燃 料 →重油

⑨ 油圧圧入引抜工 (硬質地盤)

1. 適用範囲

本歩掛は、油圧式杭圧入引抜機による鋼矢板の圧入 (50 < Nmax ≤600) の施工に適用する。 鋼矢板施工時の布掘深さ (または、地表面よりの余裕高さ) は、1,000mm を標準とする。 また、鋼矢板形式毎の圧入長の適用範囲は、表 1.1 のとおりとし、これにより難い場合は、別途考慮する。

	表 1. 1 圧入長 (m)							(m)				
		鋼矢板の型式	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	VL型	VI∟型	Ⅱw型	Ⅲw型	Ⅳw型	<u>10H型</u>	<u>25H 型</u>
		[削る。]	[削 る。]									
7	王人長	<u>50<nmax≦180< u=""></nmax≦180<></u>	<u>10</u> 以下	<u>15</u> 以下	<u>20</u> 以下	<u>25</u> 以下	<u>25</u> 以下	<u>12</u> 以下	<u>25</u> 以下	<u>25</u> 以下	<u>12</u> 以下	<u>25</u> 以下
I	×	<u>180<nmax≦600< u=""></nmax≦600<></u>	<u>10</u> 以下	<u>15</u> 以下	<u>20</u> 以下	<u>25</u> 以下	<u>25</u> 以下	<u>12</u> 以下	<u>25</u> 以下	<u>25</u> 以下	=	=

(注) [略]

2. 施工概要

標準施工フローは、次図を標準とする。

[略]

3. 機種の選定

3-1 油圧式杭圧入引抜機 [略]

表 3. 1 機種選定

		表 3. 機程選正	
	最大N値	50< <u>N</u> max≦ <u>180</u>	<u>180<nmax≤600< u=""></nmax≤600<></u>
	Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	エンジン式ユニット (硬質地盤専用) 排出ガス対策型 (第3次基準値) 普通鋼矢板用 圧入力 800kN、引抜力 900kN	
鋼矢板型 式	V L、VIL、II w、III w、IVw型	エンジン式ユニット (硬質地盤専用) 排出ガス対策型 (第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN、引抜力 1,000kN	
	<u>10H、25H型</u>	エンジン式ユニット(硬質地盤専用) 排出ガス対策型(2014年規制) ハット形鋼矢板用900mm用 圧入力 800kN、引抜力 900kN	<u>-</u>

3-2 付属機械 [略]

表 3 2 付属機械の機種選定

	3. 2 忖禹懱慨の懱哩選疋	
施工方法 機 種	压入(50< <u>N</u> max≦600)	備考
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (2011年規制) 油圧伸縮ジブ型50~51 t 吊(注) 1	陸上施工時

(注) [略]

4. 日当り編成人員

4-1 油圧圧入引抜工の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 1 日当り編成人員

(人)

	表 1. 1 圧入長 (m									(m)	
!	鋼矢板の型式	Ⅱ型	Ⅲ型	IV型	V⊥型	VI∟型	Ⅱw型	Ⅲw型	Ⅳw型	[新設]	[新設]
[<u> </u>	<u>10 以</u> <u>下</u>	<u>15 以</u> <u>下</u>	<u>20 以</u> <u>下</u>	<u>25 以</u> <u>下</u>	<u>25 以</u> <u>下</u>	<u>12 以</u> <u>下</u>	<u>25 以</u> <u>下</u>	<u>25 以</u> <u>下</u>		
新設	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]
]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]

(注) [略]

2. 施工概要

標準施工フローは、次図を標準とする。

図 2-1 圧入 $(50 < N \max \le 600)$

[略]

3. 機種の選定

3-1 油圧式杭圧入引抜機 [略]

表 3. 1 機種選定

	最大N値	50< <u>N</u> max≦ <u>600</u>	[新設]
	Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	エンジン式ユニット (硬質地盤専用) 排出ガス対策型 (第3次基準値) 普通鋼矢板用 圧入力 800kN、引抜力 900kN	[新設]
鋼矢板型 式	V L、VIL、II w、IIIw、IVw型	エンジン式ユニット (硬質地盤専用) 排出ガス対策型 (第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN、引抜力 1,000kN	[新設]
	[新設]	[新設]	[新設]

3-2 付属機械 [略]

表 3. 2 付属機械の機種選定

	施工方法 機 種	圧入(50< <u>N</u> max≦600)	備考
	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (2011年規制) 油圧伸縮ジブ型50~51 t 吊(注) 1	陸上施工時
(注)	[略]		

4. 日当り編成人員

4-1 油圧圧入引抜工の日当り編成人員は、次表を標準とする。

表 4. 1 日当り編成人員

(人)

項	目	世	話	役	特殊作業	員	と	び	工
上人(50<	<u>N</u> max≦600)		1		1			2	

5. 日当り施工枚数

5-1 圧入作業

鋼矢板の圧入作業における1日当り施工枚数(N)は、表5.1~表5.2による。

5-1-1 圧入 (50<Nmax \le 100)

表 5. 1 日当り施工枚数(N)

(枚/日)

		20	<u> </u>				(1/2/ 1-7
医入長 鋼矢板形式	6 m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	13	<u>8. 9</u>	<u>6. 7</u>	<u>5. 3</u>	<u>4. 3</u>	<u>3. 5</u>	_
VL、VIL型	<u>11</u>	<u>7. 9</u>	<u>5. 9</u>	<u>4. 7</u>	<u>3. 8</u>	<u>3. 1</u>	<u>2. 7</u>
Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	<u>11</u>	<u>7. 9</u>	<u>5. 9</u>	4. 7	3.8	3. 1	2. 7
<u>10H、25H 型</u>	<u>9. 7</u>	<u>6.8</u>	<u>5. 0</u>	4.0	<u>3. 2</u>	<u>2. 6</u>	<u>2. 3</u>

(注) [略]

表 5.2 日当り施工枚数(N)

(枚/目)

压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	11	<u>7. 5</u>	<u>5. 6</u>	<u>4.4</u>	<u>3. 6</u>	<u>2. 9</u>	1
VL、VIL型	<u>9. 4</u>	<u>6. 6</u>	<u>4. 9</u>	<u>3. 9</u>	<u>3. 1</u>	<u>2. 5</u>	<u>2. 2</u>
Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	<u>9. 4</u>	<u>6. 6</u>	<u>4. 9</u>	<u>3. 9</u>	<u>3. 1</u>	<u>2. 5</u>	<u>2. 2</u>
<u>10H、25H 型</u>	<u>8. 1</u>	<u>5. 7</u>	<u>4. 2</u>	<u>3. 3</u>	<u>2. 6</u>	<u>2. 2</u>	<u>1. 9</u>

(注) [略]

表 5.3 日当り施工枚数(N)

(枚/日)

压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	<u>10</u>	<u>7. 2</u>	<u>5. 3</u>	<u>4. 2</u>	<u>3. 3</u>	<u>2. 7</u>	_
VL、VIL型	<u>9. 1</u>	<u>6. 3</u>	<u>4. 6</u>	<u>3.6</u>	<u>2. 9</u>	<u>2. 4</u>	<u>2. 1</u>
Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	<u>9. 1</u>	<u>6. 3</u>	<u>4. 6</u>	<u>3. 6</u>	<u>2. 9</u>	<u>2. 4</u>	<u>2. 1</u>

(注) [略]

5-1-4 圧入 (250<Nmax \le 375)

表 5. 4 日当り施工枚数(N)

(枚/日)

							(
压入長 鋼矢板型式	6 m以下	9 m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	9.0	<u>6. 2</u>	<u>4. 6</u>	<u>3. 6</u>	<u>2. 9</u>	<u>2. 3</u>	
VL、VIL型	7.9	<u>5. 4</u>	4.0	<u>3. 1</u>	<u>2. 5</u>	2.0	1.8
Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	<u>7. 9</u>	<u>5. 4</u>	<u>4. 0</u>	<u>3. 1</u>	<u>2. 5</u>	<u>2. 0</u>	1.8

(注) [略]

5-1-5 圧入 (375<<u>N</u>max≦600)

表 5.5 日当り施工枚数(N)

(枚/目)

压入長 鋼矢板型式	6 m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下		
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	7.3	<u>5. 0</u>	3.7	2.9	2.3	1. 9	_		
VL、VIL型	<u>6. 4</u>	<u>4. 4</u>	3.2	<u>2.5</u>	<u>2. 0</u>	<u>1. 6</u>	<u>1.4</u>		
Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	6. 4	4. 4	3. 2	2.5	2. 0	1. 6	1.4		

項	I	世	話	役	特殊作業	員	논	び	工
圧入 (50< <u>1</u>	<u>√</u> max≦600)		1		1			2	

5. 日当り施工枚数

5-1 圧入作業

鋼矢板の圧入作業における1日当り施工枚数(N)は、表5.1~表5.2による。

5 - 1 - 1 圧入 ($50 < N max \le 100$)

表 5. 1 日当り施工枚数(N)

(枚/目)

E入長 鋼矢板形式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	13	<u>9. 2</u>	<u>6. 9</u>	<u>5. 5</u>	<u>4. 4</u>	<u>3. 6</u>	_
VL、VIL型	<u>12</u>	8. 2	<u>6. 1</u>	4.8	<u>3. 9</u>	<u>3. 2</u>	2.8
Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	<u>12</u>	<u>8. 2</u>	<u>6. 1</u>	<u>4.8</u>	3.9	3. 2	2.8
[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	[新設]

(注) [略]

5 - 1 - 2 圧入 (100<<u>N</u>max \le 180)

表 5.2 日当り施工枚数(N)

(枚/日)

下 25m以下
2011/201
_
<u>2. 3</u>
2.3
[新設]

(注) [略]

5 - 1 - 3 圧入 (180<<u>N</u>max \le 250)

表 5.3 日当り施工枚数(N)

(枚/日)

	X = 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1									
	E入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下		
	Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	<u>11</u>	<u>7. 4</u>	<u>5. 4</u>	<u>4. 3</u>	<u>3.5</u>	<u>2.8</u>	_		
	VL、VIL型	<u>9. 4</u>	<u>6. 5</u>	<u>4. 8</u>	<u>3. 7</u>	<u>3. 0</u>	<u>2.5</u>	<u>2. 2</u>		
	Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	<u>9. 4</u>	<u>6. 5</u>	<u>4. 8</u>	<u>3. 7</u>	<u>3. 0</u>	<u>2.5</u>	<u>2. 2</u>		
/ N.S	\									

(注) [略]

5-1-4 圧入 (250<<u>N</u>max≦375)

表 5 4 日当り施工枚数(N)

(枚/日)

	表 3. 4 自当 9 池工代数 (N) (秋/日)										
压入長 鋼矢板型式	6m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下				
Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	<u>9. 3</u>	<u>6. 4</u>	<u>4. 7</u>	<u>3.7</u>	<u>3. 0</u>	<u>2. 4</u>	_				
VL、VIL型	<u>8. 1</u>	<u>5. 6</u>	<u>4. 1</u>	3.2	2.6	<u>2. 1</u>	1.8				
Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	<u>8. 1</u>	<u>5. 6</u>	<u>4. 1</u>	<u>3. 2</u>	<u>2. 6</u>	<u>2. 1</u>	1.8				

(注) [略]

5 -	5-1-5 圧入 (375< <u>N</u> max≦600) 表 5. 5 日当り施工枚数(N) (枚/日)										
	压入長 鋼矢板型式	6 m以下	9m以下	12m以下	15m以下	19m以下	23m以下	25m以下			
	Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ型	<u>7. 6</u>	<u>5. 2</u>	3.8	3.0	2.4	1. 9	_			
	VL、VIL型	<u>6. 6</u>	<u>4. 5</u>	<u>3. 3</u>	<u>2. 6</u>	<u>2. 1</u>	<u>1. 7</u>	<u>1. 5</u>			
	Ⅱw、Ⅲw、Ⅳw型	<u>6. 6</u>	<u>4. 5</u>	3.3	2.6	<u>2. 1</u>	<u>1. 7</u>	<u>1. 5</u>			

(注) 「略]

6. 油圧式杭圧入引抜機の据付・解体歩掛

据付・解体は、施工前の準備としての施工機械の配置、試運転調整等と施工後の施工機械の解体・撤去作業であり、 歩掛は次表とする。

表 6. 1 据付 • 解体歩掛

我 6. 1 指的 解释多国									
			労 務 (人/回)			組合せ機械運転時間(日/回)			
作	業	区	分	世話役	特殊作業員	とびエ	油圧式杭 圧入引抜機	ラフテレーンクレーン	
圧入	(50 < <u>N</u>	max ≤ 6	00)	1. 10	1. 10	2. 19	0. 59	0.90	

(注) 1. · 2. [略]

3. 反力架台が設置できない場合には、初期鋼矢板の施工は、バイブロハンマエにより別途積算する。 (初期鋼矢板: $II \sim IV 型 4$ 枚、 $V_L \sim VI_L 型及び II w \sim IV w 型 3$ 枚、 $10H \cdot 25H 型 4$ 枚)

7. 諸雑費

諸雑費は、溶接棒、施工機械足場用の敷鉄板賃料、電気溶接機損料、<u>陸上部での付属機械等の</u>現場内小運搬に関する経費、排土処理用のバックホウ運転に関する経費、オーガスクリュ及びオーガヘッド並びにケーシング損料等の費用であり、労務費、機械損料及び機械運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

なお、上記諸雑費に含まれるもの以外で施工に際し、オーガスクリュ及びオーガヘッド等へ付着した土等を除去するための高圧洗浄機やエアーコンプレッサーを用いる必要が生じた場合は、別途考慮する。

7. 1 諸雑費率 (%

	衣	7. I 插雜賀率	(%)
佐巻の種類		左托瓦八	陸上施工
作業の種類		矢板区分	継施工なし
)(; \≠	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型	
T 3 (50 / N / 100)	普通	VĿ・VIL型	<u>18</u>
圧入 (50< <u>N</u> max≦ <u>180</u>)	広幅	IIw・IIIw・IVw型	
	ハット形	<u>10H•25H型</u>	<u>19</u>
	並送	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型	
圧入 (180 <nmax≦600)< td=""><td><u>普通</u></td><td><u>VĿ・VIL型</u></td><td><u>18</u></td></nmax≦600)<>	<u>普通</u>	<u>VĿ・VIL型</u>	<u>18</u>
	広幅	Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型	

8. 単価表

(1) 鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (50 < Nmax ≤ 600)

\ · / ;	T/ 新人版在人 To Kコ / 千画板(co timex = coo/									
	名		称		規格	単 位	数 量	適用		
世		話		役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 4. 1 表 5. 1、表 5. 2、表 5. 3 表 5. 4、表 5. 5		
特	殊	作	業	員		IJ	$\frac{10}{N} \times 1$	n n n		
と		び		エ		IJ	$\frac{10}{N} \times 2$	n n n		
油圧	油圧式杭圧入引抜機運転					日	10	表 3. 1		

(注) 「略]

6. 油圧式杭圧入引抜機の据付・解体歩掛

据付・解体は、施工前の準備としての施工機械の配置、試運転調整等と施工後の施工機械の解体・撤去作業であり、歩掛は次表とする。

表 6. 1 据付 解体歩掛

X 0 1 M11 M110 M									
				労 務 (人/回)			組合せ機械運転時間(日/回)		
作	業	区	分	世話役	特殊作業員	とびエ	油圧式杭 圧入引抜機	ラフテレーンクレーン	
圧入	(50 < <u>N</u>	<u>_</u> max ≤ 6	(00)	1. 10	1. 10	2. 19	0.59	0.90	

(注) 1. · 2. [略]

3. 反力架台が設置できない場合には、初期鋼矢板の施工は、バイブロハンマエにより別途積算する。 (初期鋼矢板: $II \sim IV 型 4$ 枚、 $V_L \sim VI_L$ 型及び $II w \sim IV w$ 型 3 枚)

7. 諸雑費

諸雑費は、溶接棒、施工機械足場用の敷鉄板賃料、電気溶接機損料、現場内小運搬に関する経費、排土処理用のバックホウ運転に関する経費、オーガスクリュ及びオーガヘッド並びにケーシング損料等の費用であり、労務費、機械損料及び機械運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を計上する。

なお、上記諸雑費に含まれるもの以外で施工に際し、オーガスクリュ及びオーガヘッド等へ付着した土等を除去するため の高圧洗浄機やエアーコンプレッサーを用いる必要が生じた場合は、別途考慮する。

表 7. 1 諸雑費率

(%)

	(707			
た光の氏板		左杆式八	陸上施工	
作業の種類		矢板区分	継施工なし	
	光ス	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型		
T7 (F0 / NI (C00)	普通	VL・VIL型	16	
圧入 (50< <u>N</u> max≦ <u>600</u>)	広幅	Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw型		
	[新設]	[新設]	[新設]	
	Γ±κ≞πη	[新設]		
[新設]	[新設]	[新設]	[新設]	
	[新設]	[新設]		

8. 単価表

(1) 鋼矢板圧入 10 枚当り単価表 (50 < N max ≤ 600)

リココノへ		(10 ₁)	_ / -	一直公	(00 < <u>™</u> IIIdX <u>=</u> 000)			
	名		称		規 規 格	単 位	数量	適用
世		話		役		人	10 N × 1	表 4. 1 表 5. 1、表 5. 2、表 5. 3 表 5. 4、表 5. 5
特	殊	作	業	員		"	$\frac{10}{N} \times 1$	n n n
٤		び		工		IJ	$\begin{array}{ c c c }\hline 10 \\ \hline \hline N \end{array} \times 2$	n n n
油圧式杭圧入引抜機運転			抜機油	軍転		日	10	表 3. 1

			N)) }
ラフテレーンクレーン運	排出ガス対策型 (2011 年規制) 油圧伸縮ジプ型 50~51 t 吊	"	10 N	表 3. 2
諸 雑	3	式	1	表 7. 1
計				

(注) [略]

(2) [略]

(3)機械運転単価表

(3)			
機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
油 圧 式 杭 圧 入 引 抜 機 (鋼 矢 板 Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 型 用)	エンジン式ユニット (硬質地盤専用) 排出ガス対策型 (第3次基準値) 普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機一24	燃料消費量→ <u>171</u> 機械損料数量→ <u>1.49</u>
〃 (鋼矢板 V L・VIL・Ⅱw・Ⅲw・Ⅳw 型用)	エンジン式ユニット (硬質地盤専用) 排出ガス対策型 (第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 1,000kN	機-24	燃料消費量→ <u>171</u> 機械損料数量→ <u>1.49</u>
油 圧 式 杭 圧 入 引 抜 機 (鋼矢板 10H・25H 型用)	エンジン式ユニット (硬質地盤専用) 排出ガス対策型 (2014 年規制) ハット形鋼矢板 900 mm用 圧入力 800 k N 引抜力 900 k N	機-24	燃料消費量 →201 機械損料数量 →1.49
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (2011 年規制) 油圧伸縮ジブ型 50~51 t 吊	機-18	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 → <u>128</u> 機械損料数量 → <u>1.49</u>

20 [略]

16. 共通仮設

- ① 重建設機械分解組立運搬
- 1. [略]
- 2. 施工歩掛
- 2-1 使用機械の規格選定

					N	"	
ラフテレーンク	レーン運転		11		10	表 3. 2	
		油圧伸縮ジブ型50~51 t 吊		N			
諸 雑	費		式		1	表 7. 1	
計							

(注) [略]

(2) [略]

(3)機械運転単価表

恢恢建料单调衣	10 16	>+ P > / /	15 4 + *
機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
油 圧 式 杭 圧 入 引 抜 機 (鋼 矢 板 Ⅱ ・ Ⅲ ・ Ⅳ 型 用)	エンジン式ユニット (硬質地盤専用) 排出ガス対策型 (第3次基準値) 普通鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 900kN	機一24	燃料消費量 → <u>176</u> 機械損料数量 → <u>1.46</u>
″ (鋼矢板 V L・VIL・Ⅱ w・Ⅲw・IVw 型用)	エンジン式ユニット (硬質地盤専用) 排出ガス対策型 (第3次基準値) 広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 1,000kN	機一24	燃料消費量 → <u>176</u> 機械損料数量 → <u>1.46</u>
[新設]	[新設]	[新設]	[新設] [新設]
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (2011 年規制) 油圧伸縮ジブ型 50~51 t 吊	機-18	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 → <u>132</u> 機械損料数量 → <u>1.46</u>

② [略]

16. 共通仮設

- ① 重建設機械分解組立運搬
- 1. [略]
- 2. 施工歩掛
- 2-1 使用機械の規格選定 [略]

				表 2.	1 クレーンの規	格選定		
模	械	区	分	規	格	分 解 糸	且 立 用 ク レ	ーン
份	支 /坎		カ	況	俗	名	称	規格
バオト	ッ ク ールケー: (ク ロ ン ネ /	ー ラ	祖削機	表1. 1	 参照	ラフテレーンク 油 圧 伸 縮 シ 排出ガス対策雪		25t 吊
ブ	ル	к –	ザ	21 t 紛 44 t 紛		ラフテレーンク 油 圧 伸 縮 シ 排出ガス対策型		25t 吊
	1			55.0	N. 			
地	中 層 混	合 処	理 機	質量 60		_		25t 吊
盤改良機械	サンド 粉体噴 深層 混 プレファブリケイテ	射 撹合 処	推 機 理機	質量 120 質量 60 質量 120 質量 180	t以下 t以下	フフテレーンク 油 圧 伸 縮 シ 排出ガス対策型		60t 吊
ク	ローラク	クレー	ン系	35 t 斤 (クラムシェル平積 80 t 斤 (クラムシェル平積 2.・). 6m³含む) B以下)m³以下含む)		ジブ 型 型 (<u>2014 年規制</u>)	25t 吊
				150 t F (クラムシェル平積 3.º 300 t F	Om ³ 以下含む)	油 圧 伸 縮 シ 排出ガス対策型	ラフテレーンクレーン 油 圧 伸 縮 ジ ブ 型 排出ガス対策型 (第 <mark>3</mark> 次基準値)	
1	ラック :	クレー	ン系	表 1. [参照	ラフテレーンク 油 圧 伸 縮 シ 排出ガス対策型		70t 吊
				200t 吊以上	360t 吊以下	リフター	_	50t
				550t A		[せり上げ能力]		
ク	ローラ	式杭	打機	質量 60 質量 100 質量 150	t以下	ラフテレーンク 油 圧 伸 縮 シ 排出ガス対策型		60t 吊
		_		表 1. 1 参照 本体工事でクロ [油圧駆動式ウイブ型・基礎工事」 策型(2014 年規 吊を使用する場合	ンチ・ラチスジ <mark>用・</mark> 排出ガス対 <mark>制</mark>)]70 <u>~90</u> t	油圧駆動式	ウインチ・ラチスジブ型 <u>・</u> ・排 出 ガ ス 対 策 型	70 <u>~90</u> t 吊
オ	ールケー ミ [スキ ː	シング 掘 ッド式〕	副機	[削る。]		[削る。]		[削る。]
				表 1. 1参照 本体工事でクロ [油圧駆動式ウイ ブ型 <u>・基礎工事</u> 策型(201 <u>4</u> 年規 使用する場合	ンチ・ラチスジ <mark>用・</mark> 排出ガス対	油圧駆動式 5 基礎工事用・排	レ ー ン ウインチ・ラチスジブ型 <u>・</u> ‡出ガス対策型(201 <u>4</u>	100t 吊

(注) 1.~3. [略]

2-2 歩 掛

表 2. 1 クレーンの規格選定

	表 2. 1 クレーンの規格選定								
機機	械	区	分	規格	分解組立用クレ	ーン			
173	195),	/yt 11tr	名称	規格			
バオト	ッ ク ールケーシ (ク ロ ン ネ バ	ノン グ 抗 ー ラ	ウ 展削式 機 機 機	表 1. 1 参照	ラフテレーンクレーン 油 圧 伸 縮 ジ ブ 型 排出ガス対策型 (<u>第2次基準値</u>)	25t 吊			
ブ	ル	<i>'</i> –	ザ	21 t 級以下 44 t 級以下	ラフテレーンクレーン 油 圧 伸 縮 ジ ブ 型 排出ガス対策型 (<u>第2次基準値</u>)	25t 吊			
	T			質量 60 t 以下		25t 吊			
地	中 層 混	合 処	理機	質量 120 t 以下	ラフテレーンクレーン				
地盤改良機	サンド 粉体噴 深層混 プレファブリケイテ	射 撹 合 処	拌 機 理 機	質量 60 t 以下 質量 120 t 以下 質量 180 t 以下	カノアレーンタレーン 油 圧 伸 縮 ジ ブ 型 排出ガス対策型 (<u>第2次基準値</u>)	60t 吊			
ク	ローラ /			35 t 吊以下 (クラムシェル平積 0.6m³含む) 80 t 吊以下 (クラムシェル平積 2.0m³以下含む)	ラフテレーンクレーン 油 圧 伸 縮 ジ ブ 型	25t 吊			
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		150 t 吊以下 (クラムシェル平積 3.0m³以下含む) 300 t 吊以下	排出ガス対策型 (<u>第2次基準値</u>)	60t 吊			
 	トラッククレーン系		ン系	表 1. 1 参照	ラフテレーンクレーン油 圧 伸 縮 ジ ブ 型排出ガス対策型 (第2次基準値)	70t 吊			
		710				200t 吊以上 360t 吊以下 550t 吊以下	リフター [せり上げ能力]	50t	
ク	ローラ	式杭	打 機	質量 60 t 以下 質量 100 t 以下 質量 150 t 以下	ラフテレーンクレーン 油 圧 伸 縮 ジ ブ 型 排出ガス対策型 (<mark>第2次基準値</mark>)	60t 吊			
				表 1. 1参照 本体工事でクローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型排出ガス対策型(第 3 次基 準値)]70 t 吊を使用する場合	クローラクレーン 油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (<u>第3次基準値</u>)	! 70t 吊			
オ・	ールケーミ 〔スキゞ		屈削 機	表 1. 1 参照 本体工事でクローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型排出ガス対策型(第 3 次基 準値)] 100 t 吊を使用する場合	クローラクレーン 油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型 (第3次基準値)	<u>100t 吊</u>			
				表 1. 1 参照 本体工事でクローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型排出ガス対策型(201 <u>1</u> 年規 制)]100 t 吊を使用する場合	クローラクレーン 油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(201 <u>1</u> 年規制)	100t 吊			

(注) 1.~3. [略]

2-2 歩 掛

表 2. 2 歩 掛

		表 2. 2 歩 掛				
	機械区分	規 格 区 分	労務歩掛 特殊作業員 (人)	クレーン 運転歩掛 (日)	運搬費 等 率 (%)	諸 費 率 (%)
		21 t 級以下	(分解+組立)	(分解+組立)	155	21
ブ	ルドーザ	44 t 級以下	4. 6	3. 4	153	21
バックホウ系		山積 1.4 m³以下 (油圧クラムシェル・テレスコピック 0.4 m³以上 0.6 m³以下含む)	2. 7	1.4	250	24
		山積 2.1 m³以下	4. 5	2. 3	256	25
		35 t 吊以下 (クラムシェル平積 0.6m³含む)	3. 0	0.8	444	22
クロ	1ーラクレーン系	80 t 吊以下 (クラムシェル平積 2.0m³以下含む)	5. 5	1. 5	434	21
		150 t 吊以下 (クラムシュル平積 3.0m³以下含む)	11. 3	3. 1	315	15
		300 t 吊以下	20. 5	5. 7	313	15
		120 t 吊以下	4. 3	1. 5	394	75
		160 t 吊以下	5. 7	1. 9	409	78
		360 t 吊以下	11.7	4. 0	399	75
トラ	ラッククレーン系	550 t 吊以下	20.9	7. 1	401	76
		200t 吊以上 360t 吊以下 (リフターを使用する場合)	11.0	2. 7	392	83
		550t 吊以下 (リフターを使用する場合)	19. 4	4. 9	390	83
		60 t 以下	8.6	2. 1	163	2
クロ	ューラ式杭打機	100 t 以下	15. 5	3. 7	164	2
		150 t 以下	23. 5	5. 6	163	2
	・ルケーシング掘削機 ク ロ ー ラ 式 〕	_	3. 9	3. 4	595	5
		(本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型<u>・基礎工事用・</u>排 出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>)]70<u>~90</u> t 吊 を使用する場合	4. 9	11.9 (h)	490	4
オールケーシング掘削機 [ス キ ッ ド 式]		[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]	[削る。]
		本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 <u>・基礎工事用・</u> 排 出ガス対策型(201 <u>4</u> 年規制)]100 t 吊を使 用する場合	4. 9	11.9 (h)	361	3
	中層混合処理機	60 t 以下	16. 0	2. 4	265	4
地般	T 眉 比 古 处 珪 懱	120 t 以下	41. 2	6. 3	211	3
地盤改良機械	サント゛ハ゜イル打機粉体噴射撹拌機	60 t 以下	16. 0	2. 4	213	3
械	深層混合処理機プレファブリケイ	120 t 以下	41. 2	6. 3	211	3

	[略]	≠ 2 2 4± 44				
		表 2. 2 歩 掛	労務歩掛	クレーン	V= lán ±	=+v +//
	機械区分	規格	特殊作業員	運転歩掛	運搬費 等 率	諸 雑 費 率
		区分	(人) (分解+組立)	(日) (分解+組立)	(%)	(%)
ブ	ルドーザ	21 t 級以下	2.8	2. 1	155	21
	,, ,	44 t 級以下	4.6	3. 4	153	21
バ	ッ ク ホ ウ 系	山積 1. 4m³以下 (油圧クラムシェル・テレスコピック 0. 4m³以上 0. 6m³以下含む)	2. 7	1. 4	250	24
		山積 2. 1m³以下	4. 5	2. 3	256	25
		35 t 吊以下	3, 0	0.8	444	22
		(クラムシュル平積 0.6m³含む)	3. 0	0.0	111	22
クロ	ューラクレーン系	80 t 吊以下 (クラムシュル平積 2.0m³以下含む)	5. 5	1. 5	434	21
		150 t 吊以下 (クラムシェル平積 3.0m³以下含む)	11. 3	3. 1	315	15
		300 t 吊以下	20. 5	5. 7	313	15
		120 t 吊以下	4. 3	1. 5	394	75
		160 t 吊以下	5. 7	1. 9	409	78
		360 t 吊以下	11. 7	4. 0	399	75
トラ	ラッククレーン系	550 t 吊以下	20.9	7. 1	401	76
. ,		200t 吊以上 360t 吊以下 (リフターを使用する場合)	11.0	2. 7	392	83
		550t 吊以下 (リフターを使用する場合)	19. 4	4. 9	390	83
		60 t 以下	8.6	2. 1	163	2
クロ	コーラ式杭打機	100 t 以下	15. 5	3. 7	164	2
		150 t 以下	23.5	5. 6	163	2
l	・ルケーシング掘削機 ク ロ ー ラ 式]	_	3. 9	3. 4	595	5
		本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型排出ガス対策型 (第3次基準値)]70 t 吊を使用する場合	4. 9	11.9 (h)	490	4
	ルケーシング掘削機スキッド式〕	本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型排出ガス対策型 (第3次基準値)]100 t 吊を使用する場合	4.9	<u>11.9 (h)</u>	<u>370</u>	<u>3</u>
		本体工事でクローラクレーン[油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型排出ガス対策型 (201 <u>1</u> 年規制)]100 t 吊を使用する場合	4. 9	11.9 (h)	361	3
	市 図 泪 △ ムn -m 444	60 t 以下	16. 0	2. 4	265	4
地般	中層混合処理機	120 t 以下	41. 2	6.3	211	3
地盤改良機械	サント゛ハ゜イル打機粉体噴射撹拌機	60 t 以下	16. 0	2.4	213	3
械	深層混合処理機プレファブリケイ	120 t 以下	41. 2	6.3	211	3

	ティッドバーチカ ルドレーン 打機	180 t 以下	64. 6	9. 9	210	3
1	ンネル用機械	-	5. 4	2. 0	582	8

(注) 1. ~4. [略]

3. [略]

②・③ [略]

ティッドバーチカ ルドレーン打機		64. 6	9.9	210	3
トンネル用機械	-	5. 4	2. 0	582	8
(注) 1. ~4. [略]					

3. [略]

②・③ [略]